

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第190集

岩村田遺跡群

西一本柳遺跡XVIII

長野県佐久市岩村田西一本柳遺跡 第18次調査

2011. 3

佐 久 市
佐久市教育委員会



D10号土坑出土鉄瓶

鉄瓶は井戸枠内検出面下50cmから出土した。脚～蓋の器高19.5cm蓋の肩幅18.4cmを測る。共存遺物には、中世の珠洲の裏、須恵質鉢、土師質の茶釜がある。(森泉)【注口があり、肩の上に張懸付が付けられ、底に三つ足がみられる。蓋の部分には鎖状のものがみられる。茶の湯の中では、三足手取釜といわれるものに相当する。

底裏には、中世に栃木県佐野市で作られた天明釜によくみられる一文字湯口の形状が見て取れ、天明釜やその系譜を引く工人によって作られたと考えられる。茶会記録である『天王寺屋会記』天文18年(1549)の記録には「てとり」との記載がみられることなどから、16世紀中頃にはこの形状のものが茶の湯の釜として認識されていたことがわかる。】

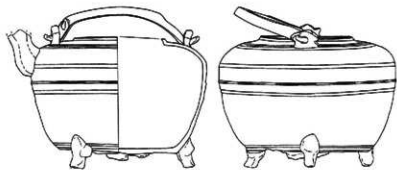
(麻千家 (財)今日庵茶道資料館) 降矢 哲男



D10号土坑



D10号土坑鉄瓶出土状態



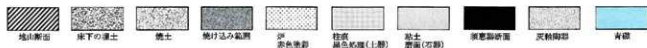
D10号土坑鉄瓶実測図

例 言

1. 本書は、佐久市が行う道路工事（まちづくり交付金事業 S2-277号線）に伴う岩村田遺跡群西一本柳遺跡XⅦの発掘調査報告書である。
2. 調査原因者 佐久市都市計画課
3. 調査主体者 佐久市教育委員会
4. 遺跡名及び所在地 西一本柳遺跡XⅦ（INPXⅦ） 佐久市岩村田2338-4外
5. 調査期間及び面積 発掘調査 平成21年12月22日～平成22年3月26日
整理調査 平成22年4月16日～平成23年3月25日
開発面積 1,500㎡ 調査面積 1,017㎡
6. 本遺跡の調査は林・小林・富沢・佐々木、報告書作成は林・佐々木、石材鑑定は羽毛田が行った。陶磁器類は（財）長野県埋蔵文化財センター 市川隆之氏にご教授いただいた。また、鉄瓶は、（財）裏千家今日庵 茶道資料館 降矢哲男氏にご教授いただいた。
7. 本書及び関係資料等は、佐久市教育委員会の責任下に保管されている。

凡 例

1. 遺構の略記号は、竪穴住居址（H）・竪穴状遺構（Ta）・掘立柱建物址（F）・土坑（D）・溝状遺構（M）・単独ピット（P）である。
2. 挿図の縮尺は、遺構1/80・遺物1/4である。挿図中にスケールを示した。
3. 遺構の海拔標高は各遺構毎に統一し、水系標高を標高として記した。
4. 土層の色調は1988年版「新版 標準土色帖」に基づいた。
5. 遺物挿図番号と遺物写真番号及び遺物観察表番号は一致する。
6. 調査区は公共座標の区割りにしたが、間隔は4m×4mに設定した。
7. 遺構名は変更等により欠番が生じている。
8. 挿図中のスクリーンーンは、以下のことを示す。



目 次

例言・凡例・目次

第1章 発掘調査の経緯

第1節 立地と経過	1
第2節 調査体制	2
第3節 調査日誌	2
第4節 基本層序	2
第5節 検出遺構・遺物の概要	2

第II章 遺構と遺物

第1節 竪穴住居址	5
第2節 竪穴状遺構	70
第3節 掘立柱建物址	76
第4節 土坑	76
第5節 溝状遺構	87
第6節 ピット	92
第7節 遺構外出土遺物	96

第I章 発掘調査の経緯

1. 経過と周辺遺跡

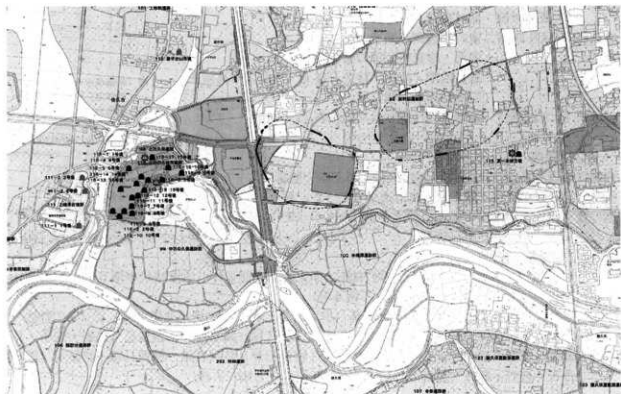
岩村田遺跡群は、佐久市岩村田湯川右岸台地上に有る。西一本柳遺跡は遺跡群の南西端に位置し、数々の公共事業や民間開発が続き本調査は18回目を数える。今回、佐久市が道路工事（まちづくり交付金事業S2-227号線）を計画した。佐久市都市計画課と当教育委員会の保護協議の結果、記録保存目的の発掘調査を行う事となった。

西一本柳遺跡及び周辺遺跡は、弥生時代中期～中世の大複合遺跡である。北西の久保遺跡、五里田遺跡、西一本柳遺跡Ⅰ～ⅩⅦ、東一本柳遺跡Ⅰ・Ⅱ、北一本柳Ⅰ～Ⅲ、東大門遺跡、東大門先遺跡Ⅰ・Ⅱの調査では、弥生時代中期・後期、古墳時代中期・後期、奈良時代、平安時代・中世の集落・墓城が調査されていて、遺構・遺物を述べるには枚挙に遑がない。この多くの検出遺構中で弥生時代の環壕であろうと指摘されている溝状遺構が多数検出されている。西一本柳遺跡Ⅲ・ⅣのM1、西一本柳遺跡ⅦのM1、西一本柳遺跡ⅥのM2、西一本柳遺跡ⅩⅠのM1、西一本柳遺跡ⅩⅣのM12である。

今回の調査範囲のM2・M8溝状遺構がこれらに関連がありそうである。図上でみると、南北280m東西200mの楕円形に結ばれそうである。いずれも弥生時代後期の土器が多量に出土している。岩村田高校第2グラウンドから国道141号バイパスにかけて展開する総面積5万㎡を超える弥生時代後期の環壕集落である。さらに、市営住宅、旧児童公園、市道S、市道にも溝が検出されていて、東西南北の楕円形になりそうである。(第2図)



第1図 西一本柳遺跡ⅩⅦ位置図 (1:50,000)



第2図 西一本柳遺跡ⅩⅦ周辺遺跡 (1:10,000)

2. 調査体制

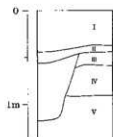
調査主体者	佐久市教育委員会	教育長	木内 清 (平成21年6月退任)
			土屋 盛夫 (平成21年7月就任)
事務局	社会教育部長	内藤 孝徳	(~平成21年6月) 工藤 秀康 (平成21年7月~)
	文化財課長	森角 吉晴	
	文化財係長	三石 宗一	
	文化財調査係	林 幸彦	並木 節子 須藤 隆可 小林 眞寿
		羽毛田卓也	富沢 一明 神津 格 (~平成21年10月)
		上原 学	井出 泰章 (平成21年10月~) 出澤 力

調査体制

調査担当者	林 幸彦	佐々木宗昭				
調査員	赤羽根充江	浅沼勝男	安部和人	飯塚一男	飯森成英	磯貝律子
	市川光吉	岩崎重子	岩松茂年	門出絢佳	白田 猛	小沢稔幸
	柏木義雄	加藤ひろ美	狩野小百合	河原田三男	河原田憲子	神津和子
	神津千春	小井戸厚子	小井戸秀元	小林節子	小林千勝	清水澄生
	清水伸子	坂井一大	堺 益子	佐々木靖夫	里見理生	澤井知春
	副島充子	大工原達江	田中ひさ子	土屋邦子	中澤 登	中山清美
	羽毛田利明	花里佑恵子	広瀬梨恵子	本田慶二	堀籠保子	宮川真紀子
	横尾敏雄	依田三男	柳沢孝子	山口ひとみ	渡辺 真	

3. 調査日誌

平成21年12月22日	器材搬入、重機による表土除去。遺構確認。
平成22年 1月 4日	遺構確認・掘り下げ・記録。
3月24日	埋め戻し終了。
3月26日	器材撤収。
平成22年 4月16日	室内整理調査開始。 図面・写真等記録の整理及び修正。 遺物洗浄・注記・接合・復元・実測・写真撮影。 原稿の執筆、報告書の作成。
平成23年 3月25日	報告書刊行をもって調査終了。



- I層 暗褐色土 (10YR3/4)
耕作土、粘性弱い。
- II層 黒褐色土 (10YR2/3)
小礫少量、粘性ややあり。
- III層 暗褐色土 (10YR3/3)
しまり弱く、やや粘性あり。
- IV層 褐色土 (10YR4/6)
しまり、粘性弱い。
小礫・黄色砂。
- V層 ぶい黄色土 (10YR6/3)
粘性弱い、砂層

第3図 西一本橋遺跡XⅡ基基本土層横断面図

4. 基本層序

遺構は地表下30~50cmの第Ⅲ層暗褐色土の上面で確認された。第Ⅱ層が覆土1層に見られる遺構もあった。各遺構の壁下部や底面は、砂層となり脆く崩れやすかった。

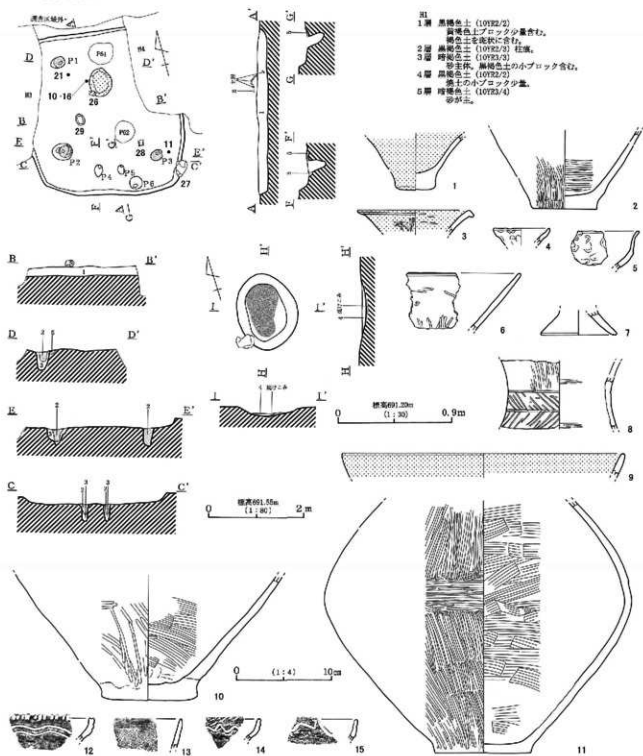
5. 検出遺構・遺物の概要

遺構 竪穴住居址50軒 (弥生時代中期10軒、弥生時代後期2軒、古墳時代中期5軒、古墳時代後期16軒、奈良・平安時代13軒、不明4軒)
掘立柱建物址2棟、竪穴状遺構14基 (中世)、土坑43基、溝状遺構7本、ピット235基
遺物 弥生中期・後期土器、土師器、須恵器、埴輪、灰釉、陶磁器類、鉄製品 (鉄鎌・刀子・鎌・燧鉄・鉄瓶・鉄釘)、石製品 (磨製石斧・打製石斧・打製石鎌・磨製石鎌・紡錘車・砥石・台石・敲石・磨石・凹石・石Fi)、石製模造品、玉類、古銭。

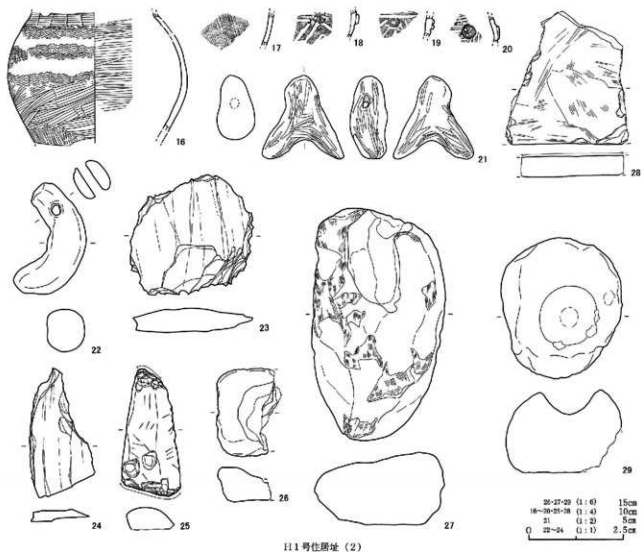
第II章 遺構と遺物

1. 竪穴住居址

H1号住居址

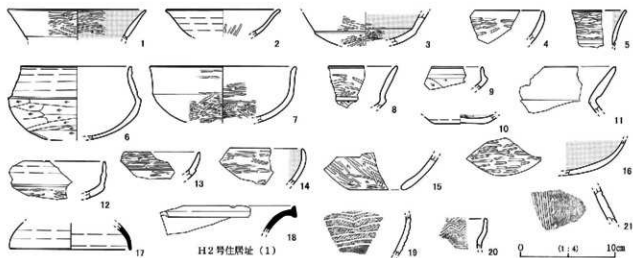


第5図 H1号住居址(1)

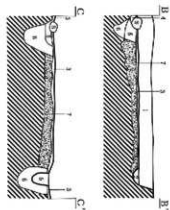
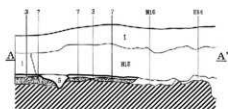


H1号住居址 (2)

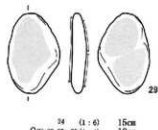
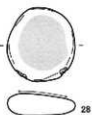
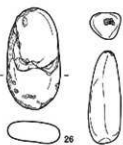
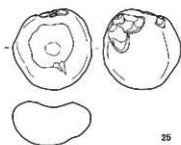
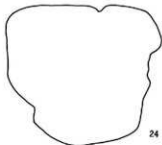
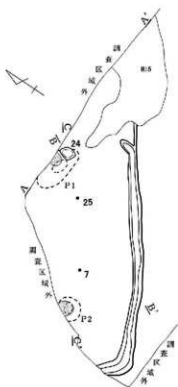
H2号住居址



第6图 H1号住居址 (2) · H2号住居址 (1)



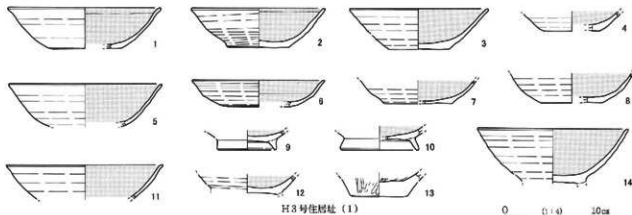
- 1層 黒褐色土 (10192/2) 砂のブロック少量。
 2層 暗褐色土 (10192/3) 砂多量に含む。
 3層 黒褐色土 (10192/2) 砂多量、堅く締り。床。
 4層 黒褐色土 (10192/2) 砂多量。
 5層 粘土 (10191/4) 砂多量。
 6層 暗褐色土 (10192/2) 砂多量。
 7層 暗褐色土 (10192/3) 砂多量。床下連土。



H2号住居址 (2)

24 (1:4) 15cm
 25-29 (1:4) 10cm

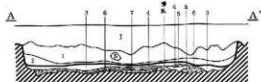
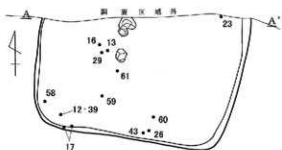
H3号住居址



H3号住居址 (1)

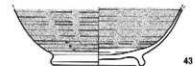
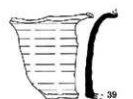
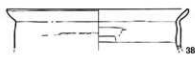
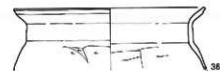
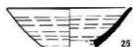
0 (1:4) 10cm

第7図 H2号住居址 (2)・H3号住居址 (1)



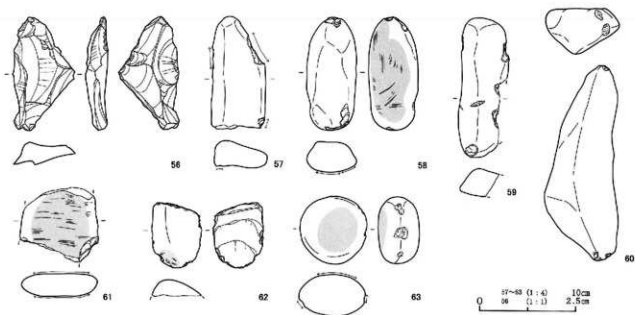
33

- 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 角小礫(1~5cm大)含む。
- 2層 黒褐色土 (10YR2/3) 礫りあり、砂の小ブロック含む。
- 3層 黒褐色土 (10YR2/3) 砂・焼土・褐色土(10YR4/6)の小ブロック含む。堅く締る粘土。
- 4層 黒褐色土 (7.5YR2/2) 焼土・粘土・褐色土を含む。
- 5層 黒褐色土 (7.5YR2/2) 焼土・粘土・炭のブロック含む。
- 6層 暗褐色土 (10YR3/4) 堅く締まる。床下埋土。
- 7層 濃い黄褐色土 (10YR4/3) 砂が主。床下埋土。



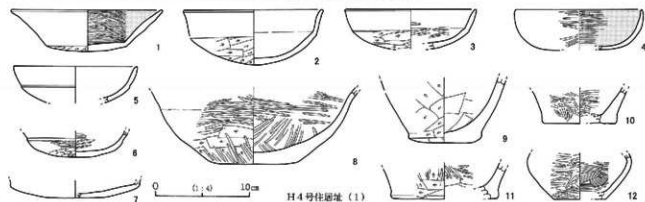
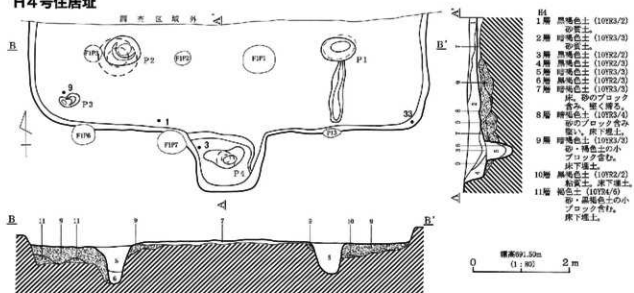
0 (1:4) 10cm

第8図 H3号住跡址(2)



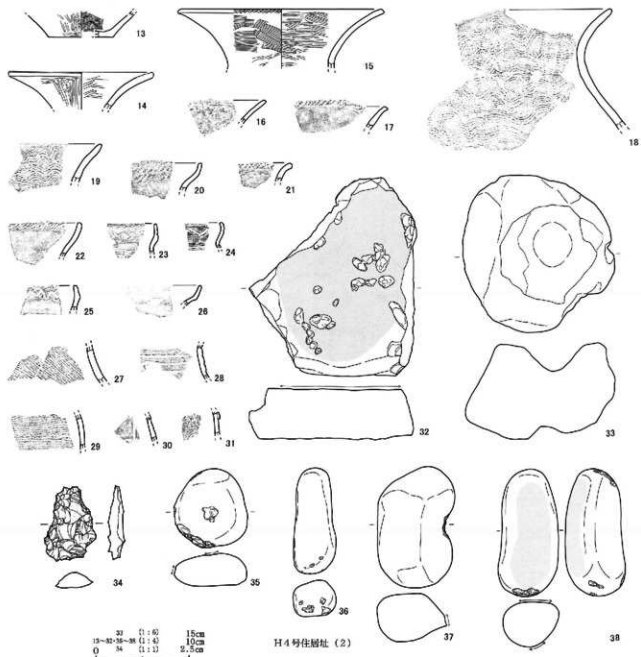
H13号住居址 (3)

H4号住居址

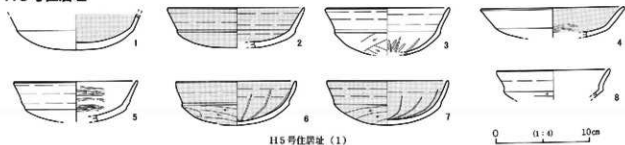


H4号住居址 (1)

第9図 H13号住居址 (3)・H4号住居址 (1)

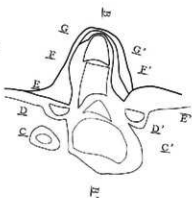
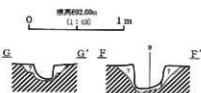
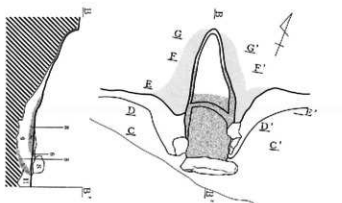
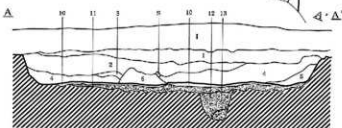
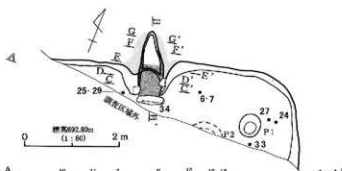


H5号住居址

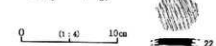
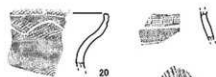
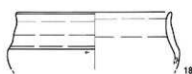
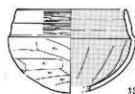
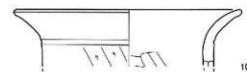
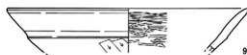


H5号住居址 (1)

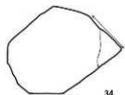
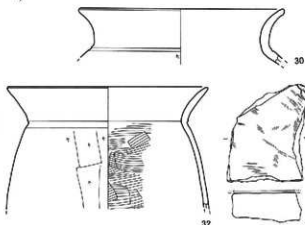
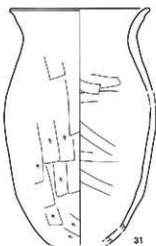
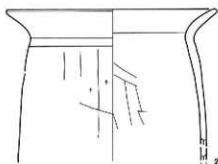
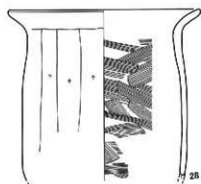
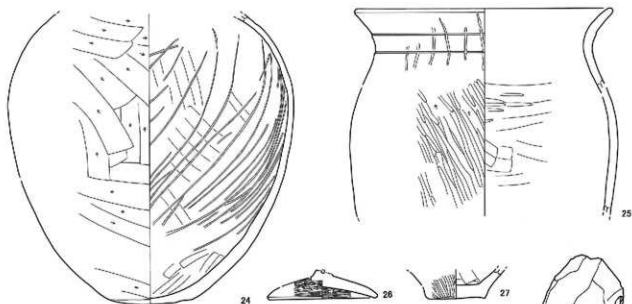
第10图 H4号住居址 (2) · H5号住居址 (1)



- 1層 黒褐色土 (10YR2/2) 小礫少量。
 2層 黒褐色土 (10YR2/2) 灰少量、粘土小ブロック少量。
 3層 黒褐色土 (10YR2/2) 粘土、粘土粒子多量。
 4層 暗褐色土 (10YR3/2) 砂・褐色土の小ブロック少量。
 5層 暗褐色土 (10YR2/2) 褐色土ブロック少量。
 6層 暗褐色土 (10YR2/2) 粘質土、灰少量・粘土小ブロック少量。
 粘土・粘土粒子多量。
 7層 黒褐色土 (7.5YR3/2) 粘質土(カマド燻炭土)。
 8層 暗赤褐色土 (5YR3/2) 粘土塊のこみ。
 9層 暗褐色土 (7.5YR3/2) カマド燻炭土、粘質土。
 10層 暗褐色土 (10YR3/2) 灰、黒く締る。砂の小ブロックを含む。
 11層 暗褐色土 (10YR3/2) 砂、砂、暗褐色土・褐色土の小ブロックを含む。
 12層 黒褐色土 (10YR2/2) 砂を含む。
 13層 黒褐色土 (10YR2/2) 灰く締る。砂を含む。



第11図 H5号住居址(2)



H5号住居址(3)

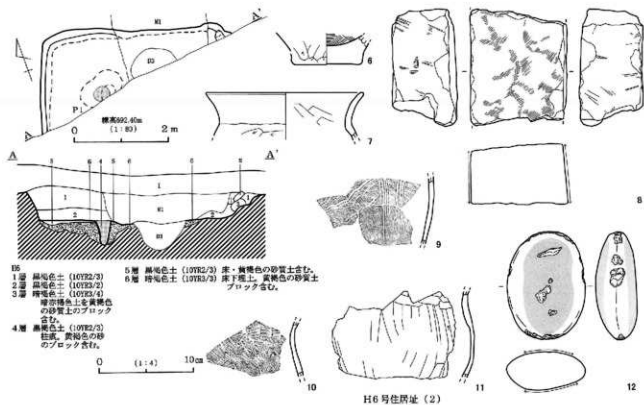
24 (1:4) 15cm
26-27 (1:4) 10cm

H6号住居址

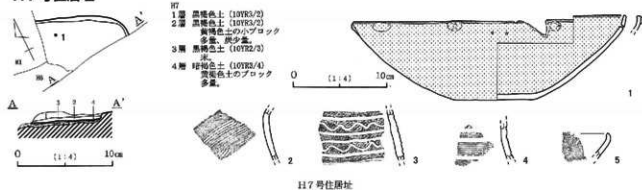


H6号住居址(1)

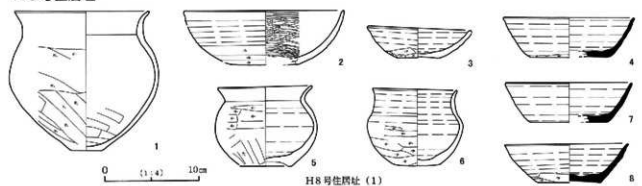
第12图 H5号住居址(3)・H6号住居址(1)



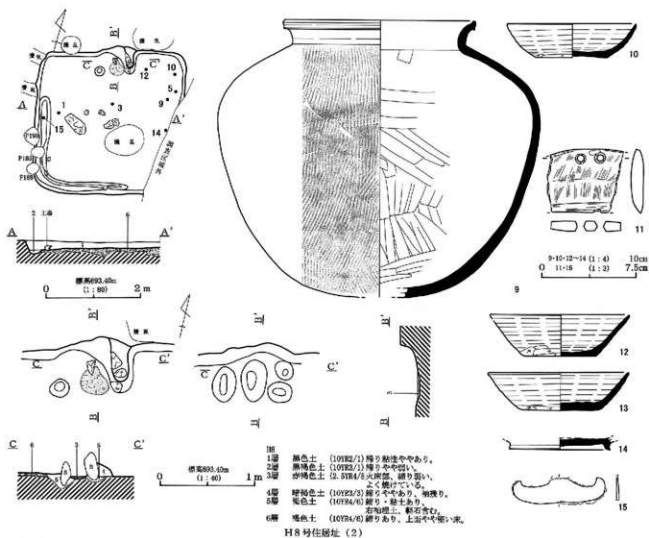
H7号住居址



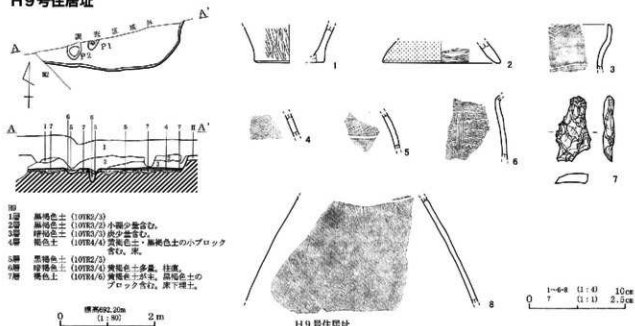
H8号住居址



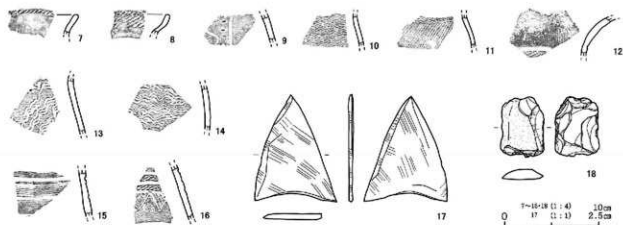
第13図 H6号住居址 (2)・H7号住居址・H8号住居址 (1)



H9号住居址

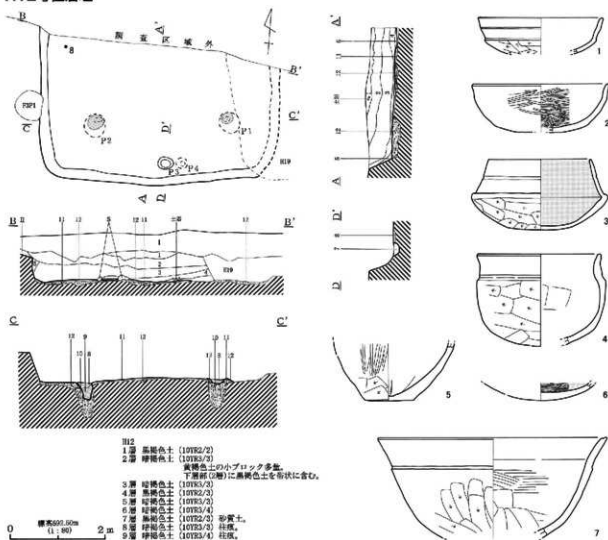


第14図 H 8 号住居址 (2)・H 9 号住居址



H11号住居址(2)

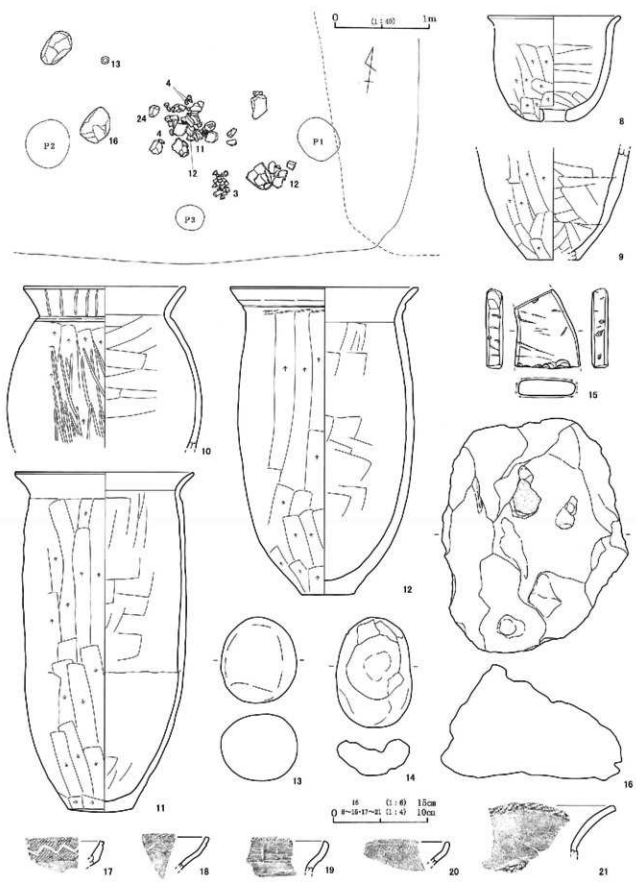
H12号住居址



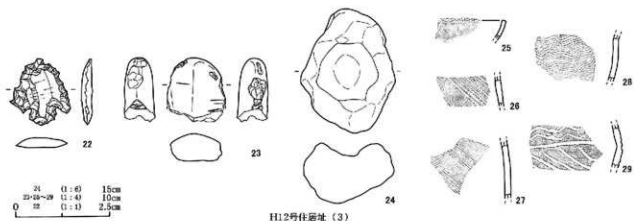
- H12
- 1層 灰褐色土 (10792/2)
 - 2層 輝褐色土 (10793/2)
黄褐色土の小ブロック多量。
下層部(2層)に黒褐色土を形状に含む。
 - 3層 紅褐色土 (10793/2)
 - 4層 黒褐色土 (10792/2)
 - 5層 紅褐色土 (10793/2)
 - 6層 紅褐色土 (10793/4)
 - 7層 黒褐色土 (10792/2) 砂質土。
 - 8層 輝褐色土 (10793/2) 柱状。
 - 9層 輝褐色土 (10793/4) 柱状。
 - 10層 輝褐色土 (10793/4)
褐色土の砂・黒褐色土のブロック
多量。床下層土。
 - 11層 紅褐色土 (10793/4) 灰。
 - 12層 黒褐色土 (10792/2) 砂多量。床下層土。

H12号住居址(1)

第16図 H11号住居址(2)・H12号住居址(1)

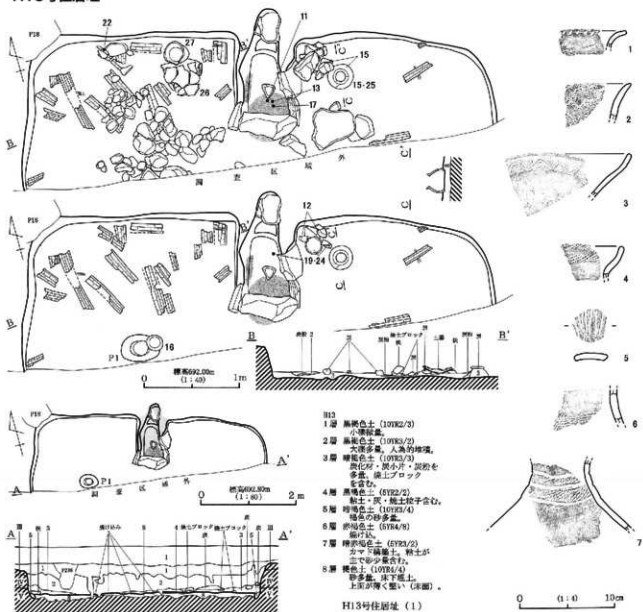


第17圖 H12号住居址(2)



H12号住居址 (3)

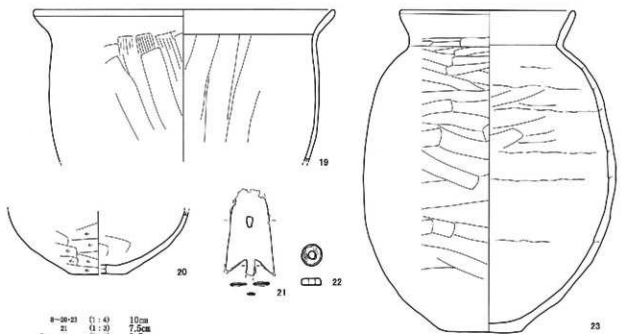
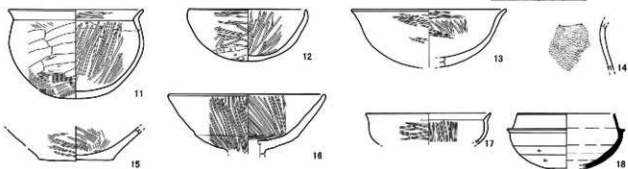
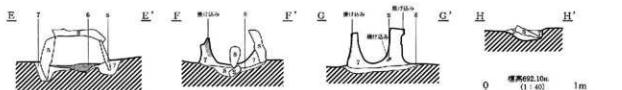
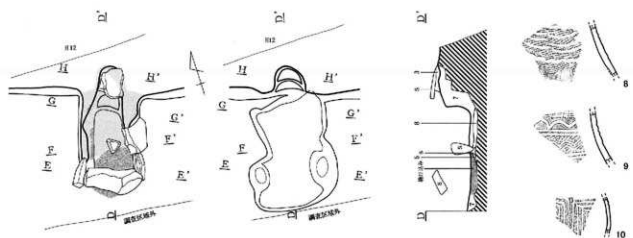
H13号住居址



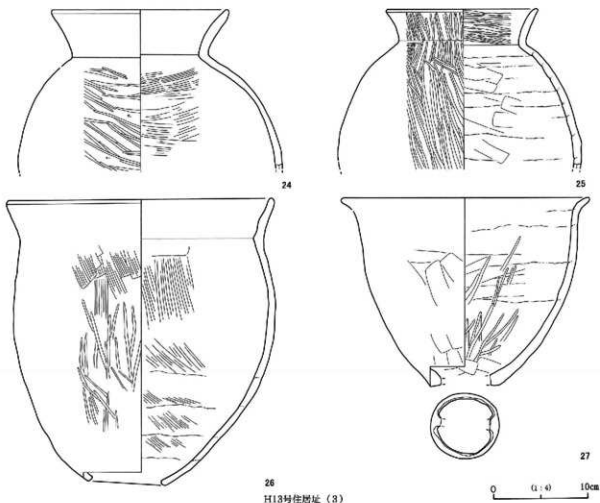
- H13
 1層 黒褐色土 (109K2/3)
 小礫層。
 2層 黒褐色土 (109K3/2)
 大量多量、人為的埋填。
 3層 暗褐色土 (109K3/3)
 炭化材・灰小片・炭粉を
 多量。磁土ブロック
 を含む。
 4層 黒褐色土 (5YR2/2)
 粘土・灰・粘土粒子含む。
 5層 暗褐色土 (109K3/4)
 砂の砂多量。
 6層 赤褐色土 (5YR4/6)
 磁土。
 7層 暗褐色土 (5YR3/2)
 カマ下磁器土。粘土が
 二で砂少量含む。
 8層 褐色土 (5YR5/4)
 砂多量。粘土下底土。
 上面が薄く堅い (断面)。

H13号住居址 (1)

第18図 H12号住居址 (3)・H13号住居址 (1)

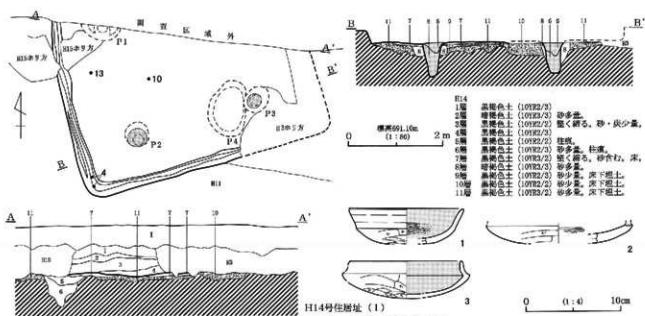


第19图 H13号住居址(2)

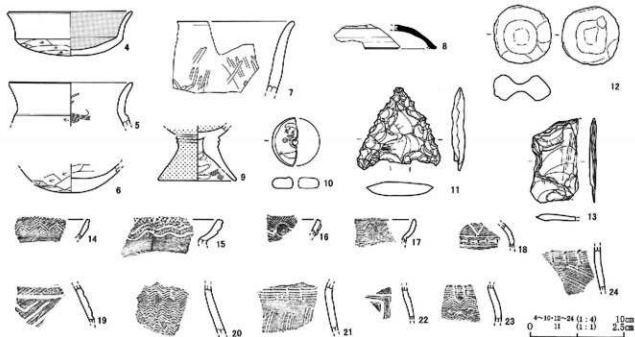


26
H13号住居址 (3)

H14号住居址

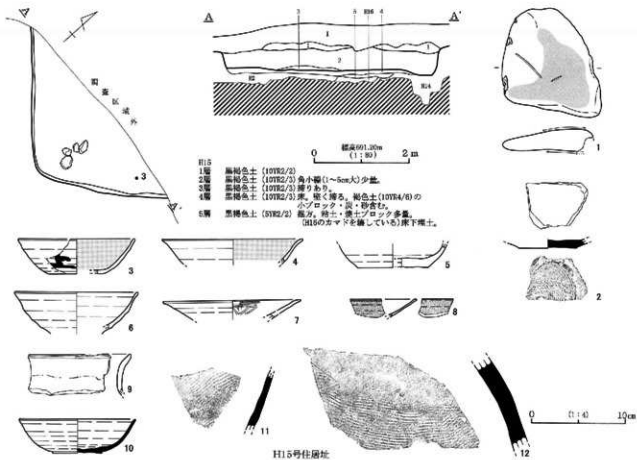


第20图 H13号住居址 (3) · H14号住居址 (1)



H14号住居址 (2)

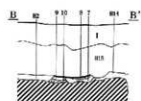
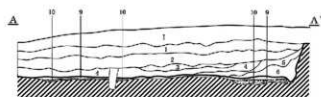
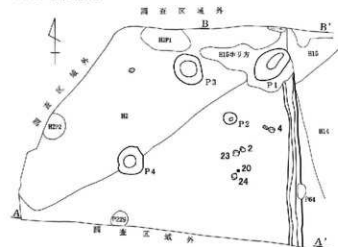
H15号住居址



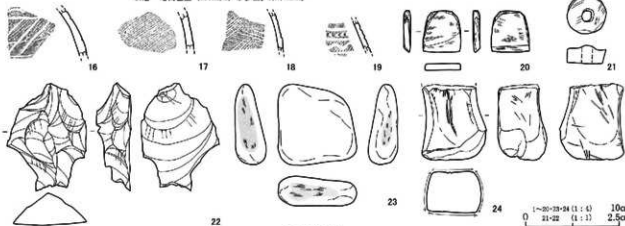
- H15
 1層 黒褐色土 (10YR2/2)
 2層 黒褐色土 (10YR2/3) 角小礫 (1~5cm大) 少許
 3層 黒褐色土 (10YR2/3) 埴りあり
 4層 黒褐色土 (10YR2/3) 埴りある。褐色土 (10YR4/0) の
 5層 黒褐色土 (10YR2/2) 埴り、砂土・炭セロロック多量。
 (H16の方までを編している) 床下層土。

第21図 H14号住居址 (2)・H15号住居址

H16号住居址



- H16
 1層 黒褐色土 (10182/3)
 2層 黒褐色土 (10182/2) 角小礫(1~5cm大)少量。
 3層 黒褐色土 (10182/1)
 4層 黒褐色土 (10182/3)
 5層 黒褐色土 (10182/2) 砂少量。
 6層 黒褐色土 (10182/3)
 7層 同上、赤褐色土 (30184/4) 粘土(黄砂込)少量。H。
 8層 暗赤褐色土 (50183/2) 粘土・砂土・フック少量。
 9層 黒褐色土 (10182/3) 泥、粗く締る。
 10層 暗褐色土 (10183/3) 砂多量。床下層土。



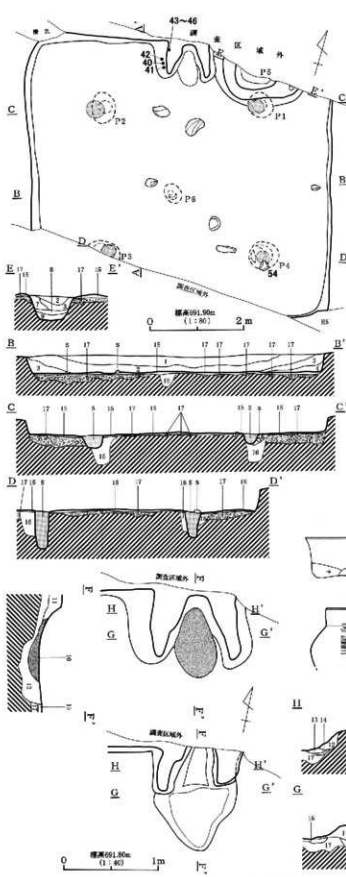
H16号住居址

H17号住居址

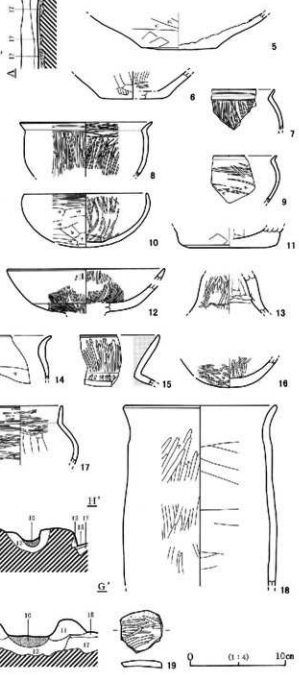


H17号住居址 (1)

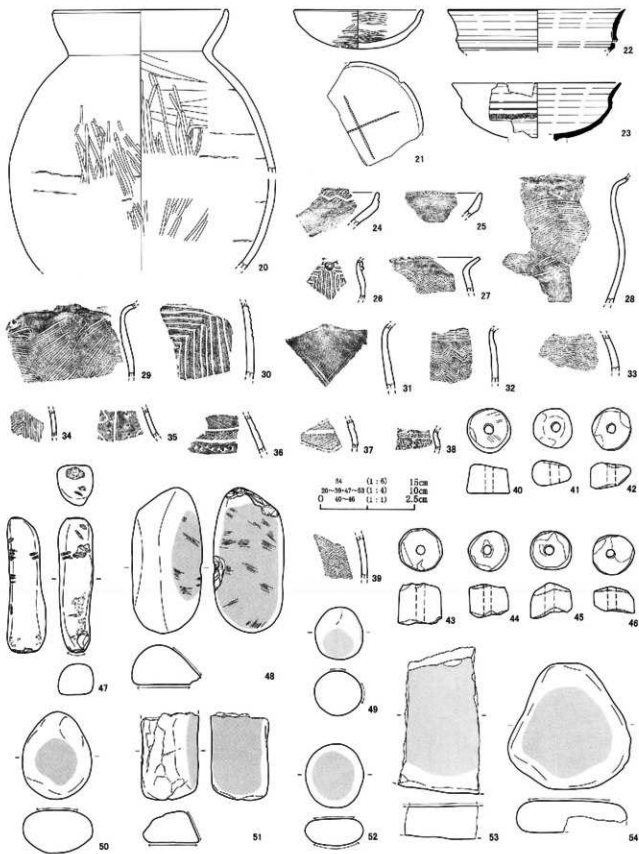
第22図 H16号住居址・H17号住居址 (1)



- H17
- 1層 暗褐色土 (10TR3/3) 黄褐色土のブロック少量。
 - 2層 暗褐色土 (10TR2/3) 砂のブロック下部に含む。
 - 3層 黄褐色土 (10TR2/3) 砂を混ざる。
 - 4層 暗褐色土 (10TR3/4) 黄褐色土の小ブロック多量。
 - 5層 暗褐色土 (10TR2/3)
 - 6層 暗褐色土 (10TR3/3) 砂の小ブロック少量。
 - 7層 暗褐色土 (10TR3/3) 砂のブロック少量。
 - 8層 暗褐色土 (10TR3/2) 砂多量。
 - 9層 暗褐色土 (10TR2/3)
 - 10層 赤褐色土 (10TR4/8) 粘土(流込み)。
 - 11層 暗褐色土 (10TR2/2) カマド焼土。粘土が主で、黄土ブロック含む。
 - 12層 暗褐色土 (10TR2/2) カマド焼土。粘土が主で、砂・赤土ブロック含む。
 - 13層 赤い黄褐色土 (10TR7/4) カマド焼土。粘土。
 - 14層 暗褐色土 (10TR3/4) 砂が主。
 - 15層 暗褐色土 (10TR2/3) 砂・砂少量。
 - 16層 暗褐色土 (10TR2/3) 砂黄の赤褐色土ブロック含む。
 - 17層 黄褐色土 (10TR2/3) 砂・赤褐色土・暗褐色土のブロック含む。床下組上。

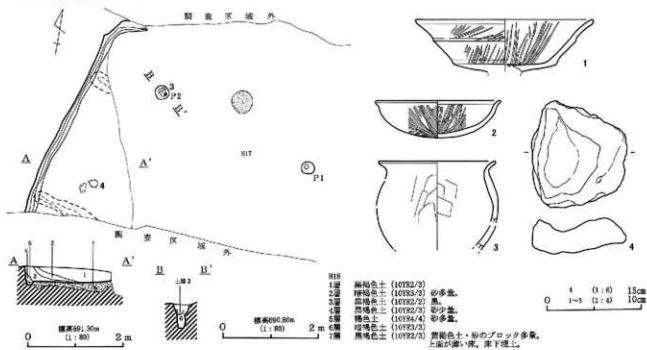


第23図 H17号住居址(2)



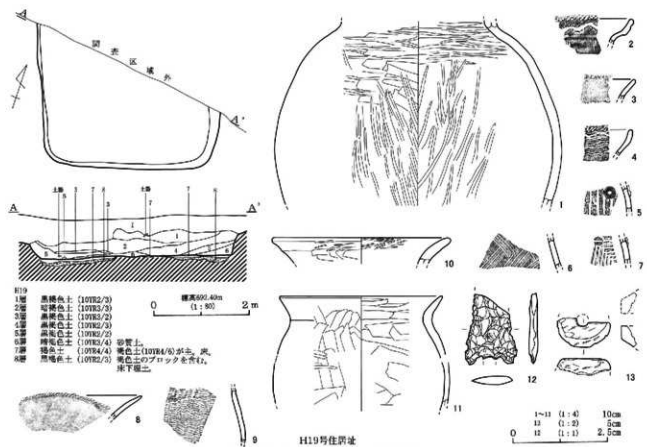
第24图 H17号住居址(3)

H18号住居址



H18号住居址

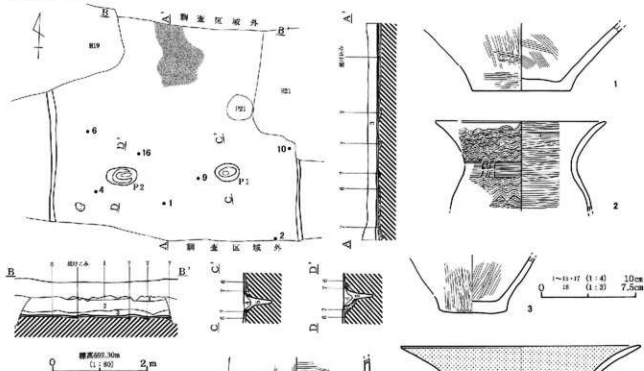
H19号住居址



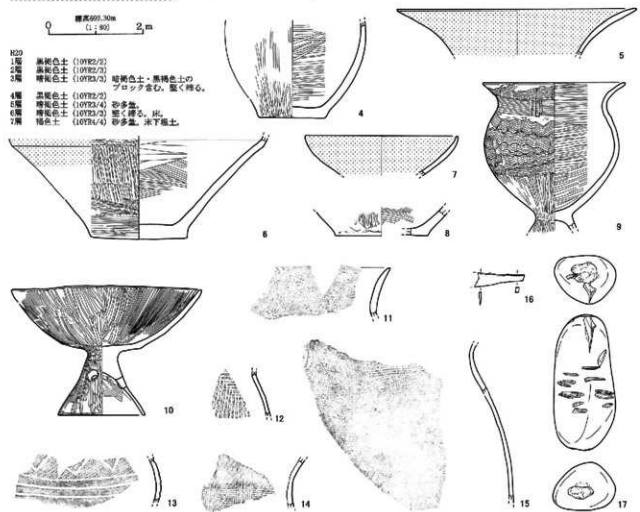
H19号住居址

第25図 H18号住居址・H19号住居址

H20号住居址

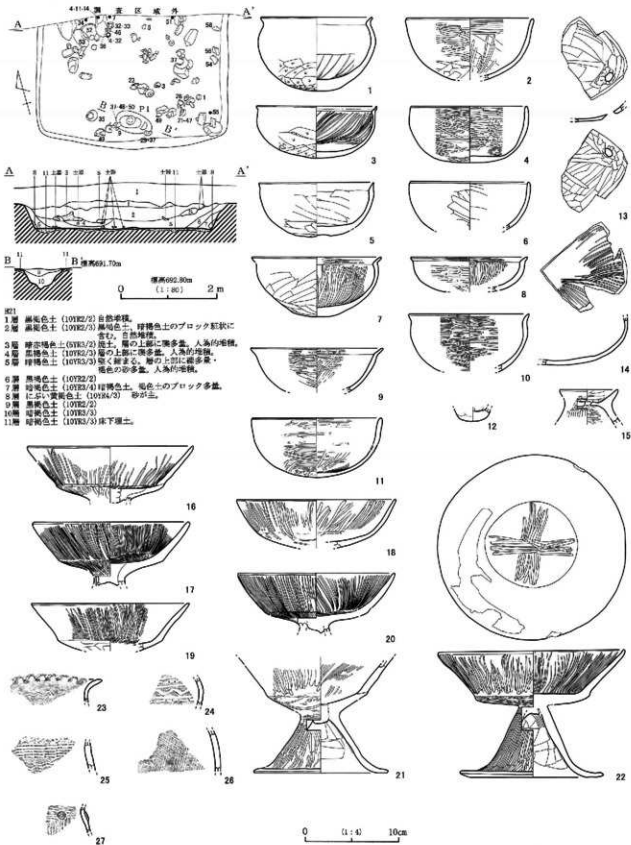


- H20
 1層 黒褐色土 (10YR2/2)
 2層 黒褐色土 (10YR2/2)
 3層 暗褐色土 (10YR3/2) 暗褐色土・黒褐色土の
 フロツク含む。壁く締る。
 4層 赤褐色土 (10YR2/2)
 5層 暗褐色土 (10YR2/4) 砂多量。
 6層 暗褐色土 (10YR2/2) 壁く締る。比。
 7層 褐色土 (10YR4/4) 砂多量。床下積土。



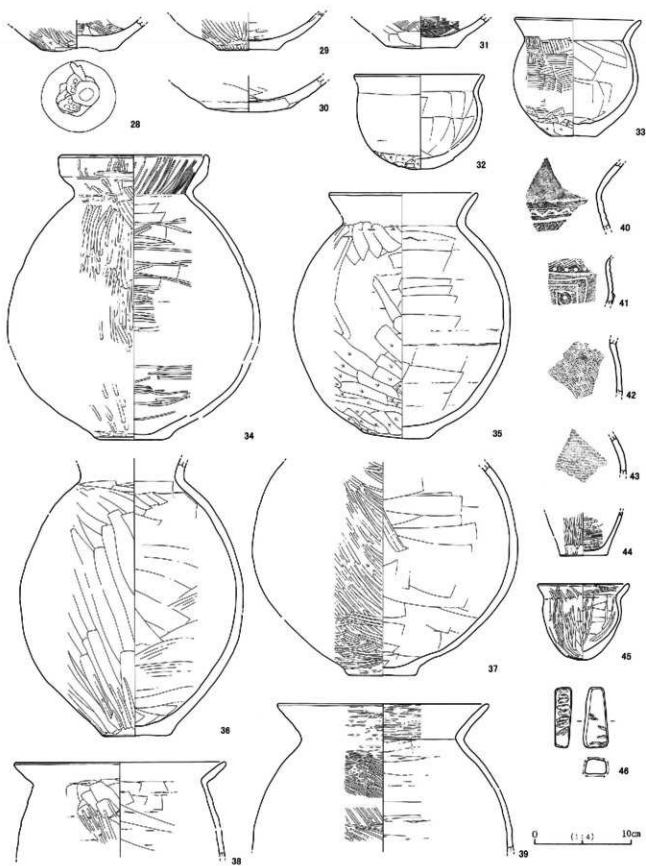
第26図 H20号住居址

H21号住居址

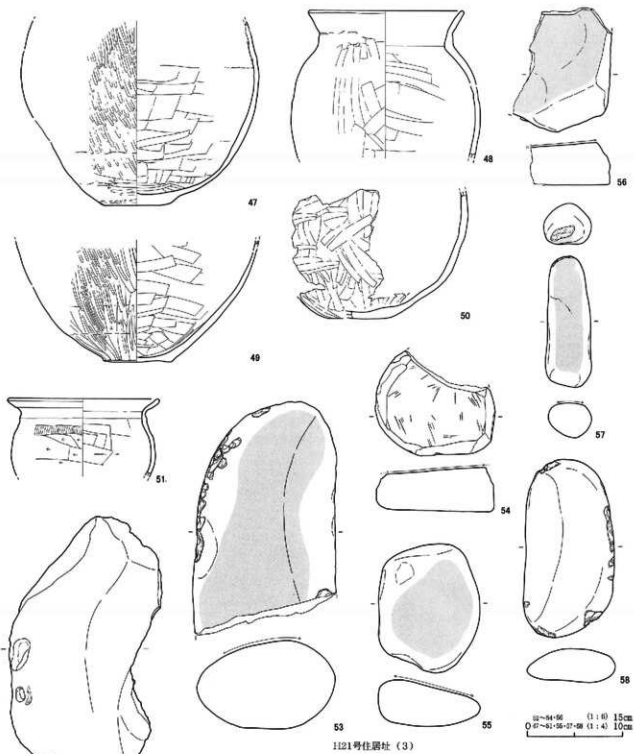


- 1 黒褐色土 (10182/2) 自然堆積。
 2 黒褐色土 (10182/3) 黒褐色土、特殊色土のブロック状に
 含む。自然堆積。
 3 緑 緑褐色土 (5183/2) 粘土。層の上部に多量。人為的堆積。
 4 緑 緑褐色土 (10182/2) 層の上部に多量。人為的堆積。
 5 緑 緑褐色土 (10183/3) 粘土。層の上部に多量。
 褐色の砂多量。人為的堆積。
 6 緑 黒褐色土 (10182/2)
 7 緑 緑褐色土 (10183/4) 緑褐色土。褐色土のブロック多量。
 8 緑 に近い黄褐色土 (10184/2) 砂が主。
 9 黄 黒褐色土 (10182/2)
 10 緑 緑褐色土 (10183/3)
 11 緑 緑褐色土 (10183/3) 床下層土。

第27図 H21号住居址 (1)



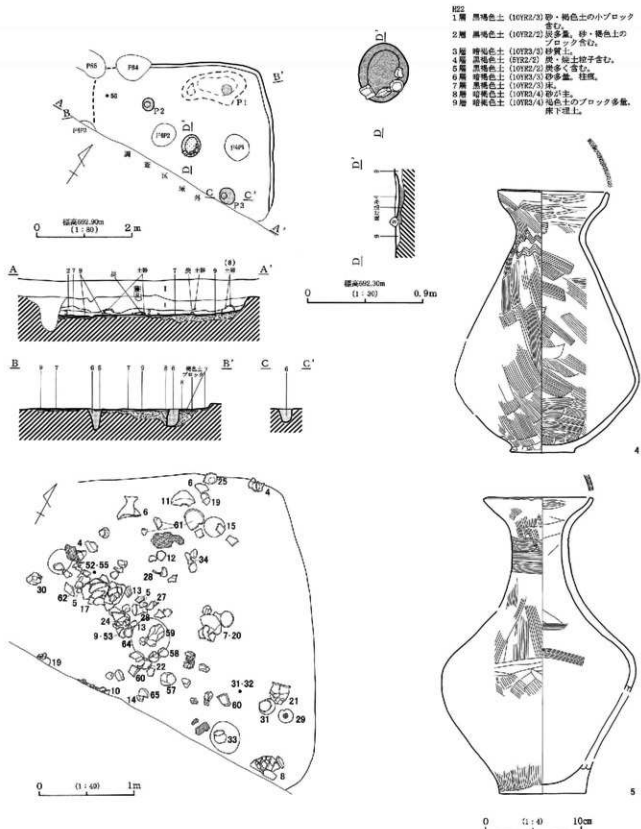
第28图 H21号住居址(2)



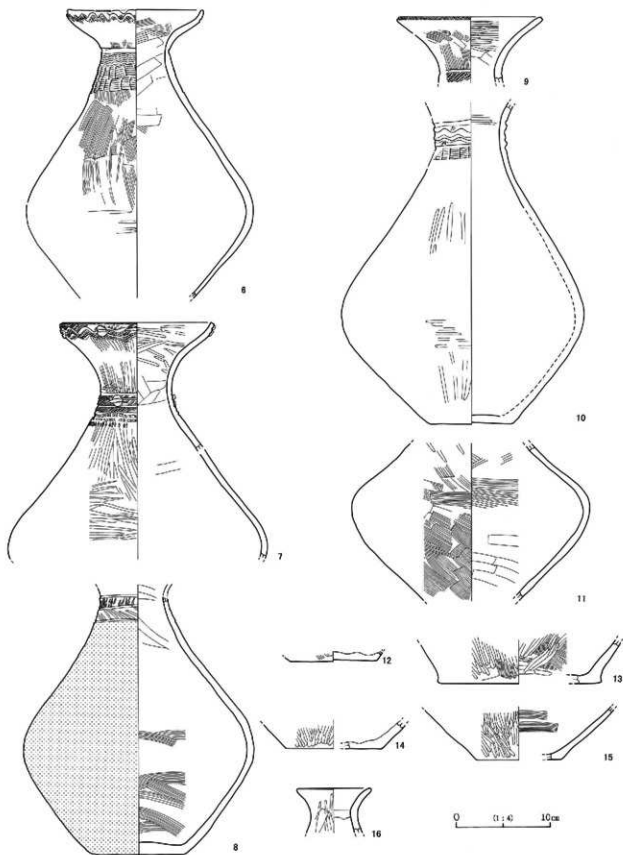
H22号住居址



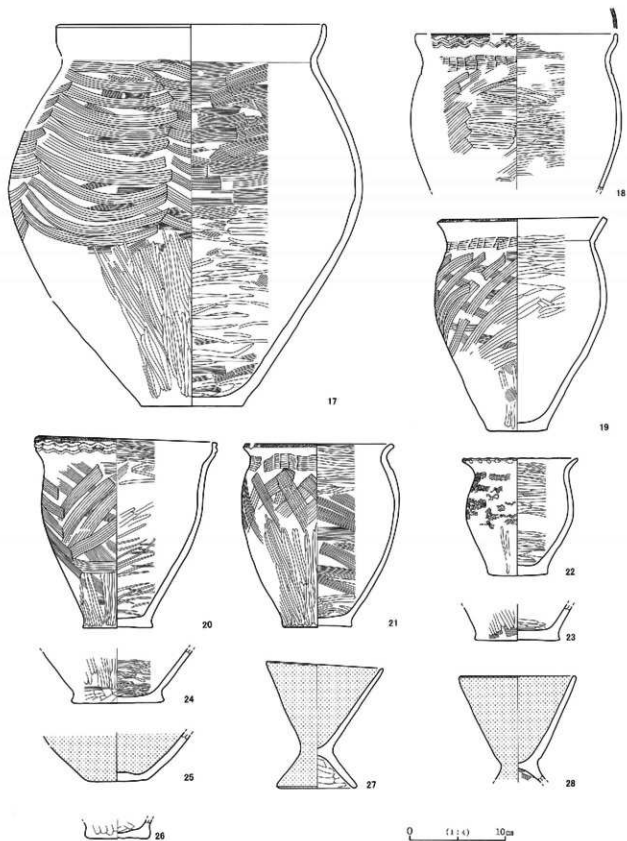
第29图 H21号住居址 (3) · H22号住居址 (1)



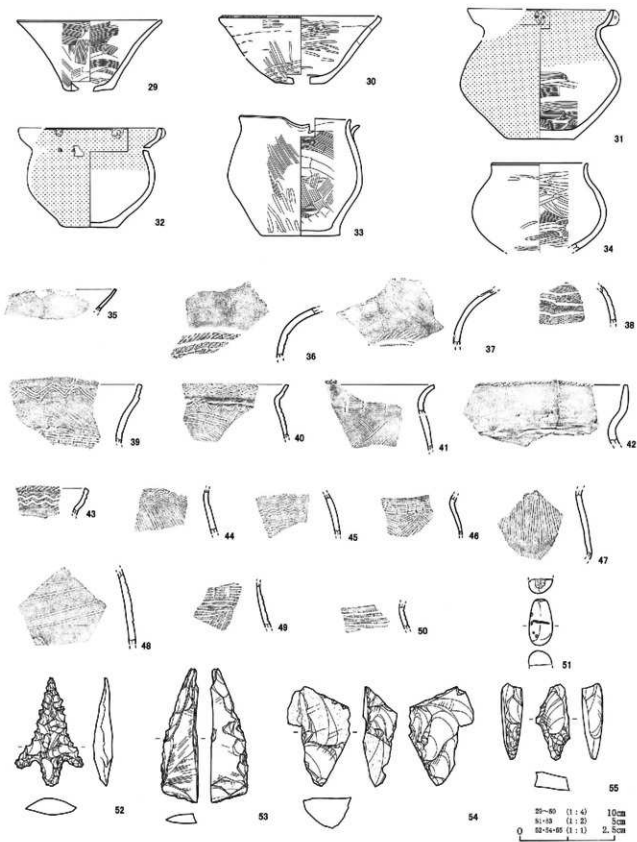
第30図 H22号住居址(2)



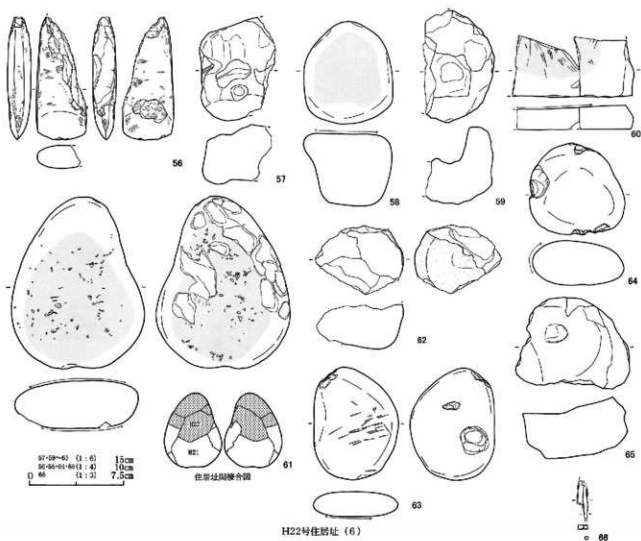
第31图 H22号住居址(3)



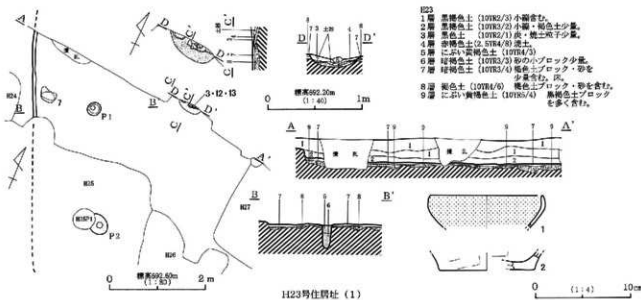
第32图 H22号住居址(4)

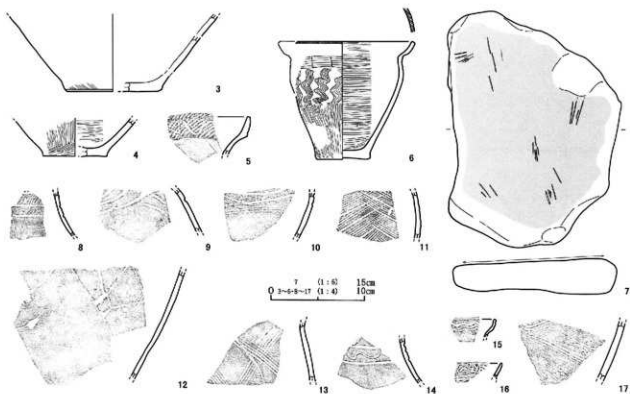


第33图 H22号住居址(5)



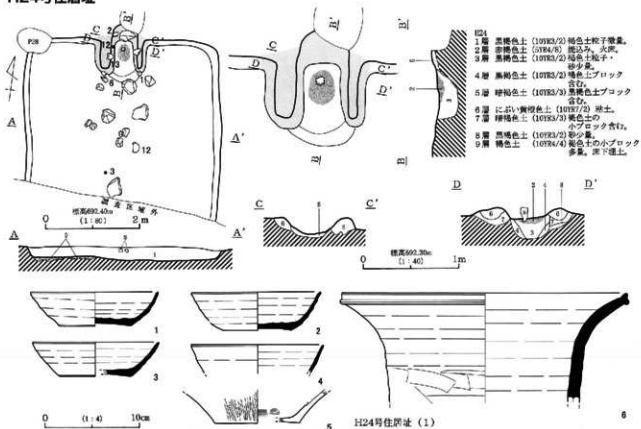
H23号住居址



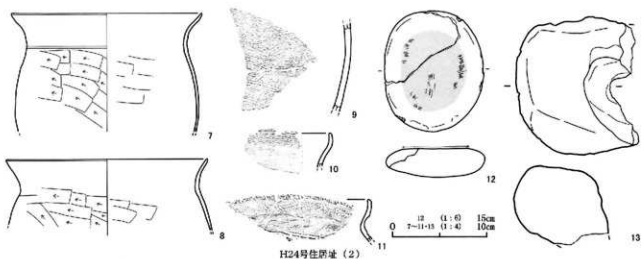


H23号住居址 (2)

H24号住居址

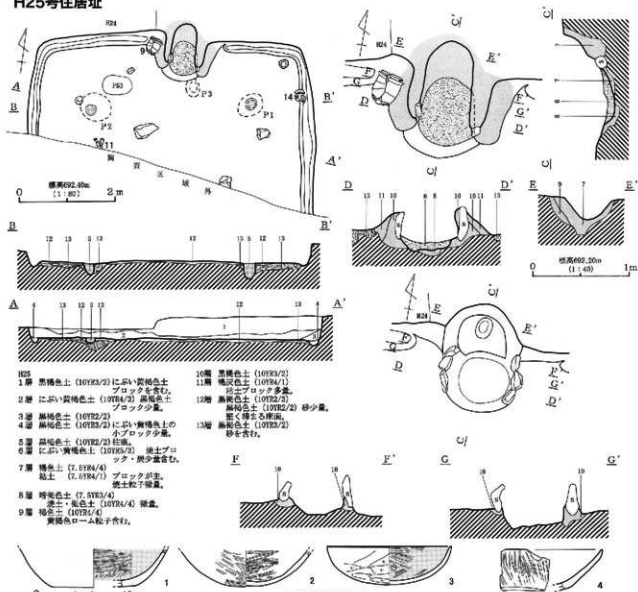


H24号住居址 (1)
第35図 H23号住居址 (2)・H24号住居址 (1)



H24号住居址 (2)

H25号住居址

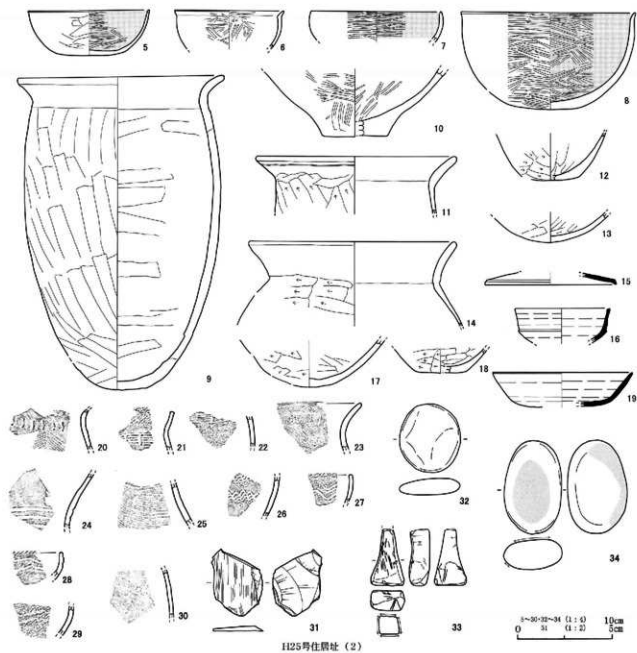


H25

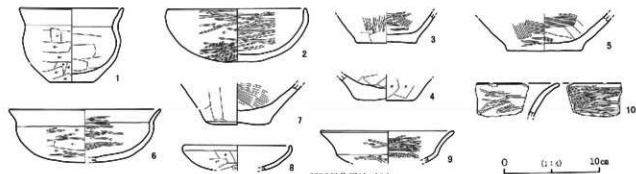
- 1層 黒褐色土 (10YR2/2) に灰黄褐色土ブロックを含む。
- 2層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 黒褐色土ブロック少量。
- 3層 黒褐色土 (10YR2/2)
- 4層 黒褐色土 (10YR2/2) に灰黄褐色土の小ブロック少量。
- 5層 黒褐色土 (10YR2/2) 柱痕。
- 6層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 漆土ブロック・灰少量含む。
- 7層 褐色土 (7.5YR4/4) ブロックが主。粘土粒子豊富。
- 8層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 漆土・灰色土 (10YR4/4) 少量。
- 9層 褐色土 (10YR4/4) 黄褐色ローム粘土を含む。

- 10層 黒褐色土 (10YR2/2)
- 11層 暗褐色土 (10YR4/1) 漆土ブロック多量。
- 12層 黒褐色土 (10YR2/2) 黒褐色土 (10YR2/2) 砂少量。壁く跡を有す。
- 13層 黒褐色土 (10YR2/2) 砂を含む。

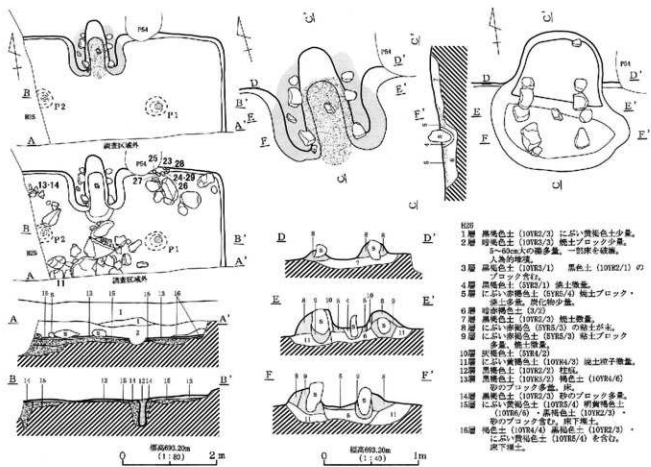
H25号住居址 (1)
第36図 H24号住居址 (2)・H25号住居址 (1)



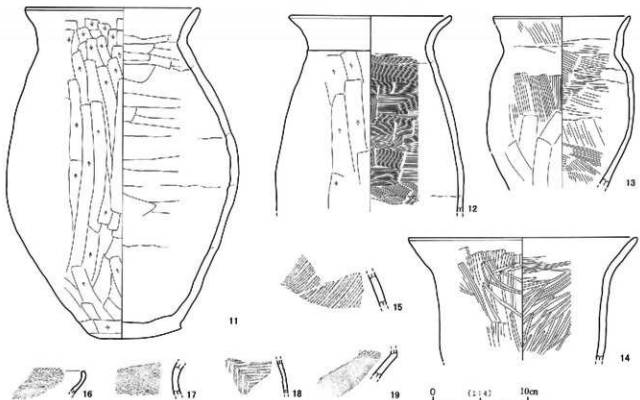
H26号住居址



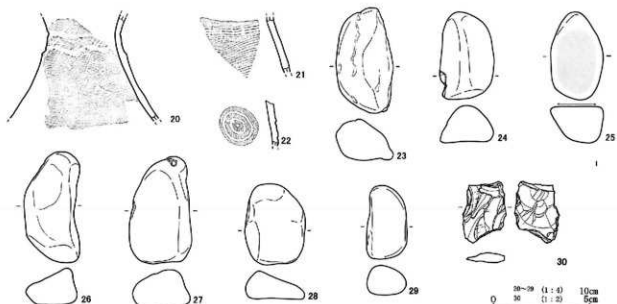
第37图 H25号住居址 (2) · H26号住居址 (1)



- K25
- 1層 黄褐色土 (10YR2/3) に多い黄褐色土少量。
 - 2層 黄褐色土 (10YR2/3) 粘土ブロック少量。5-60cm大の礫多量。一部断を破壊。人為的埋没。
 - 3層 黄褐色土 (10YR2/1) 黒色土 (10YR2/1) のブロック含む。
 - 4層 黄褐色土 (10YR2/1) 粘土塊多。
 - 5層 に多い赤褐色土 (5YR5/4) 粘土ブロック。粘土多量。黄化物少量。
 - 6層 暗赤褐色土 (3Y2/2)
 - 7層 黄褐色土 (10YR2/2) 粘土塊多。
 - 8層 に多い赤褐色 (5YR5/3) の粘土が主。
 - 9層 に多い赤褐色土 (5YR5/3) 粘土ブロック多量。粘土塊多。
 - 10層 黄褐色土 (10YR4/2)
 - 11層 に多い黄褐色土 (10YR4/2) 粘土粒子散見。
 - 12層 黄褐色土 (10YR2/2) 柱石。
 - 13層 黄褐色土 (10YR3/2) 褐色土 (10YR4/6) 砂のブロック多量。砂。
 - 14層 黄褐色土 (10YR2/2) 砂のブロック多量。
 - 15層 に多い黄褐色土 (10YR3/4) 黄褐色土 (10YR4/6) - 黄褐色土 (10YR2/2) - 砂のブロック含む。断下埋土。
 - 16層 褐色土 (10YR4/4) 黄褐色土 (10YR2/2) - に多い黄褐色土 (10YR4/6) を含む。断下埋土。

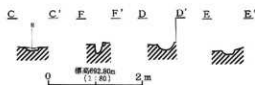
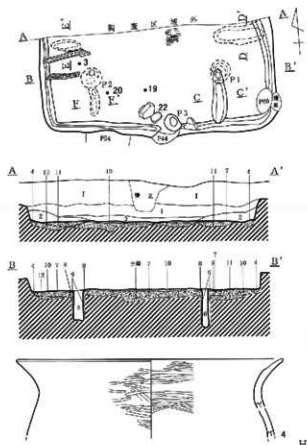


第38図 H126号住居址 (2)

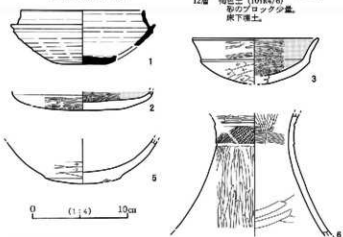


H26号住居址 (3)

H27号住居址

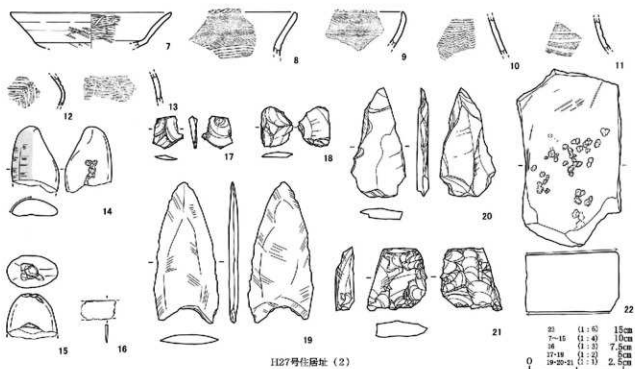


- H27
- 1層 黒褐色土 (10YR5/2) 粘土ブロック散見。
 - 2層 褐色土 (10YR4/1)
 - 3層 黒褐色土 (10YR5/1) 粘土ブロック、炭化物を含む。
 - 4層 褐色土 (10YR4/1)
 - 5層 褐色土 (10YR4/4) 柱痕。
 - 6層 褐色土 (10YR4/1) 柱痕。
 - 7層 におい黄褐色土 (10YR4/3) 灰・黄褐色土 (10YR6/8) ブロック散見。灰。
 - 8層 におい黄褐色土 (10YR4/3) におい黄褐色土 (10YR6/4) 黄褐色土 (10YR4/1) 粒子をまき。
 - 9層 褐色土 (10YR4/4) 灰黄褐色土 (10YR4/2) 砂のブロック少量。
 - 10層 におい黄褐色土 (10YR6/4) におい黄褐色土 (10YR6/4) 砂ブロック含む。床下埋土。
 - 11層 におい黄褐色土 (10YR6/3) におい黄褐色土 (10YR6/4) ブロック多量。床下埋土。
 - 12層 褐色土 (10YR4/6) 砂のブロック少量。床下埋土。

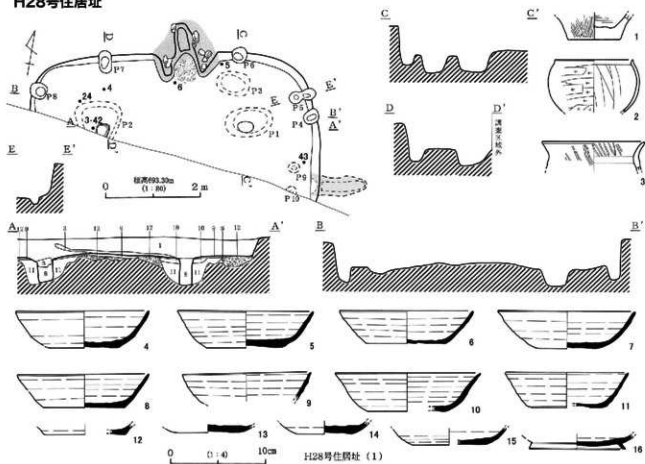


H27号住居址 (1)

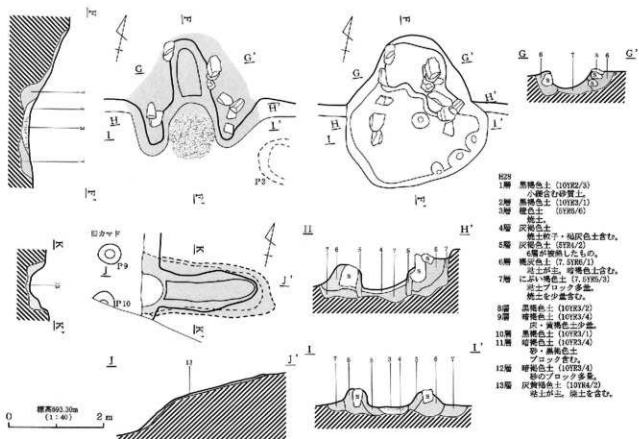
第39図 H26号住居址 (3)・H27号住居址 (1)



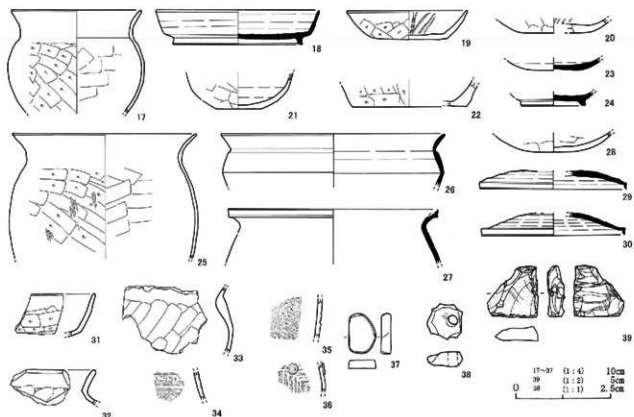
H28号住居址



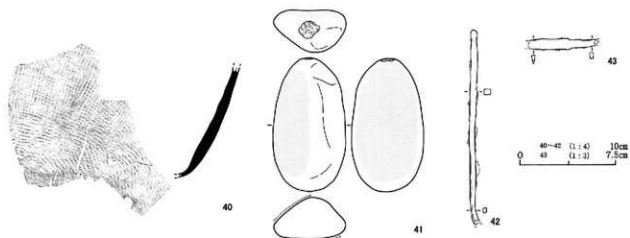
第40图 H27号住居址 (2) · H28号住居址 (1)



- 828
- 1層 黒褐色土 (10YR2/3)
- 2層 黒褐色土 (10YR2/1)
- 3層 橙土 (5YR5/6)
- 4層 灰褐色土
粘土質、灰褐色土含む。
- 5層 灰褐色土 (5YR4/2)
- 6層 灰褐色土 (7.5YR6/1)
- 7層 に深い褐色土 (5.0YR5/2)
- 8層 黄褐色土 (10YR3/2)
- 9層 暗褐色土 (10YR3/4)
- 10層 黒褐色土 (10YR2/1)
- 11層 暗褐色土 (10YR3/4)
- 12層 暗褐色土 (10YR3/4)
- 13層 灰黄褐色土 (10YR4/2)

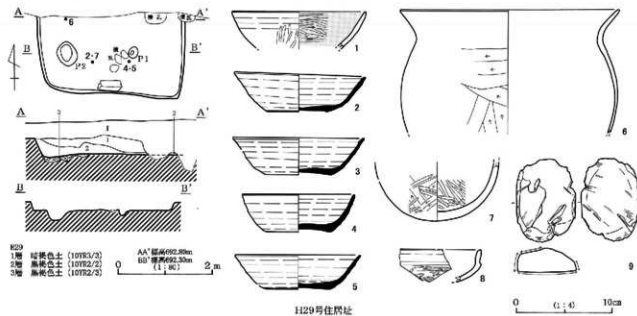


第41図 H28号住居址 (2)



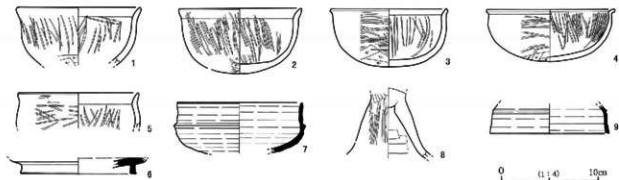
H28号住居址 (3)

H29号住居址

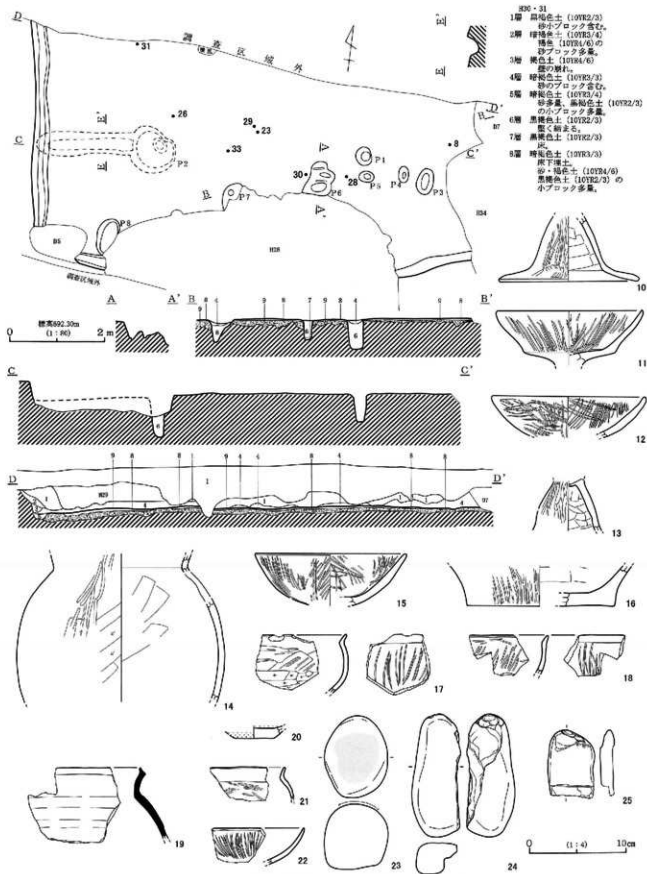


H29号住居址

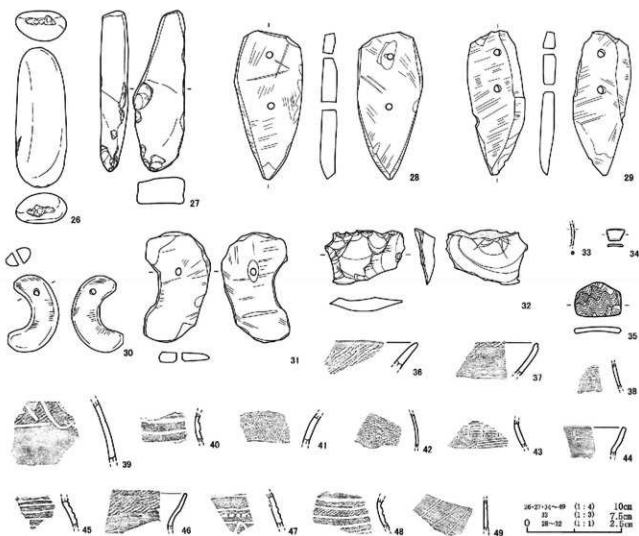
H30・H31号住居址



第42图 H28号住居址 (3)・H29号住居址・H30・H31号住居址 (1)

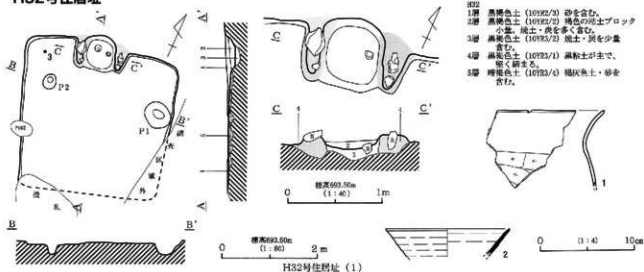


第43図 H30・31号住居址(2)



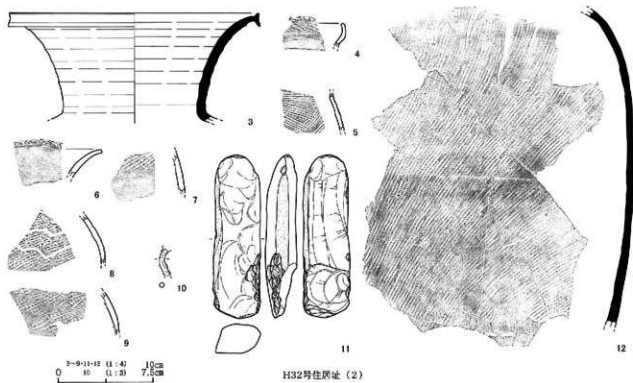
H30・H31号住居址(3)

H32号住居址

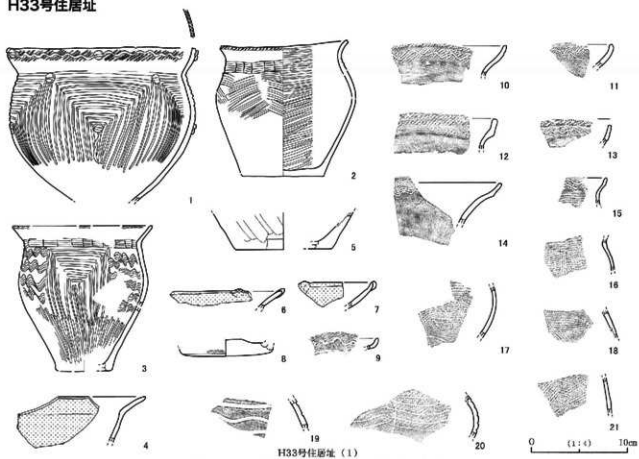


- H32
- 1層 黒褐色土 (1092/2) 砂を含む。
 - 2層 黒褐色土 (1092/2) 褐色の珪土ブロック小石・炭を多く含む。
 - 3層 黒褐色土 (1092/2) 焼土・炭を少量含む。
 - 4層 黒褐色土 (1092/1) 黒粘土が主で、炭く網まる。
 - 5層 暗褐色土 (1092/4) 焼灰土・砂を含む。

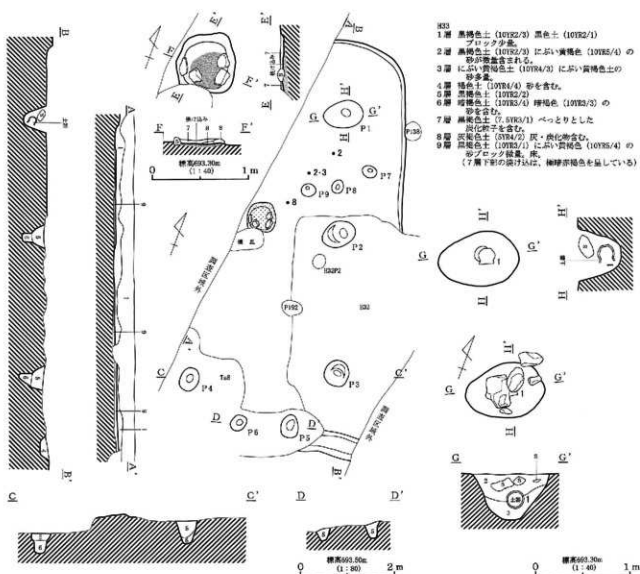
第44図 H30・31号住居址(3)・H32号住居址(1)



H33号住居址

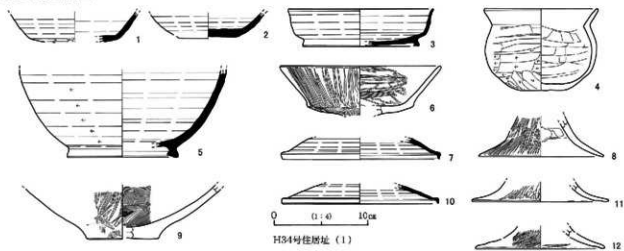


第45图 H32号住居址 (2) · H33号住居址 (1)



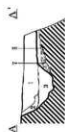
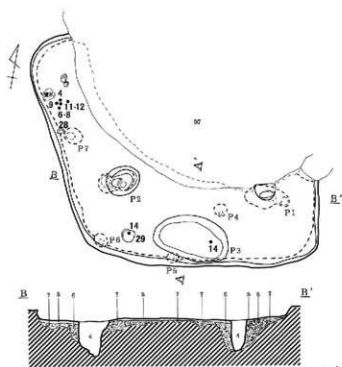
I133号住居址 (2)

H34号住居址

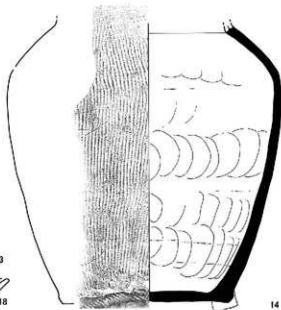


H34号住居址 (1)

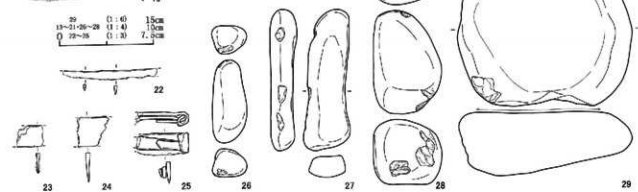
第46図 I133号住居址 (2)・H34号住居址 (1)



- H34
- 1層 黒褐色土 (10YR2/3)
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/4)
 - 3層 黒褐色土 (10YR2/2)
 - 4層 灰褐色土 (10YR2/3)
 - 5層 灰褐色土 (10YR3/2)
 - 6層 暗褐色土 (10YR3/4)
 - 7層 黒褐色土 (10YR2/3)
- 砂・褐色土のブロック多量を含む。
砂・褐色土のブロック多量を含む。
砂・褐色土のブロック多量を含む。
砂・褐色土のブロック多量を含む。
砂・褐色土のブロック多量を含む。
砂・褐色土のブロック多量を含む。
砂・褐色土のブロック多量を含む。



20 (1:4) 15cm
13~21-26~28 (1:4) 10cm
0 22~25 (1:20) 7.5cm



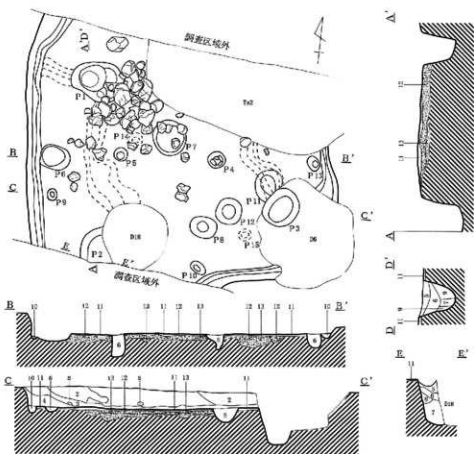
H34号住居址 (2)

H35号住居址

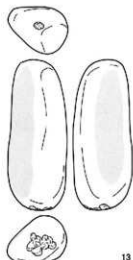


H35号住居址 (1)

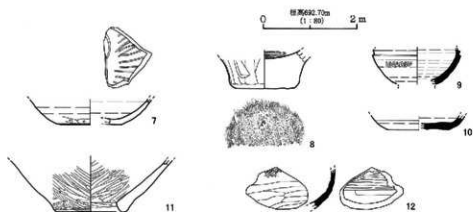
第47図 H34号住居址 (2)・H35号住居址 (1)



- 図説
- 1層 赤褐色土 (10YR6/6) 砂が主、ふい青褐色土の砂を含む。人為的堆積。
 - 2層 暗褐色土 (10YR2/2) にふい青褐色土の砂ブロックを含む。人為的堆積。
 - 3層 黒褐色土 (10YR2/2) にふい青褐色土の砂ブロックを含む。人為的堆積。
 - 4層 黒褐色土 (10YR2/1) にふい青褐色土のブロック少量含む。人為的堆積。
 - 5層 にふい青褐色土 (10YR4/3) 腐植土の砂ブロックを含む。
 - 6層 黒褐色土 (10YR3/2) 腐植土の砂を含む。
 - 7層 黒褐色土 (10YR2/2) 炭褐色土の砂小塊を含む。
 - 8層 褐色土 (10YR4/8) 腐植土の砂を含む。
 - 9層 黄褐色土 (10YR5/6) 腐植土の砂ブロックを含む。
 - 10層 黄褐色土 (10YR2/2)
 - 11層 黒褐色土 (10YR2/2) 土。
 - 12層 黒褐色土 (10YR2/2) 砂、褐色土・黒色土のブロック少量、灰下層土。
 - 13層 暗褐色土 (10YR2/4) 砂が主、灰下層土。

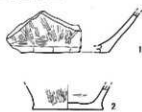


13

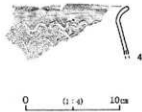


H35号住居址 (2)

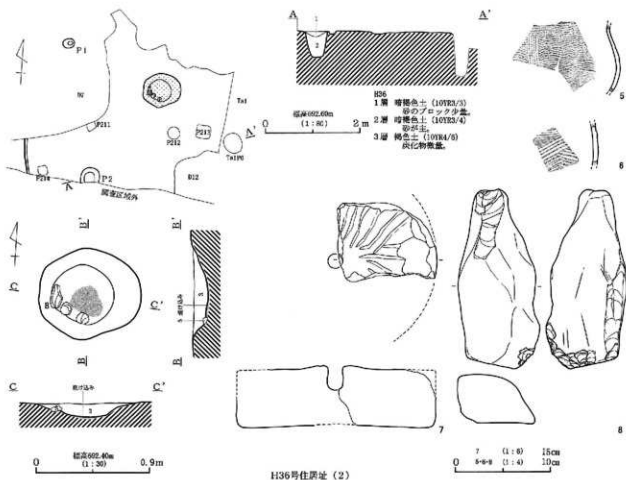
H36号住居址



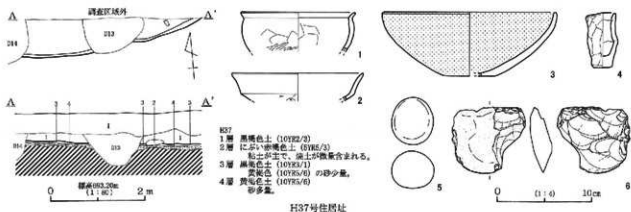
H36号住居址 (1)



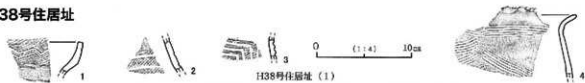
第48圖 H35号住居址 (2)・H36号住居址 (1)



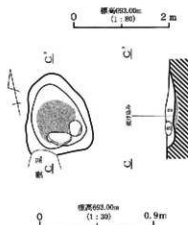
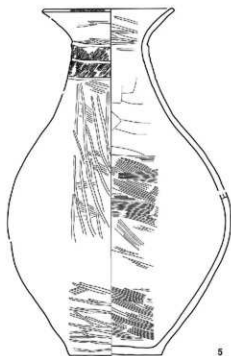
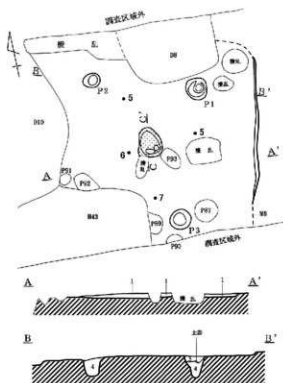
H37号住居址



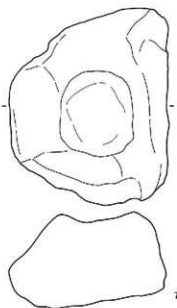
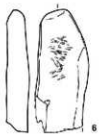
H38号住居址



第49図 H36号住居址 (2)・H37号住居址・H38号住居址 (1)

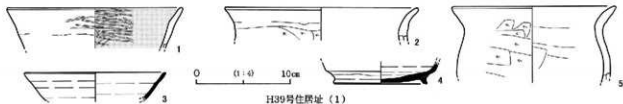


- DBS
 1層 黒褐色土 (10YR2/2)
 褐色土 (10YR4/6) の
 小ブロック少量
 2層 黒褐色土 (10YR2/2)
 赤土粒子含む
 3層 黒褐色土 (10YR2/2)
 砂少量
 4層 暗褐色土 (10YR3/4)
 砂が主
 1層の下層に埋蔵し覆い
 床がみられた。

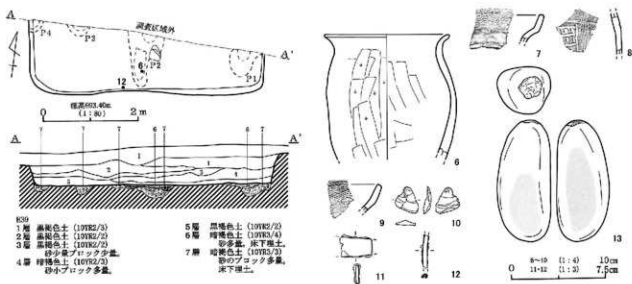


H38号住居址 (2)

H39号住居址

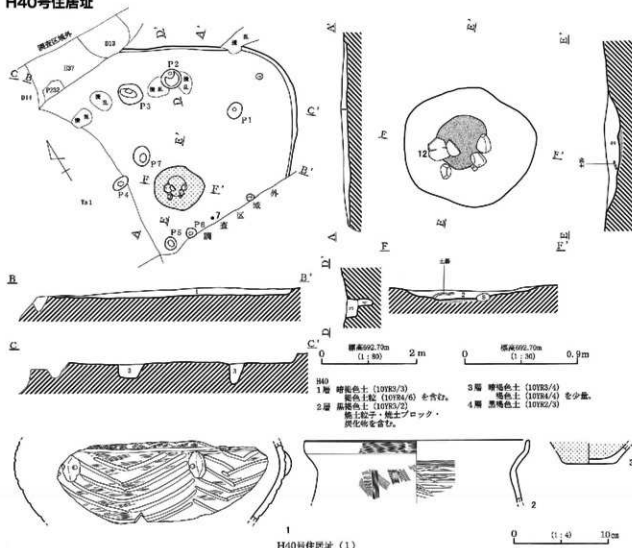


第50図 H38号住居址 (2)・H39号住居址 (1)



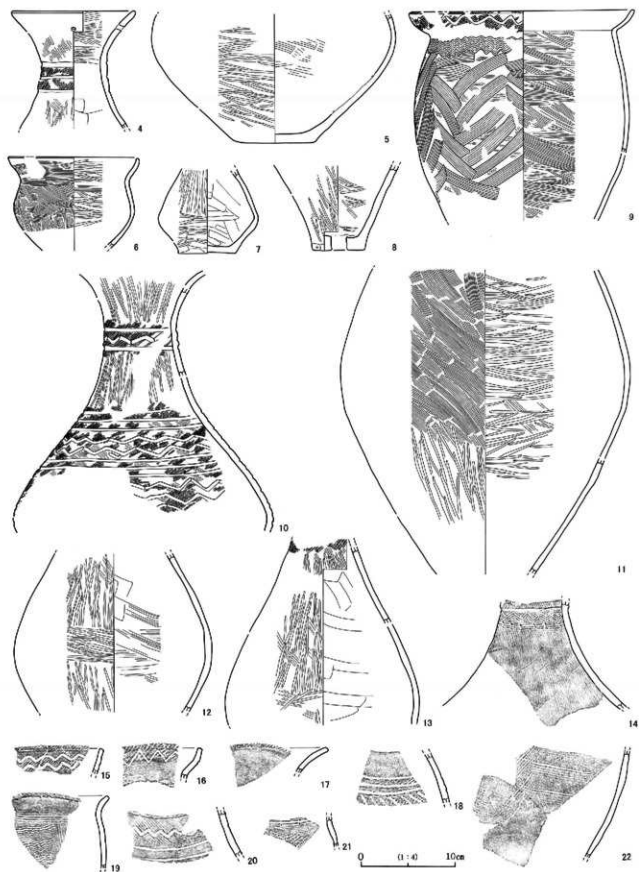
H39号住居址 (2)

H40号住居址

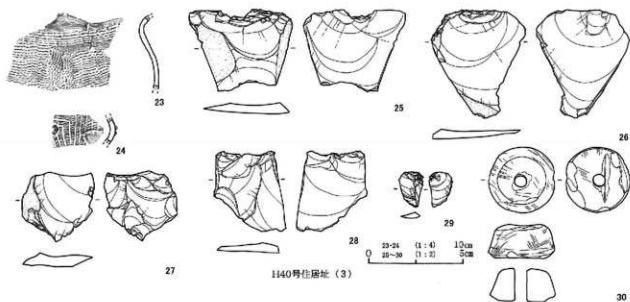


H40号住居址 (1)

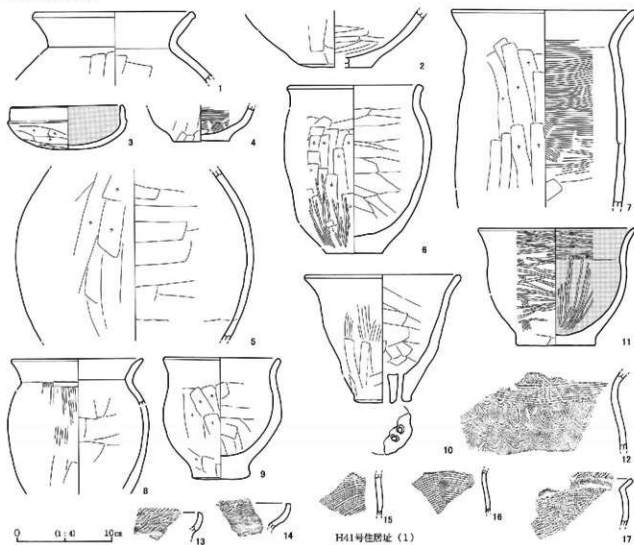
第51図 H39号住居址 (2)・H40号住居址 (1)



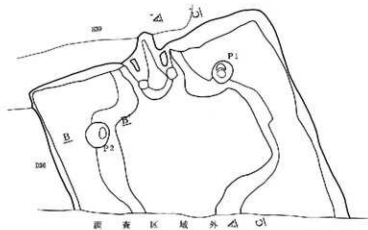
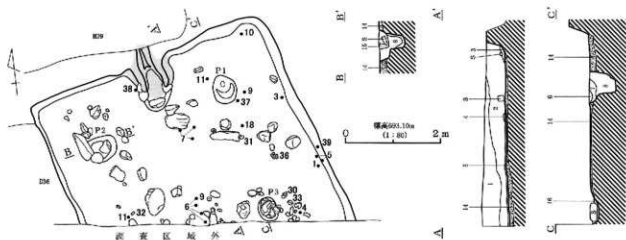
第52圖 H140号住居址(2)



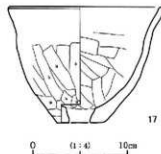
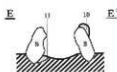
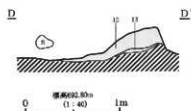
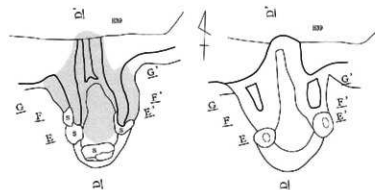
H41号住居址



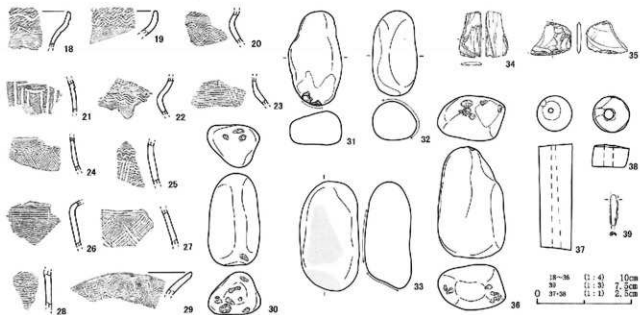
第53图 H40号住居址 (3) · H41号住居址 (1)



- 881
 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 自然堆積。
 2層 黒褐色土 (10YR2/3) 砂・粘土のブロック多量に含む。(人為的堆積)
 3層 暗褐色土 (10YR2/3)
 4層 黒褐色土 (10YR2/2) 濃土・砂。
 5層 黒褐色土 (10YR2/1) 粉状の砂。
 6層 暗褐色土 (10YR2/3) 強く締ら。
 7層 黒褐色土 (10YR2/2)
 8層 黒褐色土 (10YR2/3) 砂小ブロック・黒褐色土ブロック多量に含む。
 9層 黒褐色土 (10YR2/1) 締り・粘性ややあり。濃土ブロック多量に含む。(ツグサ掘り?)
 10層 黒褐色土 (10YR2/2) 締り・粘性あり。濃土ブロックを多く含む。
 11層 灰い黄褐色土 (10YR4/3) 締り・粘性弱い。砂で濃土ブロック少々含む。
 12層 褐色土 (10YR4/5) 粘土層。
 13層 褐色土 (10YR2/1) 締り・粘性あり。灰層あり。
 14層 灰い黄褐色土 (10YR4/3) 締り・粘性あり。下層砂含む。粘床。
 15層 褐色土 (10YR4/1) 締り・粘性強い。砂多く含む。
 16層 黒褐色土 (10YR2/2)

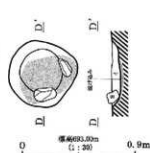
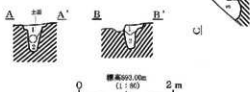
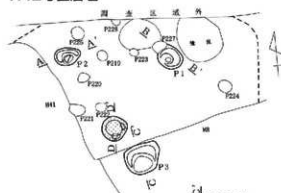


第54図 H41号住居址(2)



H41号住居址 (3)

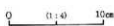
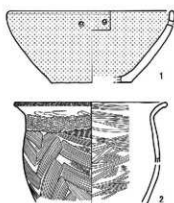
H42号住居址



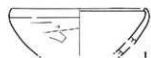
- H42
- 1層 赤褐色土 (10192/3)
砂・ブロッケツ少量。
 - 2層 暗褐色土 (10193/4)
砂が土、黒色土 (10192/3)
ブロッケツ少量。
 - 3層 黒色土 (10192/1)
腐土り、粘物多い。
ロームブロッケツ散在。
 - 4層 極暗褐色土 (7.5322/3)
粘土粒子少量。



H42号住居址



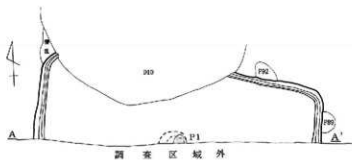
H43号住居址



H43号住居址 (1)

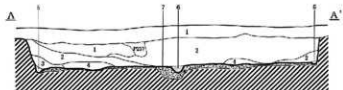


第55図 H41号住居址 (3)・H42号住居址・H43号住居址 (1)



- H43
- 1層 暗褐色土 (10YR2/3) 暗褐色土 (10YR2/4) と砂のブロック多量、人為的堆積。
 - 2層 暗褐色土 (10YR2/3) 人為的堆積。
 - 3層 黒褐色土 (10Y2/3) 人為的堆積。
 - 4層 暗褐色土 (10YR3/2) 砂のブロック多量、人為的堆積。

- 5層 暗褐色土 (10YR3/2) 砂のブロック含む。
- 6層 黒褐色土 (10YR2/3) 暗褐色土 (10YR2/4)
- 7層 暗褐色土 (10YR3/4) 黄褐色土 (10YR2/2) の土壌が探出。

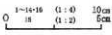
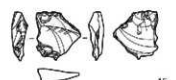
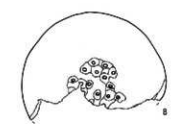
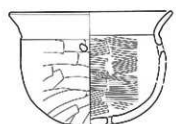
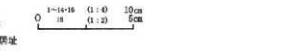


H43号住居址 (2)

H44号住居址

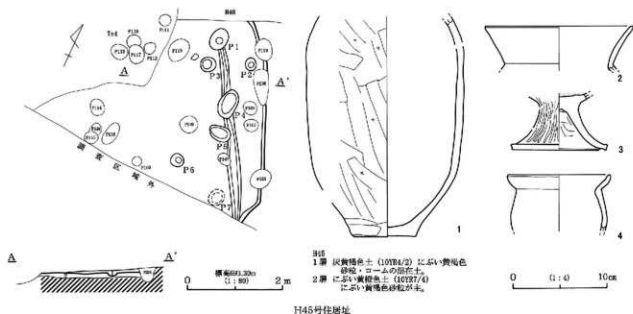


- H44
- 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 暗褐色土 (10YR2/2) ・砂のブロック多量、人為的堆積。
 - 2層 黒褐色土 (10YR2/2) 粘土 (白砂) ブロック多量。

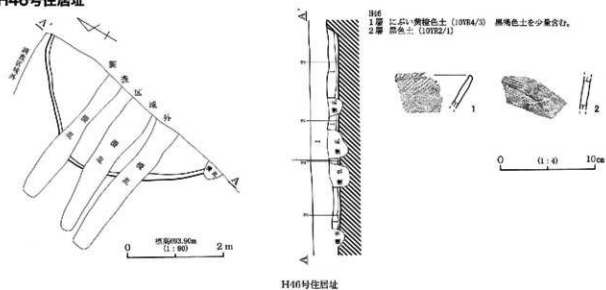


H44号住居址

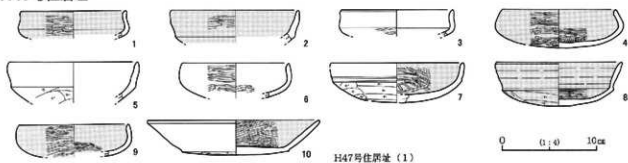
第56図 H43号住居址 (2) ・H44号住居址



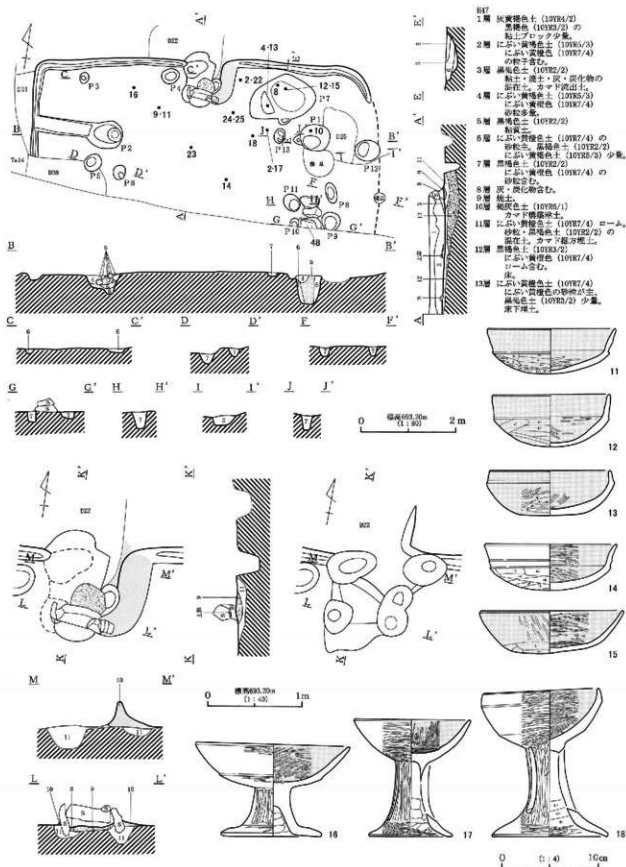
H46号住居址



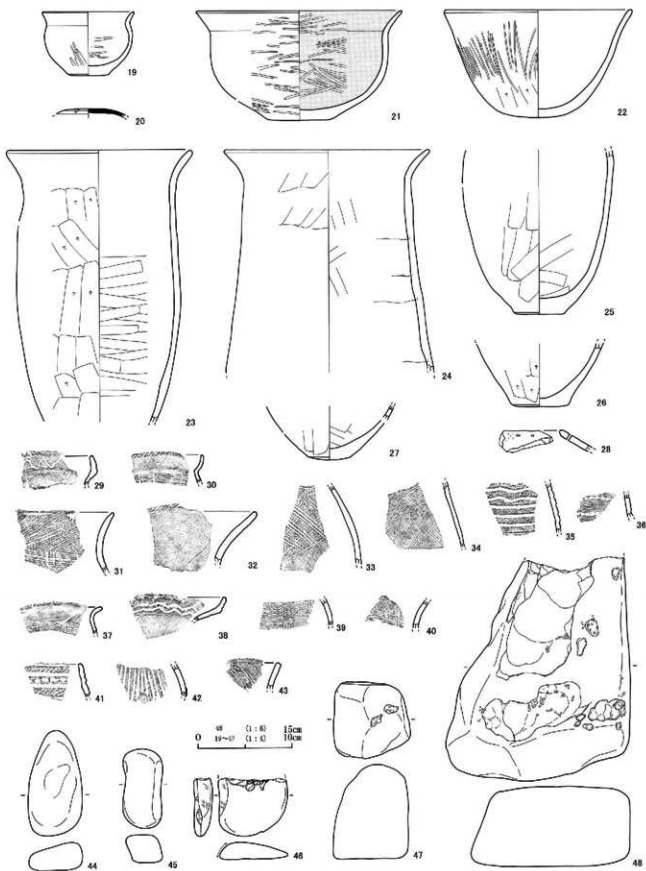
H47号住居址



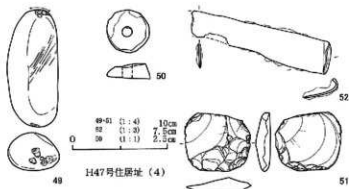
第57図 H45号住居址・H46号住居址・H47号住居址 (1)



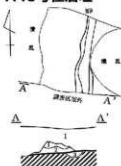
第58図 H47号住居址 (2)



第59图 H47号住居址(3)



H49号住居址

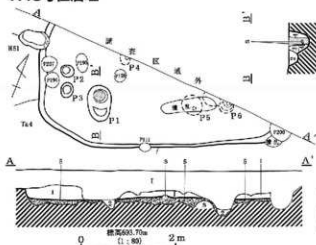


- 1層 褐色土 (10YR4/6) 砂を多く含む。
 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 褐色土 (10YR4/6) 少量。壁下に黒い床面がみられた。
 3層 灰色土 (10YR4/4) 褐色土 (10YR4/6) のブロックを含む。

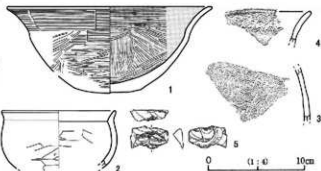
縮尺0.75m
 (1:80)

H49号住居址

H48号住居址

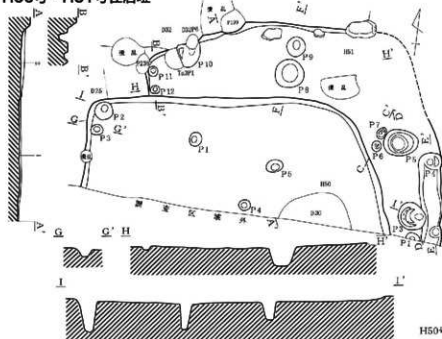


- 1層 におい黄褐色土 (10YR5/3) 黒褐色土 (10YR3/2) ・におい黄褐色 (10YR7/4) ローム少量。
 2層 黒褐色土 (10YR3/2) におい黄褐色 (10YR7/4) のロームと砂を含む。
 3層 灰黄褐色土 (10YR6/3) におい黄褐色土 (10YR2/2) 少量。
 4層 黒褐色土 (10YR3/2) 暗褐色土 (10YR2/2) 少量。
 5層 におい黄褐色土 (10YR7/4) におい黄褐色 (10YR7/4) のローム。砂粒が主。灰黄褐色土 (10YR4/2) 黒褐色土を含む。床下層土。上壁2cmが保。



H48号住居址

H50号・H51号住居址



- H50・H51
 1層 黒褐色土 (10YR3/2) 和灰あり。H50の礎土。
 2層 におい黄褐色土 (10YR5/3) におい黄褐色 (10YR3/2) の砂多量。H51の礎土。

H50号・H51号住居址

第60圖 H47号住居址 (4) ・H48号住居址 ・H49号住居址 ・H50号住居址 ・H51号住居址

H1号住居址 VIIい・1・2 Grにあり、H3・H4・F1に切られ、本址が一番古い。残存北壁1.86m・残存東壁1.56m・残存西壁0.76m南壁2.6m壁高は19cmを測る。主軸方位はN-16°-Eを示す。P1~P3は主柱穴で柱痕24cmを測る。南壁下に出入口施設のP4・P5、P6は貯蔵穴、北壁よりの地床炉の炉底は、焼け込む。床は堅いが薄い。遺物は、壺・甕・深鉢・鉢・手捏土器の弥生土器、土製品、石器がある。11の壺は無彩で、体部下半の稜は括れていない。8は頸部にヘラ描横線文・ヘラ描斜走文が施文される。22の土製勾玉は、焼成前片側から穿孔されている。21の琴柱様の土製品は、焼成前片側から穿孔、ヘラナデ後ヘラミガキされ、左側穴上に括れがみえる。垂飾であろうか。石器は蔽石・凹石・台石がある。拓本13・14・18~20は中期後半栗林期で混入。本址は弥生時代後期前半吉田期と思われる。

H2号住居址 VIIあ・い・4・5 Grにあり、H15に切られH16を切る。残存東壁5.24m、検出南壁0.48m、壁高は20cmを測り、軸方位はN-35°-Eを示す。主柱穴P1~P2の柱痕は径16cm。南壁から東壁下に登溝。床は堅く締まる。遺物には、土師器・須恵器・弥生土器・石器がある。7は須恵器坏蓋模倣の上師器坏、17は須恵器蓋でTK217に該当しようか。重複激しく2・3・6・10・19~23は、混入。2はH15出土片、6はH3・H16出土片と接合。石器は蔽石・凹石・凹石がある。本址は9世紀後半のH15に切られ、6世紀後半~7世紀初頭のH16を切り、7・17の特徴から7世紀代に位置づけられる。

H3号住居址 VIIあ・い・2・3 Grにあり、H1・H11・H14と重複し本址が一番新しい。規模は検出東壁2.8m南壁3.7m検出西壁2.1m、壁高は42cm、軸方位はN-10°-Eを示す。床は堅く締まる。出土遺物には、土師器・須恵器・弥生土器・石器がある。1~5~7・8・17・18は土師器坏で内面黒色処理、6・8・18が底部手持ちヘラケズリ、他は底部回転系切りである。9・10・12・14は土師器碗、15・16は土師器皿で内面黒色処理される。17の体部外面2箇所墨書「西〇」が、18の体部外面に刻書「大井」がみられる。8・19も文字判明しない墨書が認められる。21~34は須恵器坏で底部回転系切り後木調整である。35~38は口縁部「コ」の字の土師器武藏葺。他に須恵器甕39~41、灰釉陶器碗がある。弥生中期後半の土器片は混入。石器は蔽石・磨石がある。本址は、9世紀前半に位置づけられる。

H4号住居址 VIい・9・10、VIIい・1 Grに位置し、F1・P13に切られH1を切る。規模は検出東壁2.3m・南壁7.9m・検出西壁1.9m、壁高は35cmを測り、南壁中央に張り出し土坑がある。主軸方位は真北を示す。P1・P2は主柱穴で、P1から南壁に間仕切り溝。張り出し土坑は、床面よりやや下がって方形に張り出して、中央のP4は深さ60cm。調査範囲内にカマドはない。床はP1・P2内は堅く締まるが、壁側は軟弱である。遺物には、土師器・須恵器・弥生土器・石器がある。1~7は土師器坏で1・4が内面黒色処理される。須恵器坏蓋模倣の2・3・5・6、浅い丸底から長い口縁部が外反し口縁部と底部の境に稜を有す1がある。4は平底気味で内湾気味に緩く外反する。8は内外面ヘラミガキされる大型の土師器鉢である。9は土師器甕。石器は台石・凹石・編物石・蔽石・磨石がある。10~31は弥生中期後半の壺・甕等で34の石蔵木製品と共に混入である。本址は6世紀後半に位置づけられる。

H5号住居址 VIい・10、VIIい・1・2 Grにあり、H17を切る。検出北壁5m・検出東壁1.9m、検出西壁1.9m壁高は41cm、主軸方位はN-14°-Wを示す。カマドは北壁中央に粘土と石で構築されている。ビツは2個検出され、P1は主柱穴で、深さ65cmを測る。覆土は人為的な堆積であった。全体に堅く締まる床で、壁寄りは軟弱であった。出土遺物は、土師器・弥生土器・土製品・石器がある。1~8・13・15・17は土師器坏で、内面黒色処理されるもの1・4・13、内外面黒色処理されるもの2・6・7・15・17がある。須恵器坏蓋模倣の坏1・2・5~8・13・15、須恵器坏身模倣の坏17がある。甕(10~12・28・29・31・32)は最大径口縁部にあるものと体部にあるものがある。24・25・30は壺、9・18・19は大型の鉢、14の高坏は脚が短く内面黒色処理される。22は須恵器甕片を加工した円盤、33・34は輝石安山岩の台石とみられる。弥生時代中期後半の20・21・26・27は混入である。本址は6世紀後半に位置づけられる。

H6号住居址 VIい・7・8 GrにありM1・D3に切られH7・F2を切っている。残存北壁4m、検出西壁2.04m、壁高は32を測り、軸方位はN-15°-Eを示す。カマドは検出範囲にみられないが、北東角に焼土がみられた。P1の主柱穴は、柱痕径20cm、長径96cm、深さ52cmを測る。床は、堅く締まる。出土遺物は、土師器坏・甕、石器には台石、蔽石がある。弥生土器は混入である。本址は出土遺物少なく不確定であるが、6世紀後半~7世紀前半であろうか。

H7号住居址 VIい-7GrにありM1・H6に切られる。残存北壁1.8m、検出東壁0.3m壁高は4cm、付属施設は認められない。床は堅いが薄い。遺物は、弥生土器で鉢と拓本で示した甕・壺がある。鉢は口縁部に円形の突起、内外面赤彩が施される。本址は、弥生時代中期後半栗林期ととらえられよう。

H8号住居址 IIい-5GrにありP188～P190に切られ、一部を攪乱で破壊されている。北壁2.9m、検出東壁0.84m、検出南壁2.2m、西壁2.9m、壁高は18cmを測り、主軸方位はN-12°-Wを示す。カマドは北壁の中央に粘土・粘質土と石により構築されている。ピットは袖部に関するものであろう。西壁から南壁下に、壁溝が認められた。床は堅く締まるが薄い。遺物は土師器・須恵器・弥生土器・鉄器・石器がある。1・5は土師器小型の甕で、1は頸部「コ」の字気味の小型「武蔵甕」である。2・3は土師器坏で底部ヘラケズリ、6は土師器鉢。4・7・8・10・12・13は須恵器坏で底部ヘラケズリされる。15は燧鉄、11の石包丁は混入である。本址は、8世紀後半に位置づけられる。

H9号住居址 VIあ-6GrにありM2に切られる。検出東壁0.9m、残存南壁2.54m、壁高は14cmを測る。ピットは南壁寄りに2個、深さはP1が40cm、P2が12cmで出入り口の施設であろうか。東側の床は堅いが、ピット付近は軟弱である。出土遺物は、弥生土器と石製木製品である。5・8の壺は無彩である。2は深鉢の上部であろう。本址は、弥生時代中期後半栗林期ととらえられよう。

H10号住居址 VIあ-4GrにありP215に切られ西壁を攪乱で破壊される。検出東壁0.6m、残存南壁3.6m、壁高は18cmを測る。床は堅く締まるが、東側壁寄りは軟弱であった。出土遺物は、土師器・弥生土器である。弥生土器は混入である。本址は、遺物極少であるが古墳時代後期6世紀代か？

H11号住居址 VIIあ-い-2・3GrにありII3・H14・H15・H16・P164に切られ本址が一番古い。残存東壁2.04m、壁高は11cmを測り、主軸方位はN-2°-Wを示す。ピットは15個、P1～P4・P14・P15が床面、他は床面下から検出。P1～P4は主柱穴で桁行き4.4m、梁行き2.4・2.5mの入口側が開く台形気味に配置される。深さ29cm～49cm。東壁下に周溝がある。掘方から旧住居が確認され、P3・P4と出入り口施設をの南半分が拡張されている。主柱穴P3・P4の内側には、旧入口施設P8・P10や壁溝がある。炉はH14に破壊されている。出土遺物は、弥生土器と石器である。17は石質硬質砂岩の木製品磨製石鏃である。これら遺物より本址は、弥生時代中期後半栗林期に位置づけられる。

H12号住居址 IVあ-い-9・10Grにあり、H19・F3に切られている。検出東壁2.2m南壁4.7m検出西壁3.1m壁高は61cmを測り、軸方位はN-7°-Wを示す。主柱穴P1は22cm・P2は30cmの柱痕が確認できた。南壁下に入出口施設のP3がある。出土遺物は土師器・石器がある。弥生中期土器・黒曜石打製石鏃は混入である。1・3は須恵器坏蓋模倣の土師器坏、3は内面黒色処理される。4・7は鉢、8は甕、10は壺である。11・12は長胴の甕で12の最大径は胴部、11は口縁部にある。石器は砥石15、多孔隙安山岩の凹石14・24、磨石13、敲石23がある。本址は6世紀後半～7世紀初頭に位置づけられる。

H13号住居址 IVい-9・10Grにあり、北壁4.6m・検出東壁0.7m・検出西壁1.5m、壁高は60cm、主軸方位はN-15°-Eを示す。カマドは北壁の中央に粘土と石により構築されている。袖部は地山を掘り残し芯材としている。P1は主柱穴で、柱痕は径16cm。垂木材の炭化材が床面直上の3層(0～10cm)から多量に出土し、床面には被熱による焼け込みがみられた。西北角の状況から、入母屋の上屋が想定される。炭化材上面に、焼失後廃棄された大小角礫が多量にみられた。床は軟弱で検出が困難であった。遺物は、3層内・礫下の床面から出土した。27の甕のみ炭化材の上面に接していた。出土遺物は、土師器・須恵器・鉄器・白玉・弥生土器がある。11～13・17は土師器坏で、11は深い半球状で内面ヘラミガキされる。11・17内斜口縁を持つ。16の高坏は丁寧な放射状のヘラミガキが施されている。23は「く」の字状口縁の土師器甕で、腰部に最大径がある。14・15の土師器壺は、外面よくヘラミガキされる。26は底部全開、27は2孔の大型土師器甕である。27は貫の子落下防止の機能であろうか、底部を全開せずに底部中央を帯状に幅8mm残している。18の須恵器坏は底部丸く仕上げられ、回転ヘラケズリ調整、口縁端部極短く外反する。TK47型式に該当しよう。21は有頸身三角形造込平で孔を有する燧鉄である。22は滑石の白玉。1～10・14の弥生土器は混入。本址は5世紀後半に位置づけられる。

H14号住居址 VIIあ-い-3GrにありH15・H3に切られH16を切っている。残存南壁3.28m、検出西壁3.8m、壁高は38cm、軸方位N-16°-W。P1・P2の主柱穴、柱痕径20cm。南・西壁下には壁溝が巡る。

出土遺物は、土師器・須恵器・石器がある。3の上師器環・弥生土器・打製石斧・打製石鏃は混入である。1・4は内面黒色処理される須恵器環蓋模倣の土師器環、17は須恵器蓋でTK217型式に該当しようか。10は素焼きの紡錘車、12は石英安産岩の凹石である。本址は、7世紀代と思われる。

H15号住居址 VIIあ・い・3・4 Grにあり、H2・H11・H14・H16を切る。確認難く検出状況は良好でない。規模は残存南壁3m検出西壁2.8m壁高は土層断面で50cm。カマドは検出範囲にはなかった。遺物は、土師器・須恵器・石器がある。3は内面黒色処理される土師器環で、墨書「上」が認められる。4・6は土師器碗で高台が付されよう。4は内面黒色処理される。5は土師器口ロコ甕、9は頸部「コ」の字「武茂婁」である。10は底部回転糸切りの須恵器環、灰釉陶器皿である。2の須恵器平底部片の見込部に磨耗が見られ、転用碗か？1は磨石である。本址は9世紀後半に位置づけられる。

H16号住居址 VIIい・4・5 Grにあり、H2・H14・H15・P229・P64に切られH11を切っている。残存東壁3.68m、壁高は32cmを測る。P2は、主柱穴か？東壁下には溝溝が巡る。出土遺物は、土師器・須恵器・石器がある。重葎が激しく、H15との重葎部から出土した1の土師器環1・6の灰釉陶器碗は、混入である。9～19の弥生土器、20の小型扁平片打磨製石斧、22の黒曜石剥片も混入である。2・4は土師器環、4は内面黒色処理される。7の須恵器坏身は小片であるがTK209に該当しようか。21の白玉は、土層断面図BB'8層から出土した。23の磨石、24の砥石は床面上から出土した。本址は、遺物の混入が激しく不確定ではあるが、6世紀中葉～7世紀初頭と思われる。

H17号住居址 VIあ・い・2・3 Grにあり、H5に切られH18を切る。検出北壁2.7m・検出東壁4.5m 検出南壁1.0m検出西壁3.9m壁高は42cmを測る。主軸方位はN-10°-Wを示す。カマドは北壁中央に袖部分地山削りだし、粘土で構築される。P1～P4は主柱穴で、柱痕は径28cm、桁行き・梁行き3.8m。カマド東脇のP5は深さ52cmの貯蔵穴、堤帯が僅かに盛り上がる。床は堅く締まる。遺物は、土師器・須恵器・F1玉で、弥生土器は混入。1～4、7～10は土師器環で、半球状を呈する1・10・21と内斜口縁の2・3・7～9がある。よくヘラミガキされる。1・9・10はヘラケズリ。15は小型壺か、頸部強い「く」の字で内外面ヘラミガキ。17は外面ヘラミガキの鉢、5・6は底部から大きく開く土師器壺であろう。20の壺は内外面ヘラミガキされ、口縁端部は弱く内湾する。須恵器には、22・23の無蓋高坏がある。23は坏部が内湾気味に基部より外傾し、弱く括れ外傾する。口縁端部は丸い。上に2条の稜下に1条の稜で区画され、櫛描波状文が施文される。基部には脚部との接合補強用線刻が窺える。22は2条の稜を持ち緩く外反気味に立ち上がる。口縁端部は細く鋭い。22は猿投編年1期第5小期（東山11号窯）に比定されよう。23はTK47型式に該当しよう。滑石の石製模造品白玉が7点（40～46）カマド西袖部の粘土内から出土。本址は5世紀後半（5世紀第4四半期）に位置づけられる。

H18号住居址 Vあ・い・2・3 GrにありH17に切られ、検出北壁0.5m、検出西壁4.4m、壁高は34cm、主軸方位はN-20°-Eを示す。H17掘方下部の地山の焼け込みは、本址のカマド火床か。主柱穴P1・P2は深さ70cm・80cm、梁行き3.4mを測る。間仕切り溝が西壁から床中央に2本検出。西壁下に壁溝。遺物は、土師器・石器で、1は内外面よくヘラミガキされた有段口縁の高坏、2は浅い内斜口縁の坏、3は小型壺。4は安山岩製の凹石。本址は、5世紀後半（5世紀第3四半期）に位置づけられる。

H19号住居址 Vあ・い・8・9 Grにあり、H12・H20を切る。検出東壁1.0m、南壁3.4m、検出西壁2.8m、壁高は24cmを測る。遺物は、土師器・石器・石製品がある。弥生土器・12の石鏃は、混入である。1・2は内外面ミガキがみられる壺、11は小型の甕である。13は滑石製の紡錘車である。本址は、僅かな遺物で不確定であるが、7世紀代であろうか。

H20号住居址 Vあ・い・7・8 GrにありH19・H21・P21に切られる。残存東壁1.9m、残存西壁2.7m 壁高は28cm、長軸方位はN-3°-Wを示す。主柱穴P1・P2は、深さ58cm・62cm、梁行き2.2m。床面中央北寄りの焼け込みは地床炉か？遺物は、土器・鉄器・石器がある。弥生時代中期栗林期土器片は混入である。2～4・9・12・14・17・18・21は甕である。9は小型の台付甕で頸部に櫛描波状文、口縁部と胴部に櫛描波状文を施文する。2も頸部に櫛描波状文、口縁部と胴部に櫛描波状文が施文される。1・5・6・8は壺の口縁部・底部、5・6は赤彩される。22は、坏部が深く見込部付近から屈曲して直線的に伸びる口縁部、脚部は端部がやや内湾し3個の円形透かしがある東海地方系諸の高坏と考えられる。

7は高坏であろうか。10は刀子片、11は上・下面に敲打痕、正面に条痕がみられ、敲石と砥石の機能を持つ。本址は、弥生時代後期後半稻清水期終末に位置づけられる。

H21号住居址 Vい・う-6・7Grにあり、H20を切る。検出東壁2.5m・南壁3.9m検出西壁2.2m、壁高は48cmを測る。南壁下へ出入口施設のP1、床面は堅く締まる。大小角礫が覆土3層焼土塊上面・4層上面・地山の砂を多量に含む5層上面に見られた。3層～5層は人為的な堆積。遺物は、22が南壁に接するH20号住居址覆土、56が6層、55・57・59が7層、38・58がP1から出土し、他は2層下部・3～5層から出土した。5層は床面に接しており、本址廃絶後間もない時期に4・5層埋土と同時期に廃棄されたのであろう。遺物は、土師器(1～11・13・14・16～22・28～39・45・47～51)、砥石(46)、台石(52～56)、敲石(57・58)がある。弥生土器は混入。1～11・13・14は土師器坏で、半球状で口縁部が内斜するもの(1・3・5・7～10)、半球状で口縁部が緩く外反する(2・11)・口縁部がやや内弯する(4・6)がある。8を除きいずれも器高が高い。13には焼成後の穿孔がみられる。16～21・22は土師器高坏で、坏部下端に明確な段がある16・22、坏部下端に稜がある17・19・20・21、坏部下端の稜があいまいなもの18がある。19・22の脚部はいずれも円錐形の長脚を持つ。22の坏部内面底部は、「十」字状にヘラミガキされる。胴部外面にヘラミガキされるもの(28・29・34・37・39・47・49)を壺、ヘラケズリされるもの(30・31・33・35・36・48・50・51)を甕としたが、明確な分類基準によるものではない。壺34は有段口縁で胴部中央より下部に最大径。他の壺も球胴である。28の底部外面には、敲打による凹みがある。甕は胴部中央付近に最大径がある球胴壺35・48、ラグビーボールに近い形態の36がある。小型甕は口径と器高が等しい33、口縁部肥厚し頸部から強く外反する51がみられる。32は底部付近がヘラケズリされる鉢。これらの土師器は、高坏が富沢古墳時代中期編年(富沢1999)の4～5段階、坏が4段階、壺は4段階、甕は3～4段階に併行しよう。住居址の北半部が調査区域外にあり、カマドの存否等不明であるがこれらの遺物と、出土状況から本址は5世紀後半の所産とみられる。

H22号住居址 Vい・う-6 Grにあり、F4・P84・P85に切られる。北壁3.8m・検出東壁3.2m・検出南壁1.0m、壁高20cmを測る。主軸方位はN-35°-Wを示す。中央の炉は4個の炉縁石を持つ地床炉である。長径46cm短径40cm深さ4cmの楕円形で、5cm焼け込んでいる。主柱穴P1～P3の柱痕は径20～24cm、深さはP1が34cm・P2が42cm・P3が42cmを測る。2層に炭化材・炭化粒を多く含む、堅く締まる床面に炭化材がみられた。遺物は、床面や2層内から出土した。壺(4・16)、甕(17・24・6)、高坏(27・28)、甕(29・30)、鉢(25・31～34)、磨製石斧(56)、打製石鏃(52)、凹石(59・65)、敲石(51・64)、磨石(58)、台石(57・60・61)、磨製石鏃の原材(53)、石鏃未製品(55)、二次加工ある剥片(54)、不明鉄製品が出土した。壺は、赤彩が8のみ。受け口状の口縁部が多い。文様は口唇部・口縁部と頸部に集中する。口唇部に縄文が、口縁部に縄文と1本か2本のヘラ描波状文が、頸部の文様は櫛描波状文のみ、多段の横櫛条線文のみ、ヘラ描波線と縄文・櫛描波状文・篋状文、縄文・ヘラの刺突列・ヘラ状工具の刺突列・円形の貼付文、ヘラ扁平行沈線間にヘラ描斜走文、ヘラ扁平行沈線間にヘラ描波状文がみられ、組み合わせが多様である。甕は、受け口状の口縁部と短く外反する口縁部がある。口唇部に縄文や押捺がみられる。受け口状の口縁部は、縄文後ヘラ描波状文が施される。外反する口縁部には、頸部に櫛描波状文が施される。大型の17は無紋である。体部には櫛描斜走文が格子目状や縦の羽状に施される。櫛描波状文は少数である。高坏は2点とも赤彩され、口縁部直線的に口径小さく開き坏身が浅い。甕はいずれも鉢形で単孔である。30の口唇部には縄文が施される。鉢は、31・32が口縁部受け口状で赤彩される。共に口縁部に突起が貼付され31の突起は穿孔され、32の頸部には一対の穿孔が見られる。33は粗いヘラミガキの片・付付、34はよくヘラミガキされ口縁部短く立ち上がる。25は内外面赤彩される。本址は弥生時代中期後半栗林期に位置づけられる。

H23号住居址 Vい-3・4 GrにありH25・II26・II27に切られる。残存西壁1.86m壁高は12cm主軸方位はN-25°-Wを示す。P1東の炉は壺底部・甕胴部片の土器敷き炉である。10cm掘り込み3cm焼土の堆積がある。主柱穴P1・P2はP1の柱痕径20cm、深さはP1が50cm・P2が78cmを測る。2個の柱穴と炉の位置から桁行きの柱穴は、北壁寄りにもう1個想定できる。床面堅く締まる。遺物は弥生土器・石器がある。1は内外面赤彩の鉢、2・3は壺底部、4・5は甕、5は口径に最大径、口縁部短く外反。口

唇部に縄文、頸部に櫛波状文、体部に縦の櫛波状文。杯体の12・13の裳は櫛格子状に斜線走文。7は輝石安山岩の台石。本址は僅かな遺物であるが弥生時代中期後半栗林期に位置づけられる。

H24号住居址 Vい・う・5 GrにありP52・P28に切られH25を切る。北壁3.9m・検出東壁3.64m・検出西壁2.8m、壁高は25cm。主軸方位はN-6°-Wを示す。カマドは北壁の中央に粘土と石により構築され、火床部に支脚石がある。床面は堅く締まり、床下掘方は浅い。遺物は、土師器甕(7・8)、須恵器杯(1~4)・甕6、台石(12)、凹石(13)がある。弥生土器は混入である。土師器甕は「コ」字気味の口縁部で、8は最大径が体部にある。7は口径と体部最大径が等しい。須恵器杯は3点とも底部回転糸切り離しである。これら遺物より本址は8世紀後半に位置づけられる。

H25号住居址 Vい・う・4・5 GrにありH24に切られH23・H26を切る。北壁5.5m・検出東壁3.46m・検出西壁1.8m壁高は43cm主軸方位はN-4°-Wを示す。カマドは北壁の中央に粘土と石により構築される。P1~P2は主柱穴で柱痕は径24cm、梁行き3.2mを測る。壁下には取溝が巡る。床は、堅く締まる。遺物は、土師器杯(1~3・5~7)・鉢(8)・高杯(4)・甕(11~14・17・18)、須恵器蓋(15)・杯(19)・杯蓋(16)、磨石(32・34)、砥石(33)がある。31の磨製石礫原材の31と弥生土器は混入。土師器杯は、ヘラケズリの底部からやや内湾気味に立ち上がる1・5、半球状の2・3・7がある。1・3・5・7は黒色処理。土師器甕9は口縁部に最大径を有し、体部砲弾状で外面ヘラケズリされる。11は武蔵甕である。19の須恵器杯は底部ヘラケズリされる。内斜口縁の土師器杯、猿投編年Ⅱ期(東山44号窯)とみられる須恵器杯蓋16は混入品である。本址は8世紀前半に位置づけられる。

H26号住居址 Vい・う・3 GrにありH25・P54に切られ、H23を切っている。残存北壁4.14m・検出東壁1.96m壁高は22cm主軸方位はN-8°-Eを示す。カマドは北壁の中央に粘土と石により構築され、火床部に支脚石がある。P1~P2は主柱穴で、P1の柱痕は径16cm、梁行き2.4mを測る。床面は堅く締まる。人為的な堆積の焼土ブロック少量を含む覆土2層内に、5~60cmの大小角礫が多量にみられた。この礫の多くは床面を破壊するほどくい込む。遺物は、13・14が礫の下、11が礫上と掘方出土片が接合、12がカマド内と掘方出土片が接合、6・10が床下掘方、23~29はまとめて北壁下から出土した。遺物は、土師器杯(2・6・8・9・10)・鉢(1)・甕(3~5・7・11~13)・甕(14)、編み物石(23~29)が出土した。弥生土器は混入である。杯9・10は須恵器杯蓋模倣のもので、2は半球状を呈し内外面ヘラミガキされる。6は底部と口縁部境から口縁部が短く外反し、内面ヘラミガキ、外面ヘラケズリ後ヘラミガキされる。8は浅い半球状で口縁部短くやや内湾する。11・12は長胴甕で体部に最大径があり外面ヘラケズリされる。内面11はヘラナデ12はハケメ調整される。14は内面よくヘラミガキされ甕とみられる。25は磨石としての使用痕も窺える。本址は7世紀代に位置づけられる。

H27号住居址 Vい・2・3 GrにありP44・P54・P60に切られ、H23・M6を切っている。検出東壁2.1m・南壁4.8m・検出西壁1.84m、壁高は45cm。主柱穴P1の柱痕径12cm深さ82cm・P2の柱痕径20cm深さ66cm、梁行き2.7mを測る。P1とP2から南壁に向けた間仕切り溝と直角的な位置にも溝がある。壁下に壁溝が巡る。床は堅く締まる。西側の床面から垂木材と見られる炭化材が出土し、3層は、炭化材・焼土ブロックを含む。遺物は、土師器杯(2・3・7)・甕(5)、須恵器杯(1)、敲石(14・15)、台石(22)、刀子(16)がある。弥生土器、剥片、磨製石礫(19)、磨製石礫木製品(20)、打製石礫未製品(21)は混入である。2・3・7は、須恵器杯蓋模倣の杯で、3は内面黒色処理される。1はTK10型式に該当しよう。遺物は少ないが、本址は6世紀前半に位置づけられる。

H28号住居址 IVう・9・10GrにありH30・H31を切る。北壁5.4m・検出東壁2.88m・検出西壁0.8m、壁高は46cm、主軸方位はN-12°-Wを示す。カマドは北壁中央に粘土と石で構築されている。東壁に旧カマドがあった。ピットは10基で、P3・P9・P10が床下から検出された。主柱穴の掘方は大きく、P1は柱痕径24cm深さ64cm、P2は柱痕径32cm深さ60cm、P2の上端に上面平らな礫があった。壁柱穴P4~P8は、遺構上端からの深さ80~91cmを測る。覆土1・2層は、人為的堆積とみられる。床面は全体に堅く締まる。遺物は土師器杯(19・20)・甕(17・21・22・25・32・33)、須恵器杯(4~15・23)・高台杯(16・18・24)・蓋(29・30)・甕(26・27)、紡錘車の軸(42)、刀子(43)、磨・砥石(41)、石製円盤(37)、石製模造品円玉(38)がある。弥生土器・黒曜石の剥片・2の土師器内斜口縁杯・3

の内外面ヘラミガキされた土師器鉢は、混入である。土師器杯は底部ヘラ調整、外面ヘラケズリ内面放射状にヘラミガキされる。須恵器杯底部は、4・6・7・10～15・23がヘラケズリ・ヘラナデ、5が回転糸切り後外周ヘラケズリ、8が回転糸切りで、ヘラ調整が主体である。須恵器高台杯底部は、18・24が回転ヘラケズリ、16がヘラケズリ後高台を付ける。土師器甕は、武蔵甕(17・25)、ロクロ甕(21・22)がある。本址は、8世紀代(第3四半期)に位置づけられる。

H29号住居址 IVい-10GrにありH30・H31を切る。検出東壁1.64m・南壁2.76m、検出西壁1.48m 壁高は40cm。ピットは2個検出できたが支柱穴は特定できない。床は平坦で、やや軟弱。遺物は、土師器杯(1)・甕(6)・鉢(7)、須恵器杯(2～5)、石製品。須恵器杯身模倣の土師器杯は、混入である。1は内面黒色処理される。須恵器杯は、4点とも底部に回転糸切り痕が認められる。6は土師器甕で頸部が「く」の字に屈曲する「武蔵甕」である。本址は、8世紀後半に位置づけられる。

H30号住居址(H31号住居址) IVい・う-8～10Grにあり確認時2軒としたが、上層断面や床面・柱穴の位置から単独住居とした。H28・H29・H34・D5・D7に切られる。残存南壁9.0m・検出西壁4.7m壁高は50cmを測る。ピットは8個、支柱穴P1・P2は柱穴底面径はP1が20cm・P2が25cm。P6は短辺が極短い長方形の掘方で、板状のものが差し込まれていたか?深さ38cmを測る。P2から西壁に間仕切り溝がある。遺物は、土師器杯(1～5・17・18)・高杯(8・10～13・15・22)・甕(14)・鉢(21)、須恵器杯蓋(9)・杯(有蓋高杯?7)、鉄器(33)、磨石(23)、敲石(24～27)、滑石製模造品(28～31)がある。弥生土器・弥生土器加工の円盤・黒曜石の刺片・須恵器(6・19)は混入。1～5・17・18の杯は、半球状で口縁端部が内斜し深い。いわゆる屈折脚高杯10・13の脚は、短脚化し脚中央部の膨れが顕著。これらは、古墳時代中期編年(富沢1999)の4～5段階に併行する。7の須恵器杯は、断面三角形のごく短い受部から直線的に立ち上がる。口縁端部は平面を呈す。有蓋高杯か。9の須恵器杯蓋は、わずかな後をみせ口縁部端部に内傾する狭小な凹面がある。いづれも猿投編年I期第5小期(東山11号窯)に比定されるように思われる。28・29は剣形模造品で、両面とも薄く板状で二孔を有すが、28は一孔が柄部から離れて穿たれている。30・31の勾玉模造品は、30は丸みを持ち形も整っている。31は扁平板状で擦痕が残る。一方穿孔である。本址は5世紀後半に位置づけられる。

H32号住居址 Iこ-4・5Grにあり、P192に切られ南側は攪乱等で壊されていた。北壁3.2m・検出東壁1.5m・検出西壁3.1m、壁高は10cm。主軸方位はN-10°-Wを示す。カマドは北壁中央に粘土と石で構築されている。ピットは支柱穴2基検出され、深さP1が24cm・P2が22cm、梁行き2.4mを測る。床面は全体に堅く締まる。出土遺物は、土師器・須恵器・石器がある。弥生土器は混入である。1は土師器甕で「武蔵甕」、2は須恵器杯、3・12 須恵器甕である。11は敲石または自然の形態を利用した打製石斧であろうか。10は器種不明鉄器。本址は不確実であるが、8世紀後半であろうか。

H33号住居址 Iけ・こ-5・6、IIあ-5・6GrにありH32・Ta8・P138・P192に切られている。検出北壁1.3m・検出東壁3.7m・検出南壁1.2m北壁～南壁長は8.8m、壁高は16cm。主軸方位はN-15°-W。4個の炉緑石の地床炉が中央北寄りにある。南北径60cm東西径60cm深さ4cmの楕円形で、5cm焼け込む。ピットは9個検出され、支柱穴P1～P4が桁行きに3本配置され、柱間2.6mと2.8m。深さはP1が48cm、P2が68cm、P3が62cm、P4が80cm。南壁中央下、出入口施設P5・P6が、南壁下に洞溝がある。P1内の大小礫下から1の甕(台付甕か)が出土した。床面は攪乱部分を除去、全体に堅く締まる。遺物は、壺(5・8・14・19・20)、甕(1～3・15～18)、高杯(4・6)、鉢(7)が出土した。1は台付甕か、受け口状の口縁部に、縄文後ヘラ描山形文・5個の円形貼付文が付される。体部に5単位のヘラ描連続「コ」字文が外側から施文され、各単位境に5個の円形貼付文がある。最終の「コ」字内はヘラ描山形文を充たす。2は底径が大きく鉢ともいえる。口唇部に縄文が施文され、口縁部短く外反する。頸部に5本の櫛描簾状文後体部に櫛描斜走文が縦羽状に施される。3は口唇部に縄文口縁部短く外反する。頸部に4本の櫛描簾状文施文後体部に外側から施文のヘラ描連続「コ」字文後櫛描波状文、最終の「コ」字内は直線文を充たす。高杯は2点とも赤彩され、4は口縁部直線的に大きく開く。6は口縁部に突起が付く。本址は弥生時代中期後半粟林期に位置づけられる。

H34号住居址 IVい・う-7・8GrにありD7に切られ、H30・H36・D40を切っている。検出北壁0.9m

・検出東壁1.4m・南壁4.8m・西壁4.0m、壁高は26cm。ピット7個検出、主柱穴P1～P2は梁行き3mを測る。南壁中央下のP3は、出入口施設であろうか。床はほぼ平坦で堅く締まる。遺物は、土師器甕(4)、須恵器坏(1・2)・高台坏(3)・蓋(7・10)・壺(5)・甕(14)、鉄器(22～25)、蔽石(26～28)、台石(29)がある。坏部下端に稜がある6・脚部がラッパ状に開く8～12の土師器高坏、9の土師器甕、13の弥生台付甕等は混入。4は外面ヘラケズリの小型の甕。1と3の底部はヘラケズリ、2は回転系切りである。16の器種不明確な土師器片外面から割れ口にかけて、文字の部が墨書される。22・23は刀子、24は鎌であろう。25は3点の鉄器に見えるが、幅広と狭いもの2点である。棟と刃部が確認でき刀子であろう。本址は、8世紀後半に位置づけられる。

H35号住居址 Vあ・いー5Grにあり、Ta2・D6・D18に切られる。検出南壁1m・検出東壁1.3m・検出西壁4.9m、壁高は44cm。「山がり屋」の平面形態か？ピットは15個、主柱穴はP1～P3で、深さはP1が74cm、P2が92cm、P3が73cm。P4～P6・P13が中央に東西直線的に配される。壁下に壁溝が巡る。床は堅く締まる。床に接して10～50cmの礫50個以上がみられ、覆土は人為的堆積である。遺物は土師器坏(7)・甕(8)・甗(11)、須恵器坏(10)・高坏(9)、蔽石(13)、刀子(14)がある。本址は、8世紀後半に位置づけられよう。

H36号住居址 IVうー6・7Grにあり、Ta1・D7・D22・P211～P214に切られる。規模は残存南北長3.5m・残存東西長4.1m、壁高は6cmを測る。主軸方位はN-13°-Wを示す。主柱穴のP1は径24cm深さ54cm、P2は径40cm深さ56cmを測る。床はほぼ平坦で薄く堅い。3個の礫を配した地床炉の炉底には、焼け込みが見られる。遺物は、壺(1・3)・甕(2・4～6)、蔽石(8)がある。石臼(下白)は混入である。本址は、弥生時代中期後半栗林期にとらえられよう。

H37号住居址 IVうー4Grにあり、Ta1・D13・D14に切られ、H40を切る。南壁付近一部の検出で、検出南壁3.9m、壁高は13cmを測る。床は平坦で軟弱である。カマド等付属施設は不明である。遺物は、土師器坏(1・2)・手捏土器、弥生土器鉢・石器がある。本址は、古墳時代後期であろう。

H38号住居址 IIIう・えー8・9Grにあり、H43・D8・D10・M8・P89・P90～P93に切られる。規模は検出東壁3.2m東西残存長4.6m、壁高は10cmを測る。主軸方位はN-13°-Eを示す。2個の礫を配した地床炉の炉底には、焼け込みが見られ、住居址中央にある。ピットは主柱穴3個が検出された。深さはP1が47cmP2が40cmP3が18cm。床はほぼ平坦で薄く堅い。遺物は磨石(6)・凹石(7)、5の無彩壺と拓本で示した甕・甗の弥生土器がある。本址は弥生時代中期後半栗林期に位置づけられる。

H39号住居址 IIIう・えー7・8Grで検出されH41を切る。規模は検出東壁0.72m・南壁4.8m・検出西壁1.4m、壁高は37cmを測る。ピットは3基が床下から検出され床はほぼ平坦で薄く軟弱。出土遺物は2・5・6の土師器厚手甕・1の内面黒色処理された鉢、4の須恵器底部回転ヘラケズリの高台坏、13の磨・蔽石がある。11は刀子、12は不明鉄器。これら遺物より本址は8世紀代に位置づけられる。

H40号住居址 IVう・えー4Grで検出された。H32・H37・D13・D14・P232に切られる。規模は残存北壁3.3m・検出東壁2.4m、壁高は19cmを測り。主軸方位はN-40°-Eを示す。6個の礫を配したとみられる地床炉の炉底には、焼け込みが見られる。ピット7個検出され、主柱穴P1・P3の深さは、P1が42cm、P3が28cm。床は堅い。遺物は、壺(1・4・5・7・10・11・12)・甕(2・6・9・11)・鉢(3)・甗(8)、滑石の紡錘車(30)、二次加工痕ある黒曜石剥片(29)・硬質砂岩の剥片(25～28)がある。本址は、弥生時代中期後半栗林期に位置づけられる。

H41号住居址 IIIう・えー6・7・8Grで検出された。H39・Ta13・D42に切られ、H42・M8を切る。規模は北壁5.16m・検出東壁4.76m、検出西壁2.64m、壁高は55cmを測る。大小角礫を多量に含む覆土2層は、人為的堆積。主軸方位はN-13°-Wを示す。カマドは北壁中央に袖部地山を掘り残して粘土と石により構築される。ピットは主柱穴3個検出され、16cm掘りくぼめたP3には、40cmほどの平らな礎石が見られた。P1は深さ59cm、P2は深さ56cm。床は堅く平坦であるが、M8との重複部分はやや低い。遺物は、土師器坏(3)・甕(6～8)・壺(1・2・5)・甗(10・17)・鉢(4・9・11)、不明鉄器(39)、磨石(32・33)、蔽石(31・36)、碧玉の管玉(37)・滑石の石製模造品白玉(38)がある。34は千枚岩の木製品の石製模造品であろうか。弥生土器・黒曜石の剥片は混入である。10は多孔、17

は1孔、3・11は内面黒色処理される。これらの遺物より本址は7世紀代に位置づけられる。

H42号住居址 Ⅲえ・え・5・6Grで検出された。I141・M8・P228に切られる。掘り込みが浅く明確な壁は、確認できなかった。推定東西長約5m。主軸方位はN-6°-Eを示す。2個の礫を配した地床炉の炉底には、焼け込みが見られ、住居址中央にある。3個検出されたピットは、P1・P2が主柱穴で、P1の深さ56cm、P2の深さ38cm。深さ69cmのP3は本址に伴うか不明である。炉址からP1・P2にかけて薄く硬く締まった床面が確認できた。出土遺物は、弥生土器・石器がある。1は内外面赤彩され口縁部に一對の穿孔ある鉢、2・4は甕である。5・6は硬質砂岩の剥片で5は削器であろうか。本址は、僅かな遺物であるが弥生時代中期後半栗林期に位置づけられる。

H43号住居址 Ⅲえ・9・10GrにありD10・P92・P89・P237に切られH38を切る。規模は北壁5.8m・検出東壁1.08m・検出西壁1.74m壁高60cmを測る。カマドは検出範囲にはない。柱痕径26cmのピットが1個検出された。覆土1~4層は、人為的な堆積。遺物は、土師器杯(1・2・4)、混入の須恵器杯(3)がある。2は内面黒色処理、4の底部はヘラケズリされる。本址は、8世紀代であろうか。

H44号住居址 Ⅲえ・4・5Grで検出された。M8を切る。東側はグランド排水溝に破壊されていた。規模は検出北壁1.0m・残存南壁1.5m、西壁2.4m、壁高27cmを測る。カマド・ピット等検出範囲にはない。覆土は砂のブロックを多量に含む人為的な堆積であった。全体に薄く軟弱な床で、南壁寄りがやや低い。出土遺物は、土師器・須恵器・石器がある。弥生土器は混入である。1の須恵器杯は口径12cmでやや内傾気味に立ち上がり、端部は丸く内面口唇部に沈線状の凹線が巡る。底部1/3に回転ヘラケズリ調整がみえる。TK43型式に該当しよう。土師器杯は、2の須恵器模倣杯、半球状で口縁端部が内斜する3、半球状の5がある。4は鉢、7・9・10は甕、6は甕、8の多孔頸頭部の穿孔は焼成後、14は両端・裏面に使用痕ある敲石、16は砂岩の砥石である。本址は、6世紀後半に位置づけられる。

H45号住居址 Ⅱえ・お・8・9Grで検出され、H48・H51・Ta4・P106・107・109・110・114~116・119・149・150・196・201・206にきられる。規模は検出東壁4.2m壁高は7cmを測る。カマドは検出範囲にはない。ピットは7個深さは13cm~77cmを測る。東壁から1m内外に深さ5cm前後の溝が、P1から南壁にかけてみられる。遺物は、1・2の土師器甕、4の鉢、3の高杯がある。3の脚部外面はヘラミガキ、杯部内面黒色処理される。脚部端部は面取りされ端部中央に浅い凹線が巡る。6世紀代であろう。

H46号住居址 Iく・け・4・5Grで検出された。規模は検出北壁2.6m・検出西壁2.8m、壁高は9cmを測る。カマド等付属施設は検出範囲にはない。床は軟弱で平坦であった。出土遺物は拓影図1・2の弥生土器と弥生土器小片2点のみである。1の口唇部・口縁部に縄文が施文される。幅属時期不明。

H47号住居址 Ⅲえ・お・1~3Grで検出され、H50・Ta14・D21・D22・D24・D25・D26・D37・D38・P152・P153・P155・P157~P159・P161・P164・P166・P169・P180に切られる。規模は北壁6.8m・検出東壁3.4m残存西壁1.96m壁高は37cmを測る。主軸方位はN-6°-Wを示す。カマドは北壁の中央に粘土と石により構築され、多くをD22に破壊されていた。ピットは13個P1・P2は主柱穴でP1の柱痕は径30cm、P2覆土上部には4個の礫がみられた。方形に配されるP8~P11の内側には、40cm前後の礫が床に接して置かれていた。P2から西壁に間仕切り溝がある。西壁と北壁に壁溝が確認された。床は平坦で堅い。遺物は、土師器杯(1~15)・鉢(19・21・22)・高杯(16~18)・甕(23~27)、須恵器蓋20、鎌52、縄み物石44・45、敲石46・47・49、台石48、滑石の石製模造品白玉50が出土した。弥生土器は混入である。杯は須恵器杯蓋模倣の2・5・8・11・12・14、須恵器杯身模倣の7、丸底から長い口縁部が内湾気味に外傾し内面底部と口縁部境に凹線を有す15、平底で口縁端部が短く内傾する13、平底と外傾する口縁部の境に段を有し内面底部と口縁部境に凹線を有す10、浅い半球状の底部で口縁部が短く内湾し端部が直立気味の1・3、浅い半球状の底部で口縁部が短く内傾する3・4・9がある。1・2・4・7・8~15は内面黒色処理される。高杯は杯部外面に稜がある16、半球状の杯部内面に凹線がある17、半球状の杯部で口縁部が短く内傾する18がある。いずれも内面黒色処理され、杯部内外面・脚部外面がヘラミガキ。20の天井部は回転ヘラケズリ。遺物より本址は7世紀代に位置づけられる。

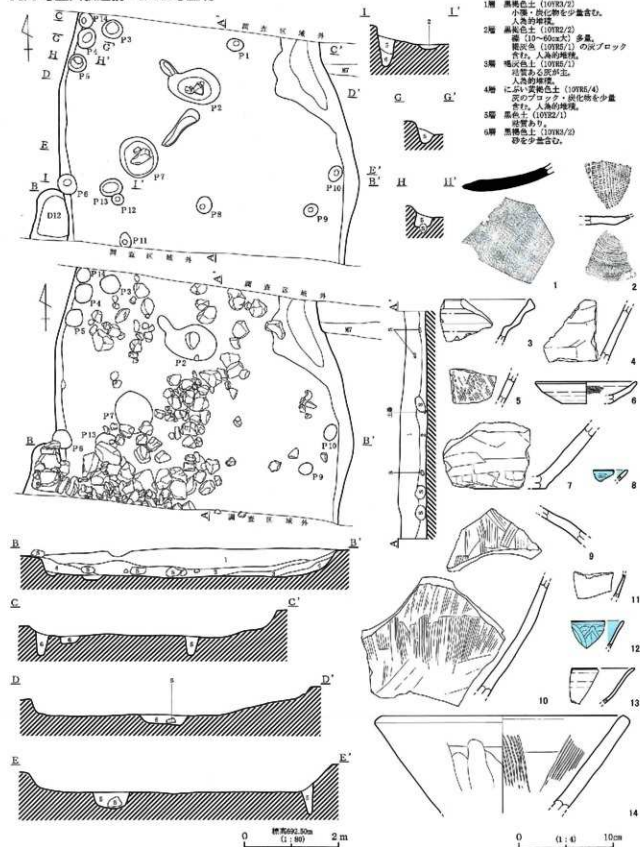
H48号住居址 Ⅱえ・8・9Grで検出されH45を切りTa4・P111・P120・P193・P194・P200・P207に切られる。H51との重複関係は判然としなない。規模は残存南壁4.8m・検出西壁2.1m、壁高は22cm

第2表 竪穴住居址 一覧表 (2)

(残存長) (検出長) (cm)

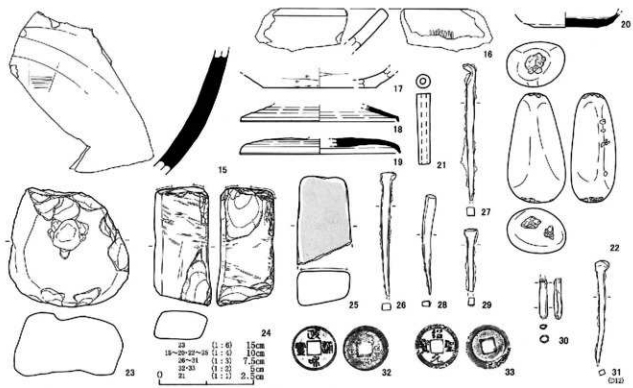
遺構名	検出位置	北壁長	南壁長	東壁長	西壁長	面積	主柱位置 東壁長	穴下 深	経路 番号	備考
H41	Ⅱ-1-1 7	516	--	(476)	(264)	25	N13° W	1.5	P1 6x30x29 P2 70x34x56 P3 50x16x16	遺構不明 遺物・陶器類 H43-308 金銅貨 7枚 H41-137 平石 1枚 弥生時代中期後半 磨石1個 D10-P2c-289-P237に附する P28 磁石、磁片 S3 骨製土、磁片 H48-131-Ty4-P57-07-105 110-114-P310-P311-130-131- 136-201-206 土製瓦片等、土 師製土器
H42	Ⅱ-1-1 6	580	--	(178)	(178)	20	N47° E	1.5	P1 30x49x56 P2 56x44x38 P3 40x60x60	
H43	Ⅱ-1-10	580	--	(178)	(178)	20				
H44	Ⅱ-1-6	100	150	--	240	27			P1 40x36x77 P2 30x24x34 P3 34x36x29 P4 62x40x15 P5 40x32x15 P6 30x28x49 P7 36x30x3	
H45	Ⅱ-1-10	420	--	420	--	70				
H46	Ⅱ-1-1 4	260	(292)	--	580	9			P1 40x40x66 P2 75x61x66 P3 36x135 P4 38x135 P5 45x135 P6 32x24x32 P7 140x66x78 P8 42x10x21 P9 40x17 P10 20x20 P11 40x30x33 P12 20x10x10 P13 32x20x22	H50-Ty4-P11-25 H45-D35-D36-D38-D39- D39-P32-P33-P35-P37- P39-P43- P44-P46-P49-P50-505 P51-516 骨製土、陶器類 P52-P53-P54-P55-P56- P57-P58-P59-P60-P61- P62-P63-P64-P65-P66- P67-P68-P69-P70-P71- P72-P73-P74-P75-P76- P77-P78-P79-P80-P81- P82-P83-P84-P85-P86- P87-P88-P89-P90-P91- P92-P93-P94-P95-P96- P97-P98-P99-P100-P101- P102-P103-P104-P105- P106-P107-P108-P109- P110-P111-P112-P113- P114-P115-P116-P117- P118-P119-P120-P121- P122-P123-P124-P125- P126-P127-P128-P129- P130-P131-P132-P133- P134-P135-P136-P137- P138-P139-P140-P141- P142-P143-P144-P145- P146-P147-P148-P149- P150-P151-P152-P153- P154-P155-P156-P157- P158-P159-P160-P161- P162-P163-P164-P165- P166-P167-P168-P169- P170-P171-P172-P173- P174-P175-P176-P177- P178-P179-P180-P181- P182-P183-P184-P185- P186-P187-P188-P189- P190-P191-P192-P193- P194-P195-P196-P197- P198-P199-P200-P201- P202-P203-P204-P205- P206-P207-P208-P209- P210-P211-P212-P213- P214-P215-P216-P217- P218-P219-P220-P221- P222-P223-P224-P225- P226-P227-P228-P229- P230-P231-P232-P233- P234-P235-P236-P237- P238-P239-P240-P241- P242-P243-P244-P245- P246-P247-P248-P249- P250-P251-P252-P253- P254-P255-P256-P257- P258-P259-P260-P261- P262-P263-P264-P265- P266-P267-P268-P269- P270-P271-P272-P273- P274-P275-P276-P277- P278-P279-P280-P281- P282-P283-P284-P285- P286-P287-P288-P289- P290-P291-P292-P293- P294-P295-P296-P297- P298-P299-P300-P301- P302-P303-P304-P305- P306-P307-P308-P309- P310-P311-P312-P313- P314-P315-P316-P317- P318-P319-P320-P321- P322-P323-P324-P325- P326-P327-P328-P329- P330-P331-P332-P333- P334-P335-P336-P337- P338-P339-P340-P341- P342-P343-P344-P345- P346-P347-P348-P349- P350-P351-P352-P353- P354-P355-P356-P357- P358-P359-P360-P361- P362-P363-P364-P365- P366-P367-P368-P369- P370-P371-P372-P373- P374-P375-P376-P377- P378-P379-P380-P381- P382-P383-P384-P385- P386-P387-P388-P389- P390-P391-P392-P393- P394-P395-P396-P397- P398-P399-P400-P401- P402-P403-P404-P405- P406-P407-P408-P409- P410-P411-P412-P413- P414-P415-P416-P417- P418-P419-P420-P421- P422-P423-P424-P425- P426-P427-P428-P429- P430-P431-P432-P433- P434-P435-P436-P437- P438-P439-P440-P441- P442-P443-P444-P445- P446-P447-P448-P449- P450-P451-P452-P453- P454-P455-P456-P457- P458-P459-P460-P461- P462-P463-P464-P465- P466-P467-P468-P469- P470-P471-P472-P473- P474-P475-P476-P477- P478-P479-P480-P481- P482-P483-P484-P485- P486-P487-P488-P489- P490-P491-P492-P493- P494-P495-P496-P497- P498-P499-P500-P501- P502-P503-P504-P505- P506-P507-P508-P509- P510-P511-P512-P513- P514-P515-P516-P517- P518-P519-P520-P521- P522-P523-P524-P525- P526-P527-P528-P529- P530-P531-P532-P533- P534-P535-P536-P537- P538-P539-P540-P541- P542-P543-P544-P545- P546-P547-P548-P549- P550-P551-P552-P553- P554-P555-P556-P557- P558-P559-P560-P561- P562-P563-P564-P565- P566-P567-P568-P569- P570-P571-P572-P573- P574-P575-P576-P577- P578-P579-P580-P581- P582-P583-P584-P585- P586-P587-P588-P589- P590-P591-P592-P593- P594-P595-P596-P597- P598-P599-P600-P601- P602-P603-P604-P605- P606-P607-P608-P609- P610-P611-P612-P613- P614-P615-P616-P617- P618-P619-P620-P621- P622-P623-P624-P625- P626-P627-P628-P629- P630-P631-P632-P633- P634-P635-P636-P637- P638-P639-P640-P641- P642-P643-P644-P645- P646-P647-P648-P649- P650-P651-P652-P653- P654-P655-P656-P657- P658-P659-P660-P661- P662-P663-P664-P665- P666-P667-P668-P669- P670-P671-P672-P673- P674-P675-P676-P677- P678-P679-P680-P681- P682-P683-P684-P685- P686-P687-P688-P689- P690-P691-P692-P693- P694-P695-P696-P697- P698-P699-P700-P701- P702-P703-P704-P705- P706-P707-P708-P709- P710-P711-P712-P713- P714-P715-P716-P717- P718-P719-P720-P721- P722-P723-P724-P725- P726-P727-P728-P729- P730-P731-P732-P733- P734-P735-P736-P737- P738-P739-P740-P741- P742-P743-P744-P745- P746-P747-P748-P749- P750-P751-P752-P753- P754-P755-P756-P757- P758-P759-P760-P761- P762-P763-P764-P765- P766-P767-P768-P769- P770-P771-P772-P773- P774-P775-P776-P777- P778-P779-P780-P781- P782-P783-P784-P785- P786-P787-P788-P789- P790-P791-P792-P793- P794-P795-P796-P797- P798-P799-P800-P801- P802-P803-P804-P805- P806-P807-P808-P809- P810-P811-P812-P813- P814-P815-P816-P817- P818-P819-P820-P821- P822-P823-P824-P825- P826-P827-P828-P829- P830-P831-P832-P833- P834-P835-P836-P837- P838-P839-P840-P841- P842-P843-P844-P845- P846-P847-P848-P849- P850-P851-P852-P853- P854-P855-P856-P857- P858-P859-P860-P861- P862-P863-P864-P865- P866-P867-P868-P869- P870-P871-P872-P873- P874-P875-P876-P877- P878-P879-P880-P881- P882-P883-P884-P885- P886-P887-P888-P889- P890-P891-P892-P893- P894-P895-P896-P897- P898-P899-P900-P901- P902-P903-P904-P905- P906-P907-P908-P909- P910-P911-P912-P913- P914-P915-P916-P917- P918-P919-P920-P921- P922-P923-P924-P925- P926-P927-P928-P929- P930-P931-P932-P933- P934-P935-P936-P937- P938-P939-P940-P941- P942-P943-P944-P945- P946-P947-P948-P949- P950-P951-P952-P953- P954-P955-P956-P957- P958-P959-P960-P961- P962-P963-P964-P965- P966-P967-P968-P969- P970-P971-P972-P973- P974-P975-P976-P977- P978-P979-P980-P981- P982-P983-P984-P985- P986-P987-P988-P989- P990-P991-P992-P993- P994-P995-P996-P997- P998-P999-P1000-P1001- P1002-P1003-P1004-P1005- P1006-P1007-P1008-P1009- P1010-P1011-P1012-P1013- P1014-P1015-P1016-P1017- P1018-P1019-P1020-P1021- P1022-P1023-P1024-P1025- P1026-P1027-P1028-P1029- P1030-P1031-P1032-P1033- P1034-P1035-P1036-P1037- P1038-P1039-P1040-P1041- P1042-P1043-P1044-P1045- P1046-P1047-P1048-P1049- P1050-P1051-P1052-P1053- P1054-P1055-P1056-P1057- P1058-P1059-P1060-P1061- P1062-P1063-P1064-P1065- P1066-P1067-P1068-P1069- P1070-P1071-P1072-P1073- P1074-P1075-P1076-P1077- P1078-P1079-P1080-P1081- P1082-P1083-P1084-P1085- P1086-P1087-P1088-P1089- P1090-P1091-P1092-P1093- P1094-P1095-P1096-P1097- P1098-P1099-P1100-P1101- P1102-P1103-P1104-P1105- P1106-P1107-P1108-P1109- P1110-P1111-P1112-P1113- P1114-P1115-P1116-P1117- P1118-P1119-P1120-P1121- P1122-P1123-P1124-P1125- P1126-P1127-P1128-P1129- P1130-P1131-P1132-P1133- P1134-P1135-P1136-P1137- P1138-P1139-P1140-P1141- P1142-P1143-P1144-P1145- P1146-P1147-P1148-P1149- P1150-P1151-P1152-P1153- P1154-P1155-P1156-P1157- P1158-P1159-P1160-P1161- P1162-P1163-P1164-P1165- P1166-P1167-P1168-P1169- P1170-P1171-P1172-P1173- P1174-P1175-P1176-P1177- P1178-P1179-P1180-P1181- P1182-P1183-P1184-P1185- P1186-P1187-P1188-P1189- P1190-P1191-P1192-P1193- P1194-P1195-P1196-P1197- P1198-P1199-P1200-P1201- P1202-P1203-P1204-P1205- P1206-P1207-P1208-P1209- P1210-P1211-P1212-P1213- P1214-P1215-P1216-P1217- P1218-P1219-P1220-P1221- P1222-P1223-P1224-P1225- P1226-P1227-P1228-P1229- P1230-P1231-P1232-P1233- P1234-P1235-P1236-P1237- P1238-P1239-P1240-P1241- P1242-P1243-P1244-P1245- P1246-P1247-P1248-P1249- P1250-P1251-P1252-P1253- P1254-P1255-P1256-P1257- P1258-P1259-P1260-P1261- P1262-P1263-P1264-P1265- P1266-P1267-P1268-P1269- P1270-P1271-P1272-P1273- P1274-P1275-P1276-P1277- P1278-P1279-P1280-P1281- P1282-P1283-P1284-P1285- P1286-P1287-P1288-P1289- P1290-P1291-P1292-P1293- P1294-P1295-P1296-P1297- P1298-P1299-P1300-P1301- P1302-P1303-P1304-P1305- P1306-P1307-P1308-P1309- P1310-P1311-P1312-P1313- P1314-P1315-P1316-P1317- P1318-P1319-P1320-P1321- P1322-P1323-P1324-P1325- P1326-P1327-P1328-P1329- P1330-P1331-P1332-P1333- P1334-P1335-P1336-P1337- P1338-P1339-P1340-P1341- P1342-P1343-P1344-P1345- P1346-P1347-P1348-P1349- P1350-P1351-P1352-P1353- P1354-P1355-P1356-P1357- P1358-P1359-P1360-P1361- P1362-P1363-P1364-P1365- P1366-P1367-P1368-P1369- P1370-P1371-P1372-P1373- P1374-P1375-P1376-P1377- P1378-P1379-P1380-P1381- P1382-P1383-P1384-P1385- P1386-P1387-P1388-P1389- P1390-P1391-P1392-P1393- P1394-P1395-P1396-P1397- P1398-P1399-P1400-P1401- P1402-P1403-P1404-P1405- P1406-P1407-P1408-P1409- P1410-P1411-P1412-P1413- P1414-P1415-P1416-P1417- P1418-P1419-P1420-P1421- P1422-P1423-P1424-P1425- P1426-P1427-P1428-P1429- P1430-P1431-P1432-P1433- P1434-P1435-P1436-P1437- P1438-P1439-P1440-P1441- P1442-P1443-P1444-P1445- P1446-P1447-P1448-P1449- P1450-P1451-P1452-P1453- P1454-P1455-P1456-P1457- P1458-P1459-P1460-P1461- P1462-P1463-P1464-P1465- P1466-P1467-P1468-P1469- P1470-P1471-P1472-P1473- P1474-P1475-P1476-P1477- P1478-P1479-P1480-P1481- P1482-P1483-P1484-P1485- P1486-P1487-P1488-P1489- P1490-P1491-P1492-P1493- P1494-P1495-P1496-P1497- P1498-P1499-P1500-P1501- P1502-P1503-P1504-P1505- P1506-P1507-P1508-P1509- P1510-P1511-P1512-P1513- P1514-P1515-P1516-P1517- P1518-P1519-P1520-P1521- P1522-P1523-P1524-P1525- P1526-P1527-P1528-P1529- P1530-P1531-P1532-P1533- P1534-P1535-P1536-P1537- P1538-P1539-P1540-P1541- P1542-P1543-P1544-P1545- P1546-P1547-P1548-P1549- P1550-P1551-P1552-P1553- P1554-P1555-P1556-P1557- P1558-P1559-P1560-P1561- P1562-P1563-P1564-P1565- P1566-P1567-P1568-P1569- P1570-P1571-P1572-P1573- P1574-P1575-P1576-P1577- P1578-P1579-P1580-P1581- P1582-P1583-P1584-P1585- P1586-P1587-P1588-P1589- P1590-P1591-P1592-P1593- P1594-P1595-P1596-P1597- P1598-P1599-P1600-P1601- P1602-P1603-P1604-P1605- P1606-P1607-P1608-P1609- P1610-P1611-P1612-P1613- P1614-P1615-P1616-P1617- P1618-P1619-P1620-P1621- P1622-P1623-P1624-P1625- P1626-P1627-P1628-P1629- P1630-P1631-P1632-P1633- P1634-P1635-P1636-P1637- P1638-P1639-P1640-P1641- P1642-P1643-P1644-P1645- P1646-P1647-P1648-P1649- P1650-P1651-P1652-P1653- P1654-P1655-P1656-P1657- P1658-P1659-P1660-P1661- P1662-P1663-P1664-P1665- P1666-P1667-P1668-P1669- P1670-P1671-P1672-P1673- P1674-P1675-P1676-P1677- P1678-P1679-P1680-P1681- P1682-P1683-P1684-P1685- P1686-P1687-P1688-P1689- P1690-P1691-P1692-P1693- P1694-P1695-P1696-P1697- P1698-P1699-P1700-P1701- P1702-P1703-P1704-P1705- P1706-P1707-P1708-P1709- P1710-P1711-P1712-P1713- P1714-P1715-P1716-P1717- P1718-P1719-P1720-P1721- P1722-P1723-P1724-P1725- P1726-P1727-P1728-P1729- P1730-P1731-P1732-P1733- P1734-P1735-P1736-P1737- P1738-P1739-P1740-P1741- P1742-P1743-P1744-P1745- P1746-P1747-P1748-P1749- P1750-P1751-P1752-P1753- P1754-P1755-P1756-P1757- P1758-P1759-P1760-P1761- P1762-P1763-P1764-P1765- P1766-P1767-P1768-P1769- P1770-P1771-P1772-P1773- P1774-P1775-P1776-P1777- P1778-P1779-P1780-P1781- P1782-P1783-P1784-P1785- P1786-P1787-P1788-P1789- P1790-P1791-P1792-P1793- P1794-P1795-P1796-P1797- P1798-P1799-P1800-P1801- P1802-P1803-P1804-P1805- P1806-P1807-P1808-P1809- P1810-P1811-P1812-P1813- P1814-P1815-P1816-P1817- P1818-P1819-P1820-P1821- P1822-P1823-P1824-P1825- P1826-P1827-P1828-P1829- P1830-P1831-P1832-P1833- P1834-P1835-P1836-P1837- P1838-P1839-P1840-P1841- P1842-P1843-P1844-P1845- P1846-P1847-P1848-P1849- P1850-P1851-P1852-P1853- P1854-P1855-P1856-P1857- P1858-P1859-P1860-P1861- P1862-P1863-P1864-P1865- P1866-P1867-P1868-P1869- P1870-P1871-P1872-P1873- P1874-P1875-P1876-P1877- P1878-P1879-P1880-P1881- P1882-P1883-P1884-P1885- P1886-P1887-P1888-P1889- P1890-P1891-P1892-P1893- P1894-P1895-P1896-P1897- P1898-P1899-P1900-P1901- P1902-P1903-P1904-P1905- P1906-P1907-P1908-P1909- P1910-P1911-P1912-P1913- P1914-P1915-P1916-P1917- P1918-P1919-P1920-P1921- P1922-P1923-P1924-P1925- P1926-P1927-P1928-P1929- P1930-P1931-P1932-P1933- P1934-P1935-P1936-P1937- P1938-P1939-P1940-P1941- P1942-P1943-P1944-P1945- P1946-P1947-P1948-P1949- P1950-P1951-P1952-P1953- P1954-P1955-P1956-P1957- P1958-P1959-P1960-P1961- P1962-P1963-P1964-P1965- P1966-P1967-P1968-P1969- P1970-P1971-P1972-P1973- P1974-P1975-P1976-P1977- P1978-P1979-P1980-P1981- P1982-P1983-P1984-P1985- P1986-P1987-P1988-P1989- P1990-P1991-P1992-P1993- P1994-P1995-P1996-P1997- P1998-P1999-P2000-P2001- P2002-P2003-P2004-P2005- P2006-P2007-P2008-P2009- P2010-P2011-P2012-P2013- P2014-P2015-P2016-P2017- P2018-P2019-P2020-P2021- P2022-P2023-P2024-P2025- P2026-P2027-P2028-P2029- P2030-P2031-P2032-P2033- P2034-P2035-P2036-P2037- P2038-P2039-P2040-P2041- P2042-P2043-P2044-P2045- P2046-P2047-P2048-P2049- P2050-P2051-P2052-P2053- P2054-P2055-P2056-P2057-

Ta1号竪穴状遺構・D12号土坑

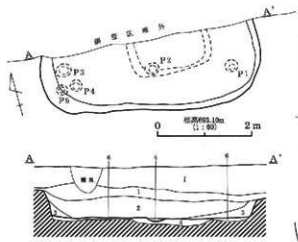


- Ta1
- 1層 黒褐色土 (10YR3/2) 小礫・炭化物を少量含む。人骨的残存。
 - 2層 黒褐色土 (10YR2/2) 礫 (10~60cm大) 多量。炭化物 (10YR5/1) の灰ブロック含む。人骨的残存。
 - 3層 暗灰色土 (10YR5/1) 灰質ある灰が主。人骨的残存。
 - 4層 にごい・黄褐色土 (10YR5/4) 灰のブロック・炭化物を少量含む。人骨的残存。
 - 5層 黒色土 (10Y2/1) 灰質あり。
 - 6層 黒褐色土 (10YR3/2) 砂を少量含む。

第61図 Ta1号竪穴状遺構・D12号土坑表面測図及び出土遺物実測図



Ta1号整穴遺構 (2)

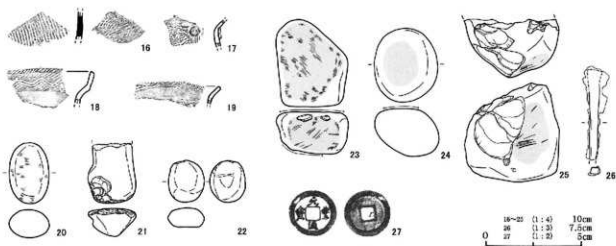


- Ta2
- 1層 黒褐色土 (10YR2/3)
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/4)
 - 3層 灰褐色土 (10YR3/6) の砂を含む。
 - 4層 黒褐色土 (10YR3/1)
 - 5層 黒褐色土 (10YR2/3) の灰が混入。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/3)
 - 3層 黄褐色土 (10YR5/6) の砂
 - 4層 黄褐色土 (10YR5/6) のブロックを多数に含む。
 - 5層 黒褐色土 (10YR3/1) の下層土。

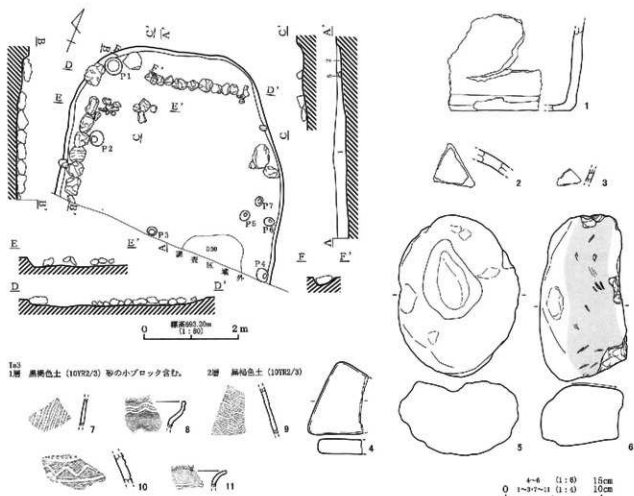


Ta2号整穴遺構 (1)

第62図 Ta1号 (2)・Ta2号 (1) 整穴状遺構実測図及び出土遺物実測図

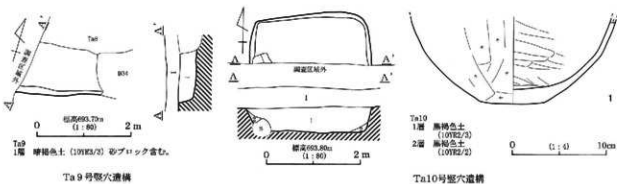
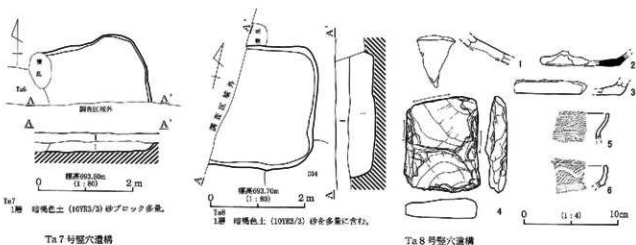
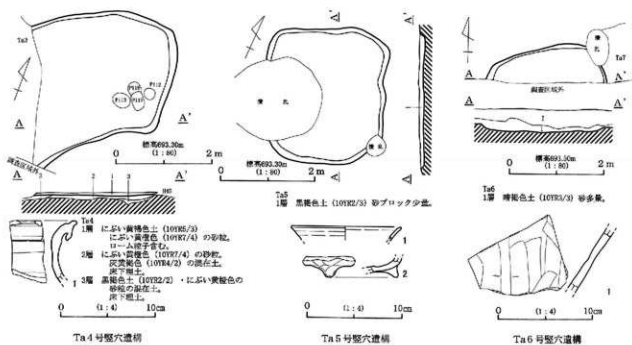


Ta2号竖穴遺構 (2)

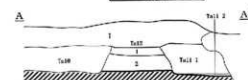


Ta3号竖穴遺構

第63図 Ta2号 (2)・Ta3号竖穴遺構実測図及び出土遺物実測図

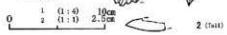


第64図 Ta4号・Ta5号・Ta6号・Ta7号・Ta8号・Ta9号・Ta10号竪穴状遺構実測図及び出土遺物実測図

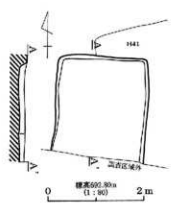
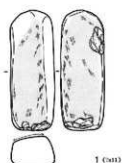


- Ta12**
- 1層 暗褐色土 (10YR2/2)
 - 2層 暗褐色土 (10YR2/3)
- 砂の小ブロック含む。

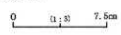
- Ta11**
- 1層 黒褐色土 (10YR2/3)
 - 2層 黒褐色土 (10YR2/2)
- 粘質あり。



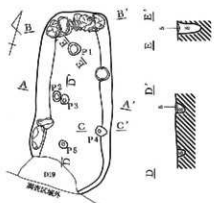
Ta11号・Ta12号型穴遺構



- Ta13**
- 1層 黒褐色土 (10YR2/3)
- 灰黄色 (10YR2/2) の砂を含む。



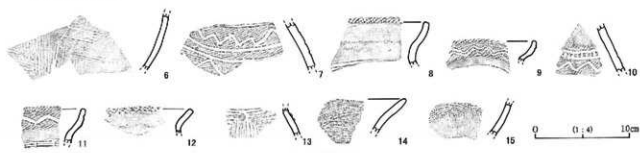
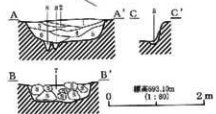
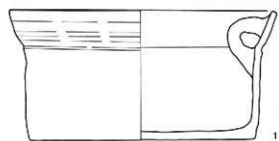
Ta13号型穴遺構



- Ta14**
- 1層 暗褐色土 (10YR2/3)
 - 2層 暗褐色土 (10YR2/4)
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/2)
 - 4層 褐色土 (10YR4/4)
- 灰褐色 (10YR5/6) の砂を含む。

- 5層 黒褐色土 (10YR2/1)
 - 6層 暗褐色土 (10YR2/2)
 - 7層 暗褐色土 (10YR2/2)
 - 8層 暗褐色土 (10YR2/4)
- 炭化物を含む。

1~8層 人為的堆積。



Ta14号型穴遺構

第65図 Ta11号・Ta12号・Ta13号・Ta14号型穴状遺構実測図及び出土遺物実測図

Ta7号竪穴状遺構 IIお・6 Grにあり、Ta6に切られ、D43を切る。残存北壁1.8m検出東壁1.44m、壁高16cmを測る。出土遺物なく時期は明確でないが、重複関係からTa6（中世）以前である。

Ta8号竪穴状遺構 IIあ・5・6 Grにあり、D34に切られH33・Ta9を切る。北壁1.34m・東壁2.3m・検出南壁1.34m、壁高は50cmを測る。床は軟弱で北側がやや高い。遺物は壺か甕常滑・中世（3）、土鍋・15～16C（1）、混入の打製石斧、須恵器、弥生土器がある。時期は、15～16世紀とみられる。

Ta9号竪穴状遺構 IIあ・5・6 Grにあり、Ta8・D34に切られる。規模は残存南壁1.8m壁高30cmを測る。覆土は人為的堆積。床面は平坦で堅いが薄い。遺物皆無だが、Ta8（15～16C）以前である。

Ta10号竪穴状遺構 IIIえ・お・5・6 Grにあり、Ta12・M8を切る。規模は北壁2.3m検出東壁1.0m検出西壁0.86m、壁高54cmを測る。床面中央が強く締まる。遺物は古墳時代後期の土師器鉢があるが、時期の特定はできない。本址・周囲の遺構の状況から、中世の所産であろうか。

Ta11号竪穴状遺構 IIIお・4 Grにあり、Ta12を切る。大半が調査区域外・攪乱で破壊されているが、土層断面や周囲の遺構状況から竪穴状遺構とした。残存北壁1.14m壁高56cmを測る。磨石・石礫は本址に伴わない。時期はTa10と同様に本址・周囲の遺構の状況から、中世の所産であろうか。

Ta12号竪穴状遺構 IIIえ・お・4 Grにあり、を切りTa10・Ta12に切られる。北壁3.54m残存東壁0.9m壁高50cmを測る。床面は薄く堅い。遺物皆無だが、Ta10・Ta12同様に中世であろう。

Ta13号竪穴状遺構 IIIえ・7・8 Grで検出されH1・M8を切る。北壁1.86m検出東壁2.2m検出西壁1.98m壁高20cm、長軸方位はN-5°-Eを示す。床面は薄く堅い。遺物は角釘2点が出土した。本址・周囲の遺構の状況から、曖昧ではあるが中世の所産であろうか。

Ta14号竪穴状遺構 IIIえ・お・3 Grにあり、D39・M8を切りTa10・Ta12に切られる。北壁3.54m残存東壁0.9m壁高50cm、長軸方位はN-12°-Eを示す。床面は薄く堅い。ピットは5個長辺と平行にP1・P3・P5がある。北壁に2段の石積みが確認された。遺物は、内耳土鍋・15～16C（1）、かわらけ小皿・15～16C（4・5）、土師器碗・中世（3）と混入の弥生土器がある。時期は、15～16世紀とみられる。

3. 掘立柱建物址

F1号掘立柱建物址 VIい-10、VIIい-1 Grで検出され、H1・H4を切る。形態は3間×?間の総柱式で東西長5.4m東西柱間1.4～1.8m南北柱間1.8mを測る。柱穴は径40～60cmの円形で深さは30～65cm。遺物は弥生中期土器・土師器・須恵器小片が出土。時期は、6世紀後半のH4以降である。

F2号掘立柱建物址 VIい-8・9 Grで検出され、H6にきられる。深さ50cmのP1と深さ40cmのP2が布掘状に連結される。古墳時代後期のH6との重複関係から弥生中期土器と須恵器坏は、混入である。

F3号掘立柱建物址 Vあ-10、VIあ-10で検出された。掘立柱建物址としたが、周囲の状況から柱列とみられる。柱間1.4m～1.6m、柱穴は径64～80cmの円形で深さは44cm前後。時期は不明である。

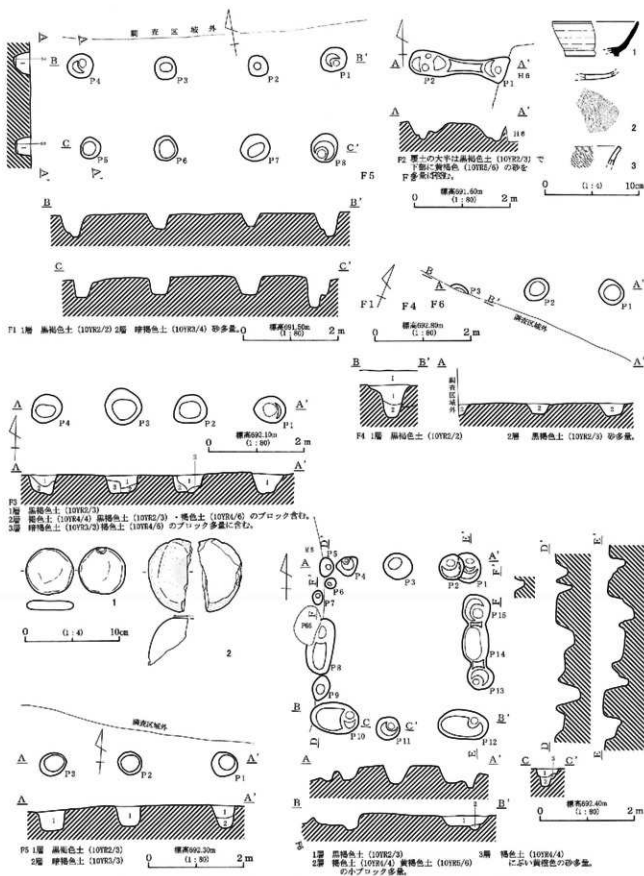
F4号掘立柱建物址 Vい-う-6 Grで検出された。南側の調査区域外に伸びるのか、柱列なのかは明確でない。柱間1.6m、柱穴は径50～80cmの円形で、深さは調査区境界断面で64cm。時期は不明である。

F5号掘立柱建物址 Vい-5・6 Grで出された。北側の調査区域外に伸びるのか、柱列なのかは明確でない。柱間1.6m、柱穴は径50～80cmの円形で、深さは調査区境界断面で64cm。時期は不明である。

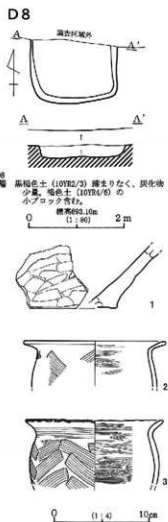
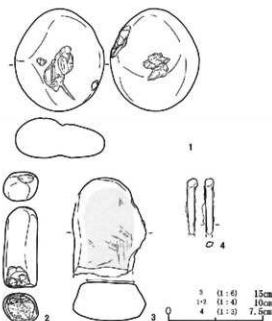
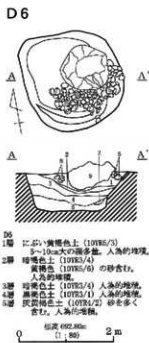
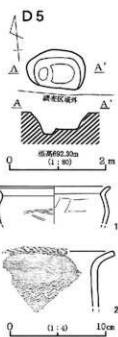
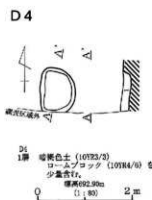
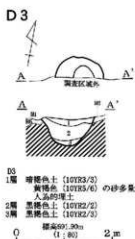
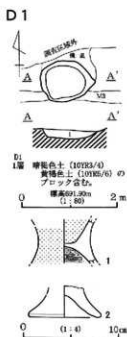
F6号掘立柱建物址 Vい-う-1 Grで検出された。M6を切り・P66に切られる。複数遺構の重複かもしれない。不規則な並びであるが、P1・P3・P5・P7・P8・P9・P10～13・P15を組み合わせた2間×3間の側柱式建物址となり、軸方位は真北を示す。桁行3.4m（P1～P12）梁行3.0m（P1～P5）、桁行柱間0.6～0.8m梁行柱間1.1～1.8mを測る。柱穴は30～60cmの円形と100cm×60cmの楕円形で、深さも20～52cmと不規則である。P13とP15が布掘状に連結される。時期は遺物無く判断としないが、6世紀前半のH27・弥生後期のM5より新しい。

4. 土坑

D1号土坑 VIあ・5 Grで検出され、M3に切られる。長軸長116cm短軸長84cm壁高20cm、平面長方形、断面逆梯形、長軸方位はN-89°-Wを示す。時期は、図示した高坏・台坏裏から弥生時代後期であ

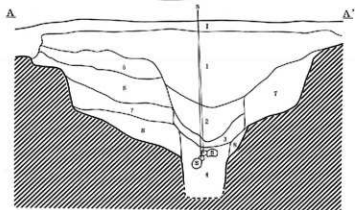
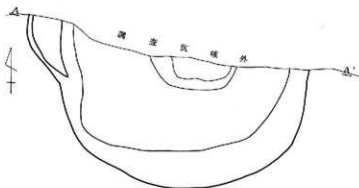


第66図 F1号・F2号・F3号・F4号・F5号・F6号掘立柱建物土室断面



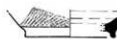
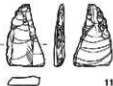
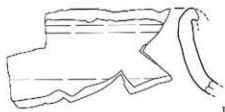
第67図 D1号・D3号・D4号・D5号・D6号・D8号・D13号土坑実測図及び内出土遺物実測図

D7



- D7
 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 角礫 (1~5cm) 含む。
 2層 黒褐色土 (10YR2/3) 白色軽石少量、ローム少量。
 3層 黒褐色土 (10YR2/2) 砂のブロック含む。
 4層 黒褐色土 (10YR2/3) 礫含む、黄地砂層土。
 5層→7層 黄褐色土。
 8層 深い黄褐色土 (10YR4/3) 白色礫石と灰径ロームが土。
 6層 黄褐色土 (10YR2/3)
 7層 黄褐色土 (10YR2/2) 砂の密状アロック含む。
 8層 深い黄褐色 (10YR4/3) の砂と黄褐色土 (10YR2/3) を斜めに密状に含む、砂が土。

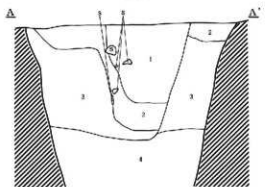
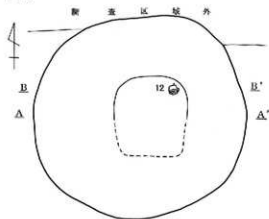
標高692.50m
 0 1:80 2m



1-6-8-12-20 (1:4) 3.0cm
 7 (1:20) 7.5cm
 10-11: 2.5
 5 (1:1) 2.5cm
 0

第68図 D7号坑実測図及び出土遺物実測図

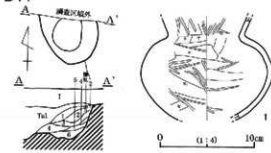
D10



D10

- 1層 黒褐色土 (10YR2/2) 砂ブロック含む。
- 2層 黒褐色土 (10YR2/3) におい黄褐色土 (10YR6/3) の小ブロック少量、砂質土。
- 3層 暗褐色土 (10YR2/3) におい黄褐色土 (10YR6/3) の小ブロック・軽石・小砂少量、砂が主。
- 4層 暗褐色土 (10YR2/3) におい黄褐色土 (10YR6/3) の小ブロック・軽石・小砂少量、砂が主。
- 3・4層 構築土。

D14

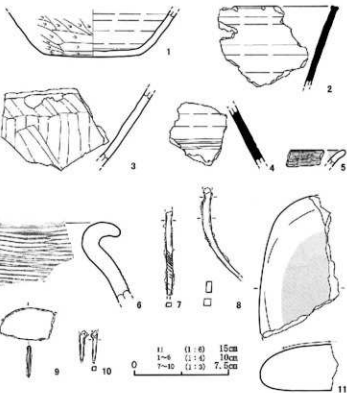


標準92.80m (1:80) 2m

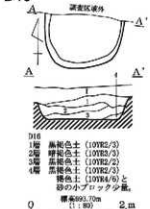
D14

- 1層 暗褐色土 (10YR2/3) 砂の小ブロック少量。
- 2層 暗褐色土 (10YR2/3) 砂多量。
- 3層 黒褐色土 (10YR2/2)
- 4層 暗褐色土 (10YR2/4) 砂多量。
- 5層 黒褐色土 (10YR2/2) 軽石ブロック含む。
- 6層 黒褐色土 (10YR2/2) 砂・炭土小ブロック含む。

1~6層 人工的堆積。



D16

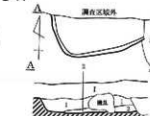


D16

- 1層 黒褐色土 (10YR2/3)
- 2層 暗褐色土 (10YR2/3)
- 3層 暗褐色土 (10YR2/2)
- 4層 暗褐色土 (10YR2/3)
- 5層 暗褐色土 (10YR4/6) と砂の小ブロック少量。

標準93.70m (1:80) 2m

D17

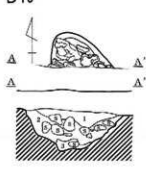


標準93.70m (1:80) 2m

D17

- 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 炭化物少量。
- 2層 黒褐色土 (10YR2/3) 黄褐色土 (10YR4/6) と砂の小ブロック少量。

D19



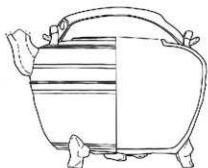
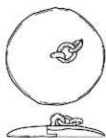
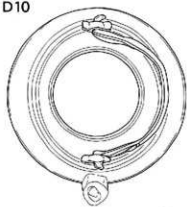
標準93.70m (1:80) 2m

D19

- 1層 黒褐色土 (10YR2/3)
- 2層 暗褐色土 (10YR2/3) 砂多量、人工的堆積。
- 3層 暗褐色土 (10YR4/4) 人工的堆積。

第69図 D10・D14・D16・D17・D19土坑実測図及び出土遺物実測図

D10



0 1:4 10cm

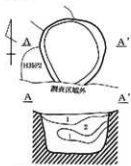


2

4

3

D18



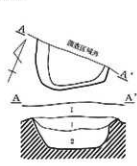
D18
1層 輝褐色土 (10193/3)
2層 輝褐色土 (10195/6) の
砂ブロック含む。
3層 褐色土 (10194/4)
にぶら輝褐色の砂土
多量を含む。
1~2層 人為的堆積。

標準692.03m
(1:80)

5

1 (1:4) 10cm
2~4 (1:3) 7.5cm
3 (1:2) 2.5cm

D23



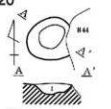
D23
1層 輝褐色土 (10192/3)
砂ブロック少量。
2層 輝褐色土 (10192/3)
にぶらブロック斜めに
表状に含む。
人為的堆積。

標準693.79m
(1:80)

1

0 1:4 10cm

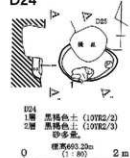
D20



D20
1層 輝褐色土 (10193/3)
砂ブロック少量含む。
標準693.00m
(1:80)

0 1:80 2m

D24



D24
1層 輝褐色土 (10192/2)
2層 輝褐色土 (10192/3)
砂多量。

標準693.23m
(1:80)

1

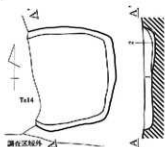


2

1 (1:4) 10cm
2 (1:2) 2.5cm

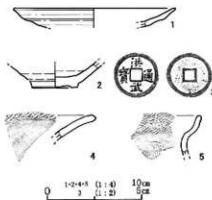
第70図 D10号・D18号・D20号・D23号・D24号土坑実測図及び出土遺物実測図

D21



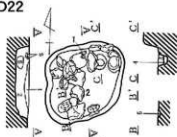
- D21
 1層 黒褐色土 (10YR2/3)
 炭化物・砂少量。
 2層 黒褐色土 (10YR2/2)
 炭化物・砂少量。

標準693.20m
 (1:80) 2m



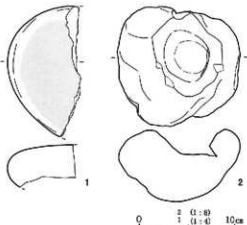
1 2+4/5 (1:4)
 3 (1:2) 10cm

D22



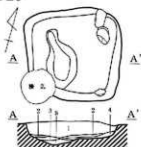
- D22
 1層 黒褐色土 (10YR2/3)
 2層 緑褐色土 (10YR3/3) 炭・粘土・灰の
 混合 (厚1~2cm) ブロックを含む。
 北壁から中央にかけて白色の灰を
 積層に含む。
 3層 黒褐色土 (10YR2/1) 焼土・小ブロック
 を含む。
 4層 黒褐色土 (10YR2/2) 砂少量。
 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 砂含む。
 1~2層 人為的破壊。

標準693.20m
 (1:80) 2m



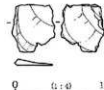
1 2 (1:4)
 3 (1:4) 10cm

D25



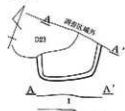
- D25
 1層 黒褐色土 (10YR2/3)
 炭と砂少量。
 2層 緑褐色土 (10YR3/4)
 砂が主。炭化物少量。
 3層 暗褐色土 (10YR3/2)
 4層 黒褐色土 (10YR2/2)
 砂少量。炭化物少量。
 5層 灰と炭化物。

標準693.10m
 (1:80) 2m



0 (1:4) 10cm

D27

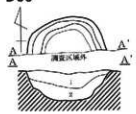


- D27
 1層 黒褐色土 (10YR2/3)
 砂少量。
 2層 緑褐色土 (10YR3/2)
 砂少量。

標準693.70m
 (1:80) 2m

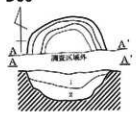


D30



- D30
 1層 灰黄褐色土 (10YR4/2)
 に赤い黄褐色 (10YR7/4) の
 砂粒少量。
 2層 灰黄褐色土 (10YR4/2)
 に赤い黄褐色 (10YR7/4) の
 砂粒含む。

標準693.20m
 (1:80) 2m



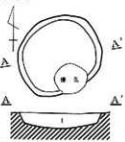
1 (1:4)
 2 (1:3) 7.5cm

D34

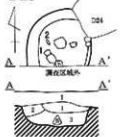


- D34
 1層 黒褐色土 (10YR2/2)
 に赤い黄褐色 (10YR7/4)
 の砂粒を含む。

標準691.40m
 (1:80) 2m

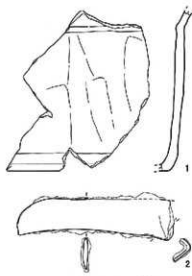


D26



- D26
 1層 灰黄褐色土 (10YR4/2)
 に赤い黄褐色 (10YR7/4)
 の砂粒・ローム含む。
 2層 灰黄褐色土 (10YR4/2)
 黒褐色土 (10YR2/2) の
 粘土を含む。
 3層 灰黄褐色土 (10YR4/2)
 に赤い黄褐色 (10YR7/4)
 のローム粘土を含む。
 1~3層 人為的破壊。

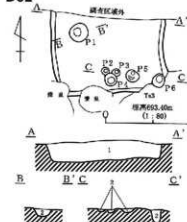
標準693.60m
 (1:80) 2m



1 (1:4)
 2 (1:3) 7.5cm

第71図 D21号・D22号・D25号・D26号・D27号・D30号・D34号土坑断面図及び出土遺物実測図

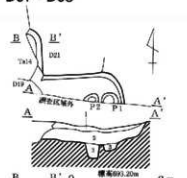
D32



D32
1層 黒褐色土 (10YR2/2) にふい黄褐色土 (10YR7/4) の砂粒を含む。
2層 灰黄褐色土 (10YR6/2) にふい黄褐色土 (10YR7/4) の砂粒少量を含む。



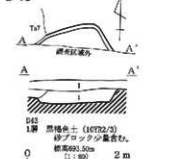
D37・D38



D37・38
1層 黒褐色土 (10YR2/2) 灰化物が主。にふい黄褐色土 (10YR6/4) ・灰を含む。
2層 黒褐色土 (10YR2/2) にふい黄褐色土 (10YR7/4) のローム・砂粒を含む。
3層 黒褐色土 (10YR2/2) が少量を含む。

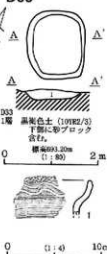


D43



D43
1層 黒褐色土 (10YR2/3) 砂・ブツク少量を含む。
標準693.50m (1:80) 2m

D33



D39



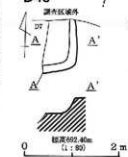
D39
1層 にふい黄褐色土 (10YR5/3) 砂粒を含む。
2層 にふい黄褐色土 (10YR7/4) 砂粒が主。
標準692.90m (1:80) 2m

D35



D35
1層 黒褐色土 (10YR2/2) にふい黄褐色土 (10YR6/4) の砂をレンス状に含む。
標準699.80m (1:80) 2m

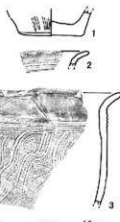
D40



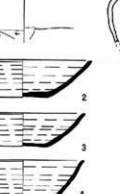
D41



D41
1層 黒褐色土 (10YR2/3) 砂・ブツク少量。
標準699.30m (1:80) 2m



D42



D42



D42
1層 黒褐色土 (10YR3/1) 膠まり・粘性不勻あり。
2層 暗褐色土 (10YR3/4) 膠まり・粘性なく 砂を多く含む。
標準693.80m (1:80) 2m

第72図 D32号・D33号・D35号・D37号・D38号・D39号・D40号・D41号・D42号・D43号土坑及び出土遺物実測図

らう。

D3号土坑 IVい-8 Grで検出され、M1に切られる。東西長100cm検出南北長44cm壁高60cm、断面逆梯形の形態である。時期は、古墳時代後期M1より以前である。

D4号土坑 Vう-2 Gr検出され、M5を切る。検出長軸長92cm短軸長72cm壁高は13cm、長軸方位は真北を示す。弥生中期土器・平安時代土師器・須恵器小片、馬の白歯が出土したが、時期は不明である。

D5号土坑 IVう-10 Grで検出され、H30・31を切る。長軸長124cm短軸長80cm壁高41cm、平面楕円形、断面逆梯形、西寄りにピット1個を有す。長軸方位はN-88°-Wを示す。遺物は土師器鉢・弥生中期壺があり、時期は古墳時代後期以降であろう。

D6号土坑 IVえ-1 Gr検出され、H35を切る。長軸長240cm短軸長216cm壁高88cm、平面円形、断面横を持つ逆梯形。長軸方位はN-45°-Wを示す。覆土は人為的埋土で、1m超の大礫と5~10cmの礫が多量にみられた。遺物は弥生中期・須恵器・土師器小片、敲石・台石、角釘がある。時期は不明である。

D7号土坑 IVい・う-7・8 Grで検出され、H30・H34・H36・D40を切っていて本址が一番新しい。東西長628cm、検出南北長280cm検出壁高は290cmを測り、西側に張り出し部を持つ。軸方位は真北を示す。平面方形気味、断面テラスを有する逆梯形である。本址は井戸であり、2~4層が井戸使用面である。井戸枠はみられなかったが、テラス面から下部の一辺80mで方形の掘方が井戸枠の規模と思われる。5~8層が井戸掘方の埋土である。北側が調査区外に伸び地山軟弱で危険なため、底面には至っていない。遺物は、弥生中期土器・土師器・須恵器、青磁碗龍泉・13C(4)、壺か甕常滑・中世(1)、碗瀬戸美濃・近世(3)、不明陶器(2)、剥片、鉄釘があるが、時期の特定は難しい。

D8号土坑 IIIう-8・9 Grで検出され、P85を切る。東西長180cm検出南北長136cm壁高22cm、断面逆梯形の形態である。軸方位はN-2°-Wを示す。遺物は、弥生中期土器、須恵器小片、壺か甕常滑・15Cがあるが、本址の時期は、15世紀である。

D10号土坑 IIIう-10 Grで検出され、H38・H43を切る。長軸長460cm短軸長434cm検出壁高320cm、平面円形、断面逆梯形の形態で、軸方位は真北を示す。本址は井戸であり、覆土1・2層が井戸使用面である。井戸枠は未検出、2層下部は一辺0.8mで方形の掘方が井戸枠の規模と思われる。2~4層が井戸掘方の埋土である。廃絶時に礫と共に掘方の埋土2層が埋められたと見られる。地山軟弱で危険なため、これ以上の掘り下げが危険なため、底面には至っていない。遺物は、陶器鉢在地・15C(1)、須恵質土器鉢在地・13C(2)、壺常滑・中世(3)、瓦質土器火鉢在地・時期不明(5)、甕珠洲・13C前半(6)、鉄瓶(12)、角釘(7・8・10)、鎌(9)、台石(11)、弥生土器、土師器、須恵器がある。12の鉄瓶(巻頭図版)は、井戸枠内の検出面下50cmから出土した。三足手取釜といわれ16世紀中頃には、茶の湯の釜として認識されていたという。本址の時期は、15世紀である。

D12号土坑 (第61・62図) IVう・え-6 Grで検出され、Ta1の付属なのか、重複していたのか不明である。検出長軸長110cm短軸長80cm壁高19cm、平面楕円形、断面逆梯形の形態で、長軸方位はN-2°-Eを示す。遺物は、第62図31の角釘と骨片(人骨?)が出土した。

D13号土坑 IVう-4 Grで検出され、H37・H40を切る。東西長148cm検出南北長72cm壁高64cm、断面逆梯形。遺物は、土師器壺、須恵器・弥生土器小片が出土した。時期は古墳時代後期以降であろう。

D14号土坑 IVう-5 Grで検出され、Ta1に切られH37を切る。検出長軸長120cm短軸長110cm壁高76cm、平面形楕円形、テラスを有す断面逆梯形の形態である。長軸方位はN-20°-Wを示す。覆土1~6層は人為的埋土。遺物は、土師器鉢が出土した。時期は古墳時代後期以降15~16世紀以前である。

D16号土坑 IIIえ-2・3 Grで検出され、D17・M8を切る。検出東西長172cm検出南北長112cm壁高48cm、断面逆梯形。遺物は卸皿古瀬戸・13C、弥生土器・須恵器・土師器片が出土した。時期は、13世紀である。

D17号土坑 IIIえ-3 Grで検出され、D16に切られる。残存東西長184cm検出南北長86cm壁高30cm、平面円形、断面逆梯形の形態である。時期は13世紀のD16以前である。

D18号土坑 IVえ-2 Grで検出され、H35を切る。東西長144cm検出南北長136cm壁高88cm、平面円

形、断面逆梯形の形態である。長軸方位はN-25°-Wを示す。覆土1・2層は人為的埋土である。時期は、角釘が出土しているが、不明である。

D19号土坑 Ⅲお・3 Grで検出され、Ta14・D37・M9を切る。検出東西長132cm検出南北長64cm壁高86cm、断面逆梯形の形態である。覆土2・3層は、礫を多量に含む人為的な埋土である。弥生土器・土師器片があるが、時期は不明である。

D20号土坑 Ⅲえ・5 Grで検出され、H44に切られる。検出東西長98cm南北長92cm壁高27cm、平面円形、断面逆梯形の形態である。主軸方位はN-77°-Wを示す。時期は不明である

D21号土坑 Ⅲえ・お・2・3 Grで検出され、Ta14・D37に切られ、H47・D38を切る。残存東西長174cm南北長220cm壁高26cm、断面逆梯形の形態である。遺物は平碗古瀬戸・15C（1・2）、洪武通宝、弥生土器・土師器・須恵器がある。時期は15世紀である。

D22号土坑 Ⅲえ・2 Grで検出され、H47を切る。東西長160cm検出南北長160cm壁高30cm、平面方形、断面逆梯形の形態である。2層は礫・灰・炭・焼土を多量に含む、1・2層は人為的な埋土である。台石（1）、凹石（2）、弥生土器・土師器片があるが、時期は不明である。

D23号土坑 Ⅲえ・1 Grで検出され、D27・P157を切る。検出東西長100cm検出南北長70cm壁高は70cm、断面逆梯形の形態である。軸方位はN-30°-Wを示す。覆土2層は人為的な埋土である。遺物は壺か甕常滑・中世、弥生土器・土師器・須恵器がある。時期は中世である。

D24号土坑 Ⅲお・1 Grで検出され、H47・D26を切る。長軸長120cm残存短軸長80cm壁高は19cm、平面楕円形、断面逆梯形の形態である。長軸方位はEを示す。遺物は皇宋通宝、石皿、内耳土銅片、弥生土器片が出土した。時期は中世である。

D25号土坑 Ⅲえ・1 Grで検出、H47・H50・P154を切る東西長200cm南北長200cm壁高は36cm、平面方形、断面逆梯形の形態である。主軸方位はN-20°-Wを示す。覆土1～5層は人為的埋土で、5層は炭と灰が主。遺物は、内耳土銅片、弥生土器片、土師器・須恵器片等が出土した。時期は中世である。

D26号土坑 Ⅲお・1 Grで検出され、D24に切られ、H47を切る。東西長120cm検出南北長136cm壁高は40cm、平面楕円形？断面逆梯形の形態である。軸方位はNを示す。覆土1～3層は人為的埋土である。遺物は、内耳土銅片、鎌、弥生土器片、土師器が出土した。時期は中世である。

D27号土坑 Ⅲえ・1 Grで検出されD23に切られP160を切る。東西長136cm検出南北長90cm壁高は36cm断面逆梯形、軸方位はN-25°-W。遺物は、弥生土器・土師器小片が出土した。時期は中世以前である。

D30号土坑 Ⅱお・9・10Grで検出され、Ta3を切る。東西長164cm検出南北長160cm壁高は66cmを測る。テラスを有する。遺物はなく、時期は不明である。

D32号土坑 Ⅱえ・10・Ⅲえ・1 Grで検出、Ta3・D25に切られ、H51を切る。東西長240cm検出南北長160cm壁高は40cm、軸方位はN-2°-W、平面方形？断面逆梯形の形態である。6個のピットは本址に伴うか不明確。遺物は、大中通宝、内耳土銅片、弥生土器・土師器片が出土した。時期は中世である。

D33号土坑 Ⅱお・6 Grで検出され、東西長144cm南北長122cm壁高は22cm、平面長方形、断面逆梯形、主軸方位はN-22°-Wを示す。遺物は弥生土器小片で、本址の時期は不明である

D34号土坑 Ⅱあ・5 Grで検出され、Ta8・Ta9を切る。長軸長176cm短軸長156cm壁高は32cm、平面長方形、断面逆梯形、主軸方位はN-70°-Eを示す。遺物は、内耳土銅片、土師器・須恵器片が出土した。時期は中世である。

D35号土坑 Ⅱう・え・6Gr検出され、長軸長128cm短軸長112cm壁高は34cm、平面円形、断面逆梯形。長軸方位はN-72°-Wを示す。遺物は、壺・甕・鉢で、本址の時期は弥生時代中期後半栗林期である。

D37号土坑 Ⅲえ・お・3 Grで検出されH47を切り、Ta14・D19・D21に切られる。D38との関係は把握できなかった。遺物なく遺構の依存状態も悪いが、時期は重複関係から15～16世紀である。

D38号土坑 Ⅲお・2 Grで検出、Ta14・D19・D21に切られ、H47を切る。残存東西長168cm検出南北長60cm壁高は46cm、断面逆梯形、ピット2個ある。開元通宝、角釘が出土し、時期は15～16世紀である。

D39号土坑 IIIエ-4・5 Grで検出され、Ta11・Ta12に切られる。残存東西長130cm南北長174cm壁高は48cm、軸方位はN、平面方形？断面逆梯形の形態である。遺物は弥生土器・須恵器・土師器小片で、本址の時期は不明である。

D40号土坑 IVイ・う-7 Grで検出され、D7に切られる。残存東西長64cm検出南北長112cm壁高は24cm、断面逆梯形の形態である。遺物は、口縁部「コ」の字の土師器武蔵甕(1)、須恵器杯(2~4)、2・3は底部回転糸切り、これらから本址は、9世紀前半に位置づけられる。

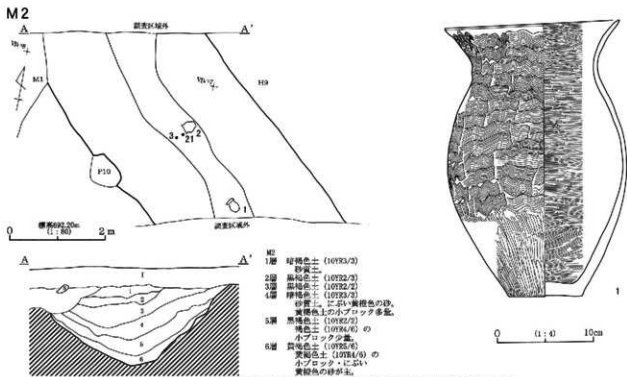
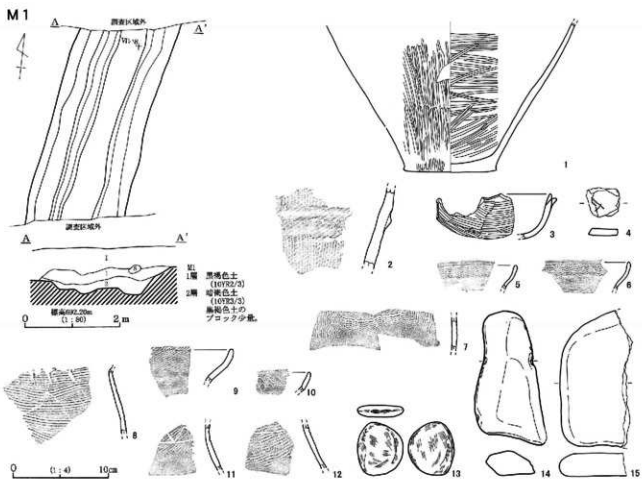
D41号土坑 IVイ・う-7 Grで検出された。東西長70cm検出南北長66cm壁高は38cm、平面方形、断面逆梯形の形態である。遺物は皿前山・18世紀末~19世紀前半、弥生土器小片が出土、時期は近世末である。

D42号土坑 IIIエ-7 Grで検出され、H41・M8に切られる。長軸長76cm短軸長64cm壁高は13cm、平面楕円形、断面逆梯形の形態である。主軸方位はN-72°-Eを示す。遺物は、弥生土器の赤彩された高坏(1)・壺・甕片が出土、時期は弥生時代後期。

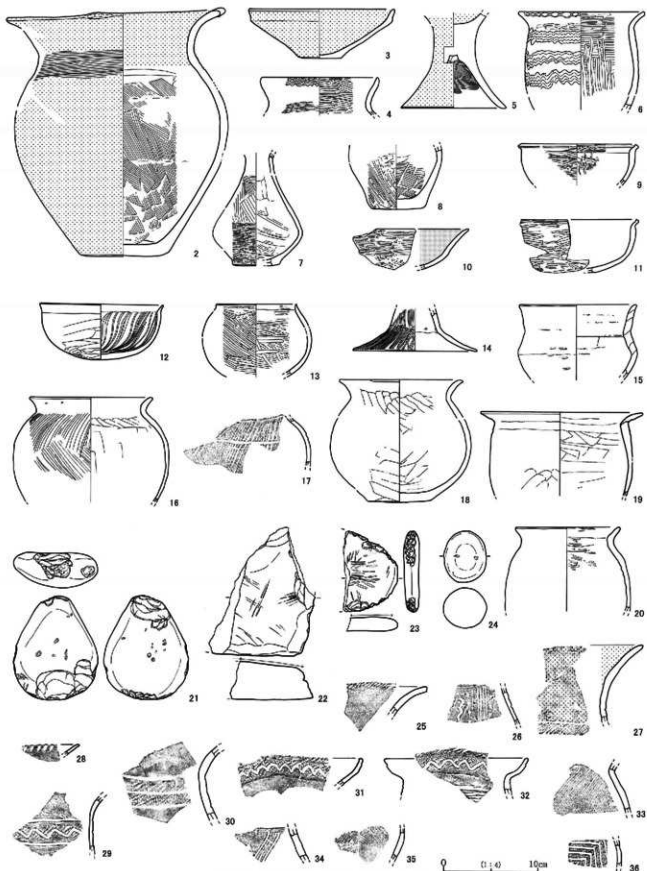
D43号土坑 IIオ-6 Grで検出され、Ta7に切られる。検出東西長126cm検出南北長80cm壁高は32cm、断面逆梯形。遺物はなく、時期は不明である。

第3表 土坑一覧表 (現存長) <検出長> cm

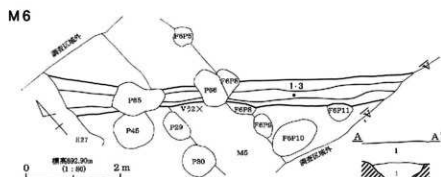
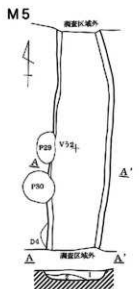
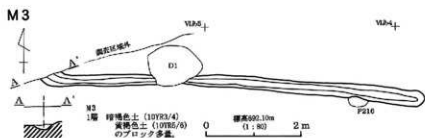
遺構名	検出位置	平面形	軸方位	長軸長 米/尺	短軸長 米/尺	壁高	備考(築込関係 出土遺物)
D1	Ⅱオ6	長方形	N-89°-W	116	84	20	M3に切られる。弥生時代後期の土師器 P217に突変
D2							
D3	Ⅱイ8	不明		100	(44)	60	M1に切られる
D4	Vう2	長方形	N	(92)	72	13	M6を切る。弥生中期土師、馬舟(円筒)
D5	Ⅱウ10	楕円形	N-88°-W	124	80	41	H30・H31を切る。土師器・弥生中期土師
D6	Ⅱウ11	円形	N-45°-W	240	216	58	H35を切る。弥生中期土師・土師器、蓋石・石舟、角釘
D7	Ⅱイう7-8	不明	N	(616)	(280)	(290)	II30-II31・H34-D10を切る。青磁(13C)、灰釉土、灰釉(25C)、灰釉(15C)、弥生中期土師・土師器・須恵器
D8	Ⅱう8-9	不明	N-2°-W	180	(136)	22	P85を切る。煮漉(15C)、弥生中期土師・須恵器 欠番
D9							
D10	Ⅱう10	円形	N	460	434	(320)	H38・H43を切る。青磁(13C)・須恵器(13C)、須恵器、瓦質、煮漉(中)、鉄板、磁、角釘、弥生土師・須恵器、土師器
D11							
D12	Ⅱう-夫6	楕円形	N-2°-E	(110)	80	19	Ta1と土師器関係不明。骨(人骨?)、角釘
D13	Ⅱウ4	不明	N-76°-W	148	(72)	64	H37・H40を切る。弥生土師・土師器・須恵器
D14	Ⅱウ5	不明	N-20°-W	(120)	110	76	Ta1に切られH137を切る。土師器
D15							
D16	Ⅱ夫2-3	不明		172	(112)	48	D17・M8を切る。古瀬戸(13C)、弥生土師・土師器・須恵器
D17	Ⅱ夫3	円形		(184)	(86)	30	D16に切られM8を切る。
D18	Ⅱ夫2	円形	N-25°-W	144	(136)	88	H35を切る。角釘
D19	Ⅱ夫3	不明		(132)	(54)	86	Ta14-D37・M9を切る。
D20	Ⅱ夫6	円形	N-77°-W	(92)	(52)	27	H44に切られる。
D21	Ⅱ夫-お2-3	長方形	N	(174)	220	26	Ta14-D37に切られ、H47・D38を切る。古瀬戸(15C)・灰釉土、灰釉(25C)、弥生土師・土師器・須恵器
D22	Ⅱ夫1	不明	N	160	160	30	①20×4 ②32×22 H47を切る。角釘、四石、弥生土師・土師器
D23	Ⅱ夫1	不明	N-30°-W	(100)	(70)	70	D27・P167を切る。煮漉(中)、弥生土師・土師器・須恵器
D24	Ⅱ夫1	楕円形	E	120	(80)	19	II47-D26を切る。内耳土師、黒米遺室、(15C)、弥生土師
D25	Ⅱ夫1	方形	N-20°-W	200	200	36	H47・H50を切る。内耳土師、弥生土師・土師器・須恵器
D26	Ⅱ夫1	不明	N	<120>	132	8	D24に切られ、II47を切る。内耳土師、磁、弥生土師・土師器
D27	Ⅱ夫1	不明	N-25°-W	136	<68>	10	D23に切られ、P160を切る。弥生土師・土師器
D28							
D29							
D30	Ⅱ夫9-10	不明		164	<160>	66	Ta11に突変 Ta3を切る。テラスを有する。
D31							
D32	Ⅱ夫1	方形?	N-2°-W	240	<160>	40	①40-2②16×7③20×10④24×18⑤30×10⑥32×33 Ta3に切られ、H51を切る。大巾遺室、内耳土師、弥生土師・土師器
D33	Ⅱお6	長方形	N-22°-W	141	122	22	弥生土師
D34	Ⅱお5	円形	N-33°-E	176	136	32	Ta8・Ta9を切る。内耳土師、土師器・須恵器
D35	Ⅱう夫6	円形	N-72°-W	128	112	34	弥生土師
D36							
D37	Ⅱう夫3	不明		<34>	<100>	10	Ta13に突変 Ta14-D19-D21に切られ、H47を切る。
D38	Ⅱお2	不明		(168)	<60>	46	①96×32②28×12 Ta14-D19-D21に切られ、H47を切る。 須恵器、角釘
D39	Ⅱ夫4-5	方形?	N	(140)	<174>	48	Ta11・Ta12に切られる。弥生土師・土師器・須恵器
D40	Ⅱイう7	不明		(64)	<112>	24	D7に切られる。土師器・須恵器
D41	Ⅱイう夫6	方形	N-7°-W	70	<68>	38	前山(古瀬戸)、弥生土師
D42	Ⅱ夫7	楕円形	N-72°-E	76	64	13	H41に切られる。弥生土師
D43	Ⅱお6			<126>	<80>	32	Ta7に切られる。



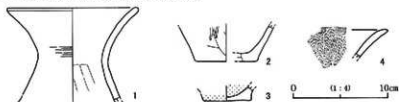
第73図 M1号溝状遺構及び出土遺物実測図・M2号溝状遺構出土遺物実測図(1)



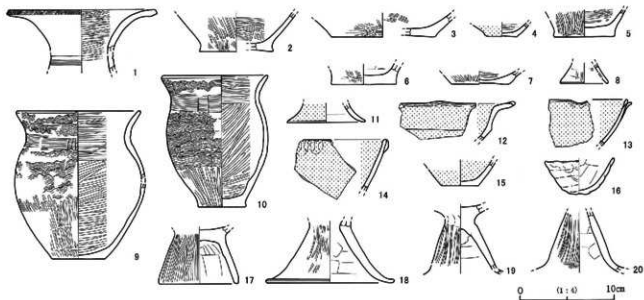
第74图 M2号清状遗址出土文物实测图(2)



M6 1層 黒褐色土 (10YR2/2) に多い黄褐色土ブロック含む。

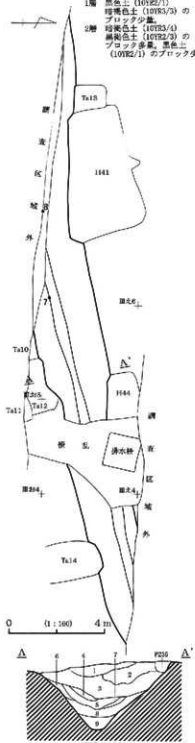


M8 (1)

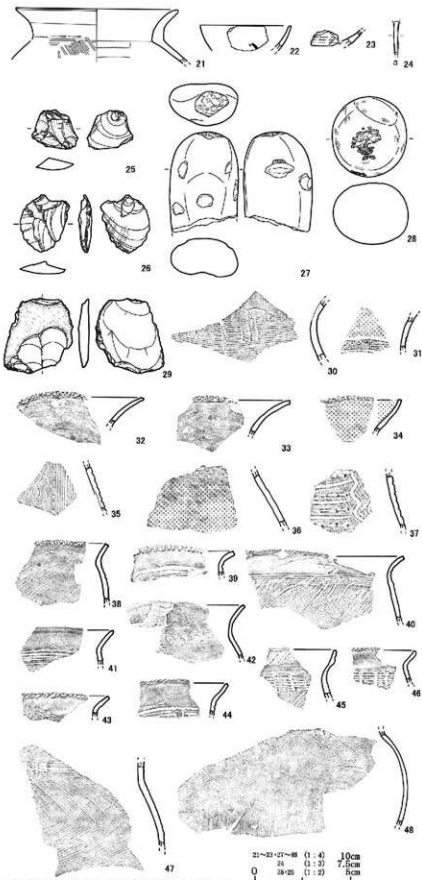


第75図 M3号・M5号溝状遺構実測図・M6号溝状遺構実測図・M8溝状遺構実測図及び出土遺物実測図(1)

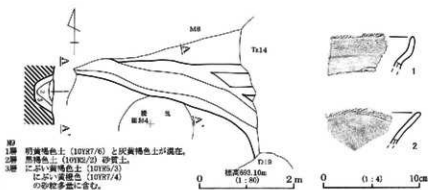
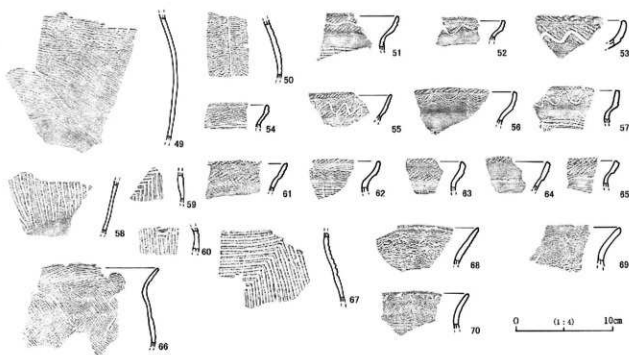
- 1層 黒色土 (10YR2/1)
 暗褐色土 (10YR3/3) の
 ブロック少量。
 2層 暗褐色土 (10YR2/3) の
 黒褐色土 (10YR2/3) の
 ブロック少量、黒色土
 (10YR2/1) のブロック少量。



- 3層 暗褐色土 (10YR2/3) 黒褐色土 (10YR2/2) の
 ブロック少量、炭化物少量。
 4層 暗褐色土 (10YR2/3) 砂少量。
 5層 暗褐色土 (10YR2/2) 暗褐色土 (10YR3/2) の
 ブロック少量、炭化物少量。
 6層 暗褐色土 (10YR2/3) 砂ブロック含む。
 7層 暗褐色土 (10YR3/3) 砂少量。
 8層 暗褐色土 (10YR3/4) 砂・暗褐色土 (10YR2/3)
 ブロック少量。
 9層 暗褐色土 (10YR4/6) のブロック少量、
 小円錐 (0.6-0.6cm) の砂少量。



第76図 M8号溝状遺構実測図及び出土遺物実測図(2)



第77図 M8号溝状遺構出土遺物実測図(3)・M9号溝状遺構実測図及び出土遺物実測図

5. 溝状遺構

M1号溝状遺構 VIあ・い・8 Grで検出され、H6・H7・M2・D3・P11を切る。南北調査区域外に伸び、検出長4.3m・幅2m・深さ0.6m、溝底中央と西側にテラスがある。中央テラス両側に、深さ2～15cmの溝状凹みがみられる。溝底は堅くない。弥生時代甕・片口鉢、赤彩の土製品(土師器?)、円筒埴輪、磨石・編み物石・台石、弥生時代中期土器片が出土。時期は重複関係から7世紀前半以降である。

M2号溝状遺構 VIあ・い・8 Grで検出されM1・P10に切られH9を切る。南北調査区域外に伸び検出長4.8m・幅3.2m・深さ1.7m、断面は「V」に近い「U」字形で溝底幅は狭い。遺物は下層の5層から弥生時代後期箱清水期(1の甕、2の赤彩深鉢、3の鉢、4の甕、5の高坏)、上層の2・3層から弥生時代中期栗林期(6の甕、7・8の壺)や古墳時代の土師器(9～12坏、13の碗、14の高坏、15の鉢、16～20の甕)、敲石・磨石・台石が出土した。粗いハケメ調整され、胴上部にヘラによる一条の沈線がある17は、東海地方の宇田型甕の特徴を持つ。本址の時期は、弥生時代後期箱清水期であろう。

M3号溝状遺構 VIあ・3～5 Grで検出、D1・P216に切られ、東西に伸び西側は調査区域外にある。検出長8.0m・幅0.2～0.36m・深さ5～13cm、断面逆梯形、溝底は水平である。出土遺物無いが、時期は重複する弥生時代後期のD1以前である。

M4号溝状遺構 F2へ名称変更した。

M5号溝状遺構 Vい・う-1・2 Grで検出、D4・P29・P30に切られ、M6を切る。南北調査区域外に伸び、検出長4.7m・幅0.9～1.3m・深さ15～21cm、断面「U」字形、溝底は水平である。弥生時代中期と後期裏・壺小片、土師器・須恵器片が出土したが、時期は不明である。

M6号溝状遺構 Vい・う-1・2 Grで検出、H27・F6・M5・P65・P66に切られる。東側は調査区域外、西側はH27に切られ、検出長7.76m・幅0.36～0.72m・深さ34～41cm、断面逆梯形、溝底は水平。弥生時代中期と後期裏・壺片多量、上層から土師器小片少量が出土した。時期は6世紀のH27以前である。

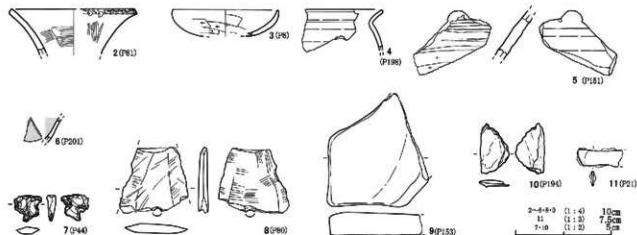
M7号溝状遺構 IVう-3・4 Grにあり、近現代の畑境であった。

M8号溝状遺構 Ⅲえ-2～9 Grで検出、H41・H44・Ta3・Ta10・Ta12・Ta14に切られ、M9を切る。D41との新旧関係は不明瞭。南北調査区域外に伸びる。検出長22m・幅2.08～2.8m・深さ1.42～1.60m、断面は「V」に近い「U」字形で溝底幅は狭く、西方がやや低い。流水か？最下層の9層には、小円礫と砂層がみられた。遺物は下層の5・8層から弥生時代後期箱清水期(9・10の裏等)、上層の1層から古墳時代の土師器(17～21)・近世の磁器が出土した。本址の時期は弥生時代後期箱清水期であろう。

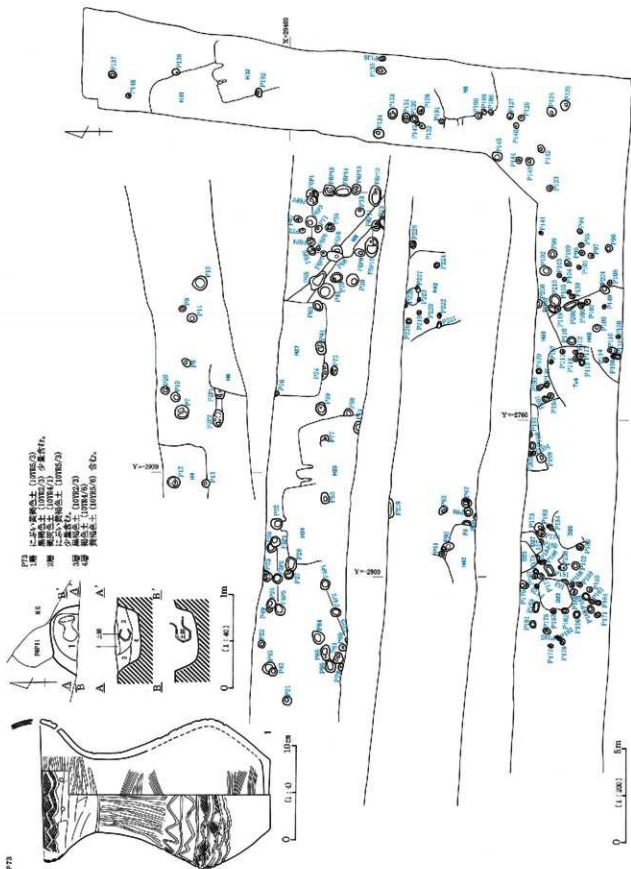
M9号溝状遺構 Ⅲえ・お-3・4 Grで検出、Ta14・D19・M8に切られ、H49を切る。2条の溝にも見えるが、重複関係は明らかでない。岩村田高校グラウンドの排水溝以西Ta14以東には伸びない。検出長4.3m・幅0.6～0.8m・深さ32～42cm、断面は「U」字形で溝底は西方に緩く傾斜する。遺物は弥生時代中期と後期裏・壺片、上層から土師器小片が出土した。時期は弥生時代後期M8以前である。

6.ピット

ピットは227基が検出され、ほとんどが柱穴である。大半が中世竪穴状遺構・土坑周辺に位置する。明確な建物址は、捉えられなかった。弥生時代中期・後期、古墳～平安時代土師器・須恵器、青磁、石炭、刀子等が出土した。F6に切られるP73からは、弥生時代中期栗林期の壺が出土した。(第79図)



第78図 ピット出土遺物実測図



第79図 ヒット実測図及び出土物実測図

第4表 ビット一覧表(1)

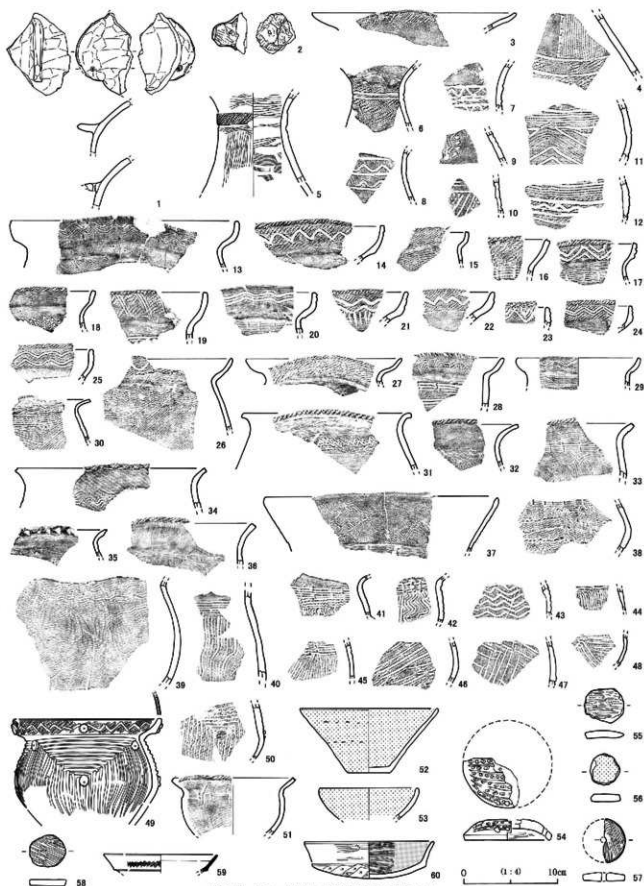
(cm)

番号	位置	長さ× 高さ	備 考	番号	位置	長さ× 高さ	備 考
1	W10	58×50	10YR2/3 H4を切る F1P1へ名称変更 養生土留・土留部	63			次
2	W10	45×25	10YR2/3 H4を切る F1P2へ名称変更	64	W14	50×29	10YR2/3 H14を切る 養生土留・土留部
3	W11	48×30	10YR2/3 H4を切る F1P3へ名称変更	65	V12	115×48	M6を切る
4	W11	82×27	10YR2/3 H4を切る F1P8へ名称変更	66	V11	85×41	M6-F6P6を切る
5	W10	60×40	10YR2/3 H4を切る F1P7へ名称変更	67	V10	115×41	F6P6へ名称変更
6	W10	65×67	10YR2/3 H4を切る F1P8へ名称変更 養生土留・土留部	68	V11	64×40	F6P6へ名称変更 養生土留・土留部
7	W10	70×22	養生土留・土留部	69	V11	28×22	F6P7へ名称変更
8	W10	94×37	土留部	70	V11	28×15	F6P6へ名称変更
9	W17	33×25	養生土留	71	V11	38×36	
10	V17	78×34	養生土留・土留部・換気部	72	V11	28×24	
11	V17	50×31	10YR3/3 M1に切られる 土留部	73	V11	66×18	①10YR5/3②10YR4/3③10YR2/3 ④10YR4/6 F6P11に切られ 2層から養生中間部出土
12			次	74	V12	68×16	H25-H26に切られる
13	W10	4×22	養生土留	75	V13	43×37	10YR3/3 H26に切られる
14	W11	65×36	F3P4へ名称変更 養生土留・土留部	76	V13	29×32	H27に切られる
15	W11	77×39	F3P3へ名称変更 養生土留・土留部・石製内框・溝石	77	V14	43×32	H29②へ名称変更
16	W10	70×47	F3P2へ名称変更 養生土留	78			次
17	V110	68×40	F2P1へ名称変更 養生土留・土留部	79	V17	37×38	10YR3/4 養生土留
18	V110	60×35	①10YR2/3②10YR3/4③10YR4/6(多量) H13を切る 養生土留・土留部・換気部	80	V17	40×60	10YR3/4 養生土留・土留部
19	W18	50×28	10YR3/3(10YR4/6)土留部	81	V17	57×24	10YR2/3(20P多量) 養生土留
20	W18	40×21	10YR3/3(10YR4/6)	82	V16	55×27	10YR2/3 H22を切る F4P2へ名称変更
21	V17	65×42	H20を切る 養生土留・土留部	83	V16	55×34	10YR2/3 H22を切る F4P1へ名称変更 養生土留・土留部
22	V18	37×28	10YR2/3 H21を切る 養生土留・土留部・換気部	84	V16	73×28	10YR3/4 H22を切る 養生土留・土留部
23	V16	58×49	10YR2/3 F5P3へ名称変更 養生土留・土留部	85	W19	105×29	10YR3/4 H22を切る 養生土留
24	V16	55×23	10YR2/3(10YR5/6) F19を切る	86	F16	68×19	10YR3/4 養生土留・土留部
25	V16	60×38	10YR2/3(10YR5/6) 養生土留・土留部	87	J19	60×9	10YR2/3 H28を切る 養生土留
26	V16	26×48	10YR2/3(10YR5/6) F5P2へ名称変更 養生土留・土留部	88	J19	50×18	10YR2/3 H28P3へ名称変更
27	V16	50×29	10YR2/3(10YR5/6) F29を切る	89	J19	47×28	10YR2/3 H43に切られH38を切る 養生土留
28	V15	75×34	10YR2/3 P27に切られ H24を切る	90	J19	-×19	10YR2/3 H28を切る
29	V12	60×28	M5を切る 10YR2/3(10YR5/6多量) 養生土留・土留部	91	J19	28×17	10YR2/3 H28を切る
30	V12	67×36	M5を切る 10YR2/3(10YR5/6多量) 養生土留・土留部	92	J19	72×27	10YR2/3 H28を切る H43に切られる
31	V11	102×30	①10YR2/3②10YR4/4③10YR5/6(多量) F6P10へ名称変更	93	J19	53×14	10YR2/3 H28を切る
32	V11	20×38	①10YR2/3②10YR4/4③10YR5/6(多量) 柱根φ20cm F6P11へ名称変更	94	J17	24×11	10YR2/2
33	V11	47×30	①10YR2/3②10YR4/4(少量) 換気部	95	J17	30×28	10YR2/2
34	V11	107×40	①10YR2/3②10YR4/4③10YR5/6(多量) F6P12へ名称変更	96	J17	27×20	10YR2/3(20P含む)
35	V11	52×14	10YR2/3(10YR5/6多量)	98	J17	36×10	10YR2/3(20P含む)
36	V11	54×36	①10YR2/3②10YR4/4③10YR5/6 F6P2へ名称変更	99	J17	42×27	10YR2/3(1F部に附)
37	V11	58×40	10YR2/3(10YR5/6多量)F6P3へ名称変更	100	J17	40×29	10YR2/2
38	V11	47×31	10YR2/3 F6P1へ名称変更	101	J17	21×12	10YR2/3(20P少量)
39	W18	57×32	F2P1へ名称変更 養生土留・土留部・換気部	102	J18	58×39	10YR2/1
40	W10	88×41	F2P2へ名称変更 H6に切られる 養生土留・土留部	103	J18	20×17	10YR2/2
41	V16	37×55	①10YR2/3②10YR3/3 P48を切る F6P1へ名称変更 養生土留・土留部	104	J18	22×16	10YR2/2
42	V17	44×25	①10YR2/3 H21・P48を切る 土留部	106	J18	32×25	10YR2/3(20P含む)H45を切る
43	V17	68×27	①10YR2/3 P42に切られる 養生土留・土留部	107	J18	30×37	10YR2/3(20P含む)H45を切る
44	V13	75×36	10YR2/3(10YR5/6多量) 養生土留・土留部・換気部	108	J18	30×21	10YR2/3(20P含む)
45	V11	92×16	10YR2/3(10YR5/6多量) P65に切られる 養生土留・土留部	109	J18	42×37	10YR2/3(20P含む)H45を切る
46	V11	45×21	10YR2/3(10YR5/6多量) F6P5へ名称変更	110	J18	43×29	10YR2/3(20P含む)H45を切る
47	V11	38×26	10YR4/4(10YR5/6多量)	108	J18	30×21	10YR2/3(20P含む)
48	V15	80×41	①10YR2/3 F5P1に切られる 土留部	109	J18	42×37	10YR2/3(20P含む)H45を切る
49	V16	35×28	①10YR2/3 P24に切られる	110	J18	43×20	10YR2/3(20P含む)H45を切る
50	V11	84×41	10YR2/3 F6P14へ名称変更	111	J18	23×25	10YR2/3(20P含む)H45-T44を切る
51	V11	55×54	10YR2/3 F6P13へ名称変更	112	J18	25×25	10YR2/3(20P含む)H45-T44を切る
52	V15	66×41	H24を切る	113	J18	35×26	10YR2/3(20P含む)H45-T44を切る
53	V15	62×26	10YR2/3 H25を切る 養生土留・土留部	114	C19	28×31	10YR2/3(20P含む)H45を切る
54	V11	87×30	10YR2/3 H26を切る 養生土留・土留部	115	C19	35×16	10YR2/2 H45-P196を切る 養生土留・内耳土留
55			次	116	C19	47×17	10YR2/3(20P含む)H45を切る
56	V11	68×61	F6P15へ名称変更	117	J19	40×24	10YR2/3(20P含む)H45-T44を切る
57	V11	64×41	F6P1へ名称変更	118	J19	27×25	10YR2/3(20P含む)H45-T44を切る
58	V11	-×57	10YR2/3 H26を切る 養生土留・土留部	119	J18	34×27	10YR2/3(20P含む)H45を切る
59	V10	96×-	10YR2/3 H26を切る 養生土留・土留部	120	J19	37×27	10YR2/3(20P含む)H45を切る
60	V12	44×-	10YR2/3(10YR5/6多量) H27を切る	121	J19	30×24	10YR2/3(20P含む)H45を切る
61	W12	48×28	①10YR2/3②10YR3/3(20P多量) H1を切る F1P4へ名称変更	122	J19	30×30	H48P2へ名称変更
62	W12	45×17	①10YR2/3②10YR3/3(20P多量) H1を切る F1P5へ名称変更	123	J18	31×19	10YR2/1(下層に附)

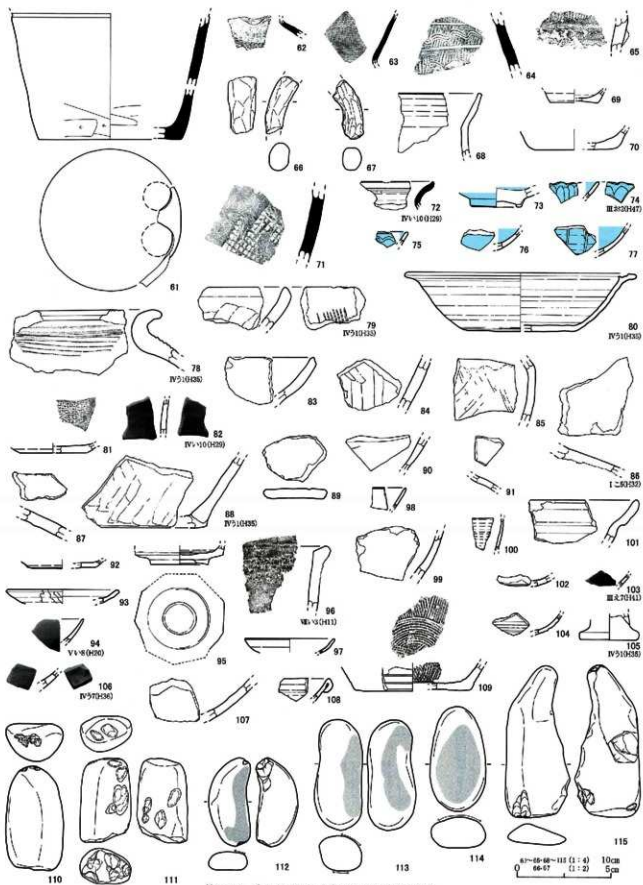
第5表 ビット一覧表(2)

(cm)

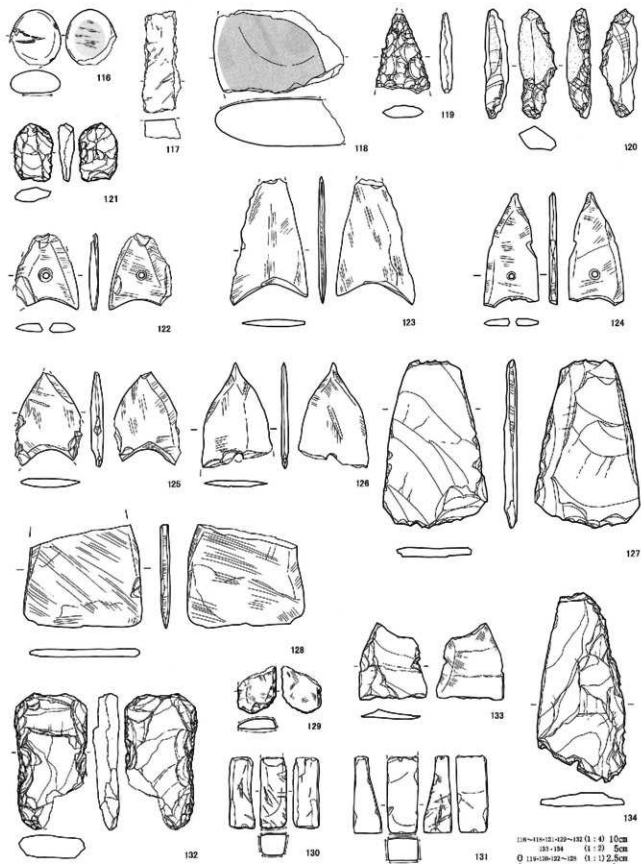
符号	名前	長さ× 高さ	備考	符号	長さ× 高さ	備考	
124	J15	51×32	10YK2/2(砂含む)	189	E15	31×37	10YR3/1 H8を切る
125	J15	50×32	10YK2/2(砂・軽石含む)	190	E16	36×22	10YR3/1 H8を切る
126	J15	29×17	10YK2/2(砂含む)	191	E16	35×13	10YR3/1
127	J15	35×21	10YK2/2(砂含む)	192	E15	44×16	10YR3/1 H13を切る
128			欠	193	E19	88×15	10YK3/2 H18を切る
129	E15	40×27	10YK2/3	194	E19	59×10	10YK4/2 H48を切る
130	E16	40×28	10YR2/3	195			欠
131	E16	50×29	10YR2/3	196	E19	28×9	10YK4/2 P113に切られる
132	E16	34×15	10YR2/3	197	E10	35×35	10YR3/2
133	E15	54×21	10YR2/3	198	E10	35×17	10YR3/2 土層部・調査線
134	J16	56×20	10YR2/2	199	E10	54×20	10YR3/2 Ta3を切る
135	E15	49×20	10YR2/3	200	E18	47×32	10YR3/2 H48を切る
136	E15	33×17	10YR2/3	201	E18	47×39	10YR3/2 H45を切る
137	E15	41×13	10YR2/3	202			欠
138	J15	40×18	10YR2/3 H53を切る	203	E15	46×23	10YR3/2 P119に切られP210を切る
139	E15	28×19	10YR2/2砂を含む	204	E10	25×28	10YR3/2
140	E15	25×9	10YR2/2	205	E10	23×25	10YR3/2
141	E17	22×11	10YR2/2 砂を含む	206	J18	40×21	10YR3/2 H45を切る
142	E15	40×19	10YR2/2	207	E18	37×10	10YR3/2 H48を切る
143	E15	45×25	10YH2/2	208			欠
144	E15	36×19	10YH2/2	209			欠
145	J15	54×28	10YK2/2	210	E15	68×26	10YR3/2 P119・P203に切られる
146			欠	211	E17	25×12	H36を切る
147	E15	21×6	10YR2/3	212	E18	27×12	H36を切る
148	E15	24×9	10YR2/2	213	E18	35×45	H36を切る
149	E18	30×11	10YR2/2 H45を切る	214	E17	25×10	H36を切る
150	E18	20×16	10YR2/2 H45を切る	215	E14	30×16	H10を切る
151	E11	70×16	10YR4/2 土層部	216	E14	42×13	M3を切る
152	E11	42×20	10YR3/3 養生土層・土層部	217	E14	69×38	D2から名称変更
153	E12	39×28	10YR4/2 D22に切られる 土層部・台石	218	E19	105×20	D8に切られる
154	E11	40×20	10YR4/2 D25に切られる	219	E15	24×17	H42を切る
155	E12	28×24	10YR4/2	220	E18	25×12	H42を切る
156	J15	42×25	10YR4/2 養生土層・土層部	216	E14	42×13	M3を切る
157	E11	40×37	10YR5/3 D23に切られる	217	E14	69×38	D2から名称変更
158	E12	28×24	10YR4/2	218	E19	105×29	D8に切られる
159	E12	32×18	10YR4/2	219	E15	24×17	H42を切る
160	E11	25×41	10YK4/2 D27に切られる 養生土層・土層部	220	E15	33×12	H42を切る
161	E12	32×7	10YK4/2	221	E15	33×13	H42を切る
162	E12	34×20	10YK4/2 D22に切られる	222	E15	24×14	H42を切る
163	E12	27×22	10YR4/2 D22に切られる	223	E15	19×19	H42を切る
164	E12	27×27	10YR4/2	224	E15	30×19	H42を切る
165	E12	37×10	10YR4/2 養生土層	225	E15	39×14	H42を切る
166	E12	35×20	10YR4/2	226	E15	28×20	H42を切る 養生土層
167	E12	33×20	10YR4/2 P172に切られる	227	E15	34×15	H42を切る
168	J15	40×10	10YR4/2	228	E16	18×44	H42を切る
169	J15	43×13	10YR4/2	229	E14	38×31	H16を切る
170	E12	22×10	10YR4/2(炭化物) D22を切る	230	E16	97×48	①10YR3/4②10YR3/2 D12に切られる
171	E12	39×23	10YR2/2	231	E17	50×9	F4P2へ名称変更
172	E12	35×27	10YR4/2 P187を切る	232	E19	45×22	H40に切られる
173	E11	57×39	10YK4/2 P174に切られ、P183を切る	233	E14	49×33	
174	E11	38×41	10YK3/2 P173を切る	234			欠
175	E11	58×14	10YK3/2	235	E15	33×22	10YR2/1(10YK2/3多量) M8を切る
176	E12	28×34	10YR4/2 D21に切られる	236	E19	26×28	①10YR2/3②10YR3/3 H13を切る
177	E12	22×13	10YR4/2	237	E10	50×54	10YR2/3 H42を切る
178	E12	35×29	10YR4/2	238	E10	44×36	H15を切る
179	E12	32×34	10YR3/2	239	E16	25×12	H42を切る
180	E11	37×39	10YR3/2	240	E16	97×48	①10YR3/4②10YR3/2 D12に切られる
181	E12	25×11	10YR3/2	241	E17	50×9	F4P2へ名称変更
182	J15	22×11	10YK3/2 P185を切る	242	E14	45×22	H40に切られる
183	E11	—×18	10YK4/2 P173に切られる	243	E14	49×33	
184	E11	24×11	10YK4/2 P157に切られP186を切る	244			欠
185	E12	18×12	10YR3/2 P182に切られる	245	E15	35×22	10YR2/1(10YK3/3多量) M8を切る
186	E11	48×16	10YR4/2 P184に切られる	246	E10	26×28	①10YR2/3②10YK3/3 H13を切る
187	E13	20×8	10YR2/2 Ta1を切る	247	E10	50×54	10YR2/3 H42を切る
188	E15	27×26	10YR3/1 H8を切る	248	E10	44×26	H15を切る



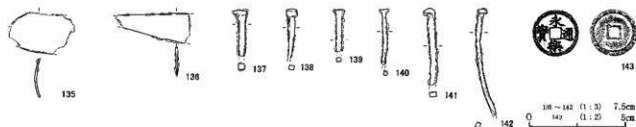
第80図 グリッド出土及び表探遺物実測図(1)



第81図 グリッド出土及び表採遺物実測図(2)



第82図 グリッド出土及び表採遺物実測図(3)



第83図 グリッド出土及び表採遺物実測図(4)

7.グリッド出土・表採遺物

遺構外出土遺物には、弥生時代中期栗林式期・後期箱清水式期土器、土師器、須恵器、埴輪、青磁、陶器、石器、鉄器、古銭がある。

1～54は弥生時代中期栗林式期・後期箱清水式期で、中期栗林式期が大半である。1は人面付土器の右顔部分である(人面部分ほぼ完形が50m北方の西一本柳遺跡Ⅰから出土)。54は蓋、55・56は土製円板、57は土製紡錘車である。

須恵器は、59・62・63のハソウ、61の甌、甕・短頸甕がある。埴輪は65の円筒埴輪、66・67の人物埴輪の腕がある。

68は土鍋、69・70・92はかわらけである。青磁は龍泉窯産の73が碗13C、74が輪花皿13～14C、中国産の75～77碗15C前半がある。78は須恵質瓿珠洲13C、79は須恵質播鉢在地13C後半。陶器は中世の古瀬戸・常滑・中津川・中国産がある。近世は瀬戸美濃・伊万里・京焼・在地産・前山焼等がある。石器・石製品は、敲石・磨石・砥石・台石・打製石鏃・磨製石鏃・打製石斧・二次加工ある剥片・磨製石鏃木製品・石器原材、鉄器は刀子・角釘がある。古銭は永楽通宝がある。

8.まとめ

本調査の結果は、数多く調査されている周辺遺跡と同様に弥生時代中期～中世に及ぶ遺構・遺物が検出された。

多くの遺構の中で、溝状遺構が目される。西一本柳遺跡Ⅲ・ⅣのM1、西一本柳遺跡ⅦのM1、西一本柳遺跡Ⅲ・ⅣのM1、西一本柳遺跡ⅥのM2、西一本柳遺跡XⅠのM1、西一本柳遺跡XⅣのM12と、本遺跡のM2・M8号溝状遺構であり、弥生時代環濠の一部とみられる。第2図でみると、南北200m東西280mの楕円形に結ばれそうである。いずれも弥生時代後期の土器が多量に出土している。岩村田高校第2グラウンドから国道141号バイパスにかけて展開する総面積5万m²を超える弥生時代後期の環濠である。(遺構・遺物の詳細な検証はなされていないが、)

これらの東方100mの位置にも各遺跡の調査結果を図上で復元すると、南北200m東西350mの楕円形になる溝状遺構が検出されている。北一本柳遺跡ⅢのM1、西一本柳遺跡XⅨのM1、東一本柳遺跡ⅡのM1、北一本柳遺跡ⅢのM26、東大門遺跡のM1等で、弥生時代後期土器が主に出土している。

佐久地方の弥生時代環濠は、後家山遺跡(弥生時代中期)、和田上遺跡(弥生時代後期)、戸坂遺跡(弥生時代後期)、西一里塚遺跡・餅田遺跡(弥生時代後期)等で検出されている。

中世(15世紀を中心とした)の竪穴状遺構・井戸址などの遺構が調査区東半部をから密集して検出され、陶磁器・鉄器・古銭等が出土した。

井戸址(D10号土坑)から出土した三足手取釜といわれる鉄瓶は、16世紀中頃にはこの形状のものが茶の湯の釜と認識されていたとされる。北隣の西一本柳遺跡XⅣでは、火鉢・内耳土鍋・かわらけ等の日常品と共に、漆製品や漆刷毛などを伴う漆工房関連と見られる遺構群、青磁玉縁碗・古瀬戸天目茶碗・占瀬戸灰釉直縁鉢・茶釜・茶白などがみられる。同じ岩村田遺跡群の柳堂遺跡・観音堂遺跡から西一本柳遺跡一帯は、大井氏の城下町賑わい「国府にまされり」と江戸時代の書物『四隣譚藪』に表されている。

報 告 書 抄 録

書 名	岩村田遺跡群西一本柳遺跡XⅧ
ふ り が な	いわむらだ にしいっぽんやなぎ
シ リ ー ズ 名	佐久市埋蔵文化財調査報告書
シ リ ー ズ 番 号	第190集
編 著 者 名	林 幸彦
編 集 ・ 発 行 機 関	佐久市教育委員会
発 行 年 月 日	2011. 3. 31
郵 便 番 号	385-0006
電 話 番 号	0267-68-7321
住 所	長野県佐久市志賀5953
遺 跡 名	岩村田遺跡群西一本柳遺跡XⅧ (I N P XⅧ)
遺 跡 所 在 地	佐久市岩村田字西一本柳2338-4外
遺 跡 番 号	5 2
経 度	138° -28' -07." (世界測地系)
緯 度	36° -15' -53." (世界測地系)
調 査 期 間	2009.12.22~2010.3.26 (現場) 2010.4.16~2011.3.25 (整理)
調 査 面 積	1.017㎡
調 査 原 因	市道工事
種 別	集落址
主 な 時 代	古墳時代~平安時代
遺 跡 概 要	弥生中期/弥生後期/古墳後期/奈良/平安/中世 集落-弥生中期+弥生後期+古墳後期+奈良+平安+中世一竪穴住居址+竪穴状遺構+ 掘立柱建物址+土坑+溝状遺構+ピット-弥生土器+土師器+須恵器+陶磁器+鉄器 石器+石製品+石製構造物+土製品+獣骨
特 記 事 項	弥生時代中期人面付土器・中世鉄瓶など貴重な資料となった。

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第190集

岩村田遺跡群

西一本柳遺跡XⅧ

2011年3月

編集・発行 佐久市教育委員会

〒385-8501 長野県佐久市中込3056

文化財課

〒385-0006 長野県佐久市志賀5953

TEL 0267-68-7321

印刷所 キクハラインク有限公司

